

小中学校の教育環境についてのアンケート

調査結果(案)について

令和2年8月
蒲郡市教育委員会

目次

1. 調査概要	
(1) 目的	2
(2) 調査対象者等	2
(3) 調査結果の見方	2
2. アンケート調査結果	
(1) 小学校保護者アンケート結果	4
(2) 中学校保護者アンケート結果	26
(3) 教職員アンケート結果	48
3. 自由意見	
※別紙の「自由意見一覧」をご参照ください。	

小中学校の教育環境についてのアンケート調査結果

1 調査概要

(1) 目的

蒲郡市では、今後の人口減少に伴い、小中学校に通う児童生徒数が減少していくことが見込まれており、併せて学校施設の老朽化も進展し、建替えや大規模修繕などの施設の維持更新を順次進めなければならない状況におかれています。蒲郡市教育委員会では、これらを極めて重要な喫緊の課題として捉え、「蒲郡市の未来を拓く教育推進会議」を設置し、将来の子どもたちの教育環境をより良いものにするための検討を進めています。

本調査は、蒲郡市の未来を拓く教育推進会議でよりよい教育環境を検討するための調査・研究資料とすることを目的としています。

(2) 調査対象者等

調査対象	・市内小中学校に在籍する児童生徒の保護者全世帯 ・教職員（各学校15人対象）	
調査期間	令和2年7月8日(水)～7月15日(水)	
調査方法	学校を通じて配布・回収	
回収状況	小学校保護者	2,697件（回収率89.2%）
	中学校保護者	1,669件（回収率87.7%）
	教職員	283件（回収率94.3%）

(3) 調査結果の見方

- 比率はすべて百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入により処理しているため、数値の合計が100%(200%)にならない場合があります。
- 親設問で回答せずに、付問に回答している場合は無効回答として扱い集計に含めていません。
- 設問や選択肢については、本来の意味を損なわない程度に表現を変更して掲載している場合があります。
- 教職員アンケートでは、小学校教員・中学校教員で大きな回答の傾向差が見られなかったため、回答の記載順序の変更や設問の回答を小学校・中学校で合算している項目があります。
- 学校規模別で回答比較をするためのクロス集計（保護者のみ）を実施していますが、学校規模については文部科学省の分類に基づき、小規模校は11学級以下(中学校は2区分)、標準規模校は12～18学級で区分しています。
※詳細は次頁『学校規模別内訳』を参照

《学校規模別 内訳（小学校）》

小学校		
規模	小規模（～11 学級）	標準規模（12～18 学級）
校数	3校	10校
学校名	4蒲郡西部小 5三谷小 9西浦小	1蒲郡南部小 2蒲郡東部小 3蒲郡北部小 6塩津小 7大塚小 8形原小 10形原北小 11中央小 12三谷東小 13竹島小

《学校規模別 内訳（中学校）》

中学校			
規模	小規模Ⅰ（～8学級）	小規模Ⅱ（9～11 学級）	標準規模（12～18 学級）
校数	2校	2校	3校
学校名	4大塚中 5西浦中	2三谷中 3塩津中	1蒲郡中 6形原中 7中部中

2 アンケート調査結果

(1) 小学校保護者アンケート調査結果

設問① あなたのお子さまが通学しているのはどこの学校ですか。

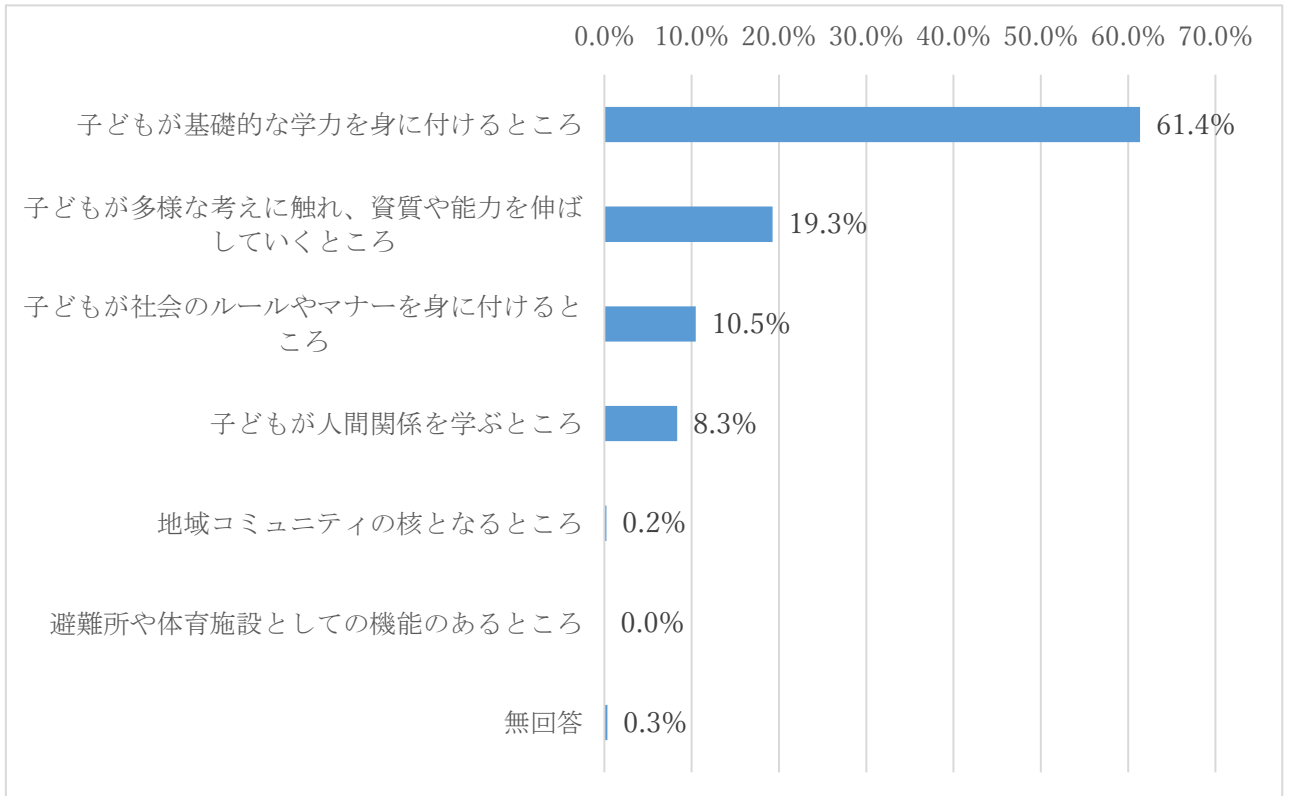
(合計回答数：n=2,697)

問	回答数	構成比
蒲郡南部小学校	261	9.7%
蒲郡東部小学校	175	6.5%
蒲郡北部小学校	233	8.6%
蒲郡西部小学校	50	1.9%
三谷小学校	158	5.9%
塩津小学校	293	10.9%
大塚小学校	157	5.8%
形原小学校	281	10.4%
西浦小学校	149	5.5%
形原北小学校	282	10.5%
中央小学校	187	6.9%
三谷東小学校	217	8.0%
竹島小学校	254	9.4%
合計	2,697	100.0%

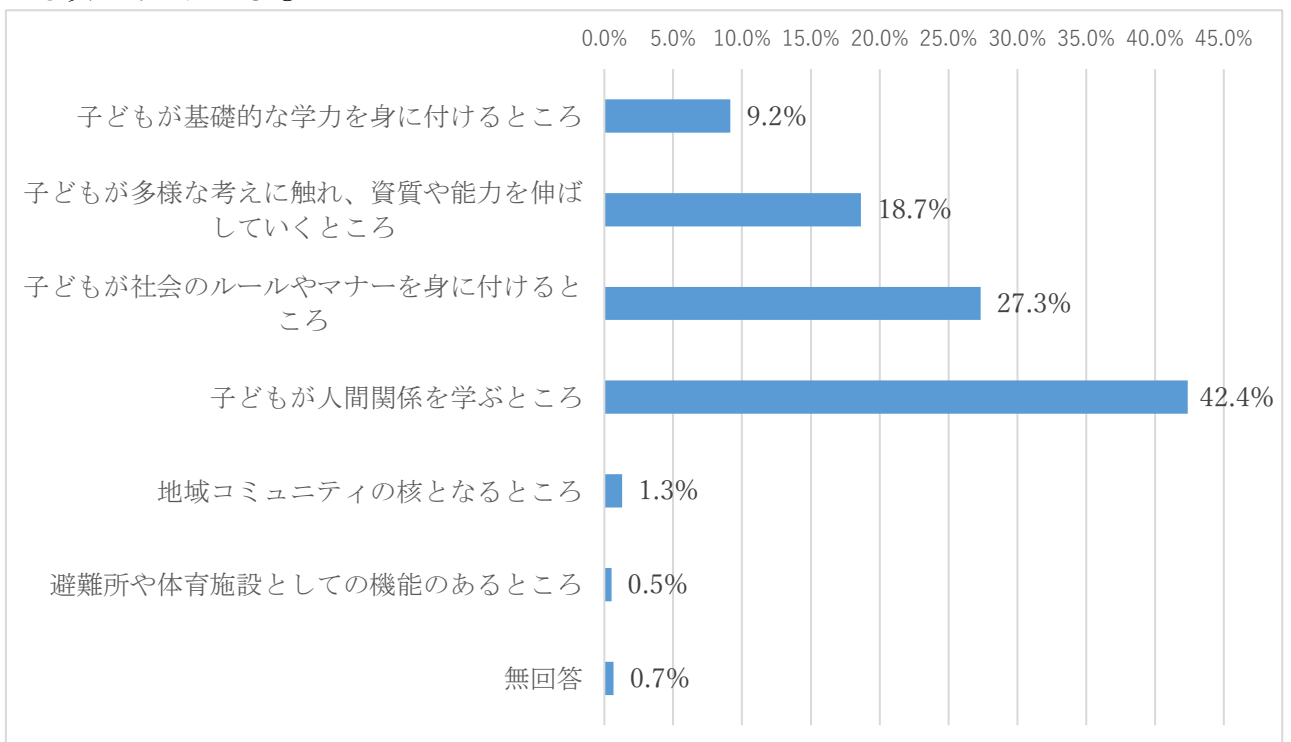
設問② お子さまが通う小学校はどのようなところであるべきだと思いますか。

- ・最もあてはまるものについては、「子どもが基礎的な学力を身に付けるところ」が61.4%と最も高い割合を占めています。次にあてはまるものについては、「子どもが人間関係を学ぶところ」が42.4%と最も高く、次いで、「子どもが社会のルールやマナーを身に付けるところ」が27.1%などとなっています。（合計回答数：n=2,697）

○最もあてはまるもの

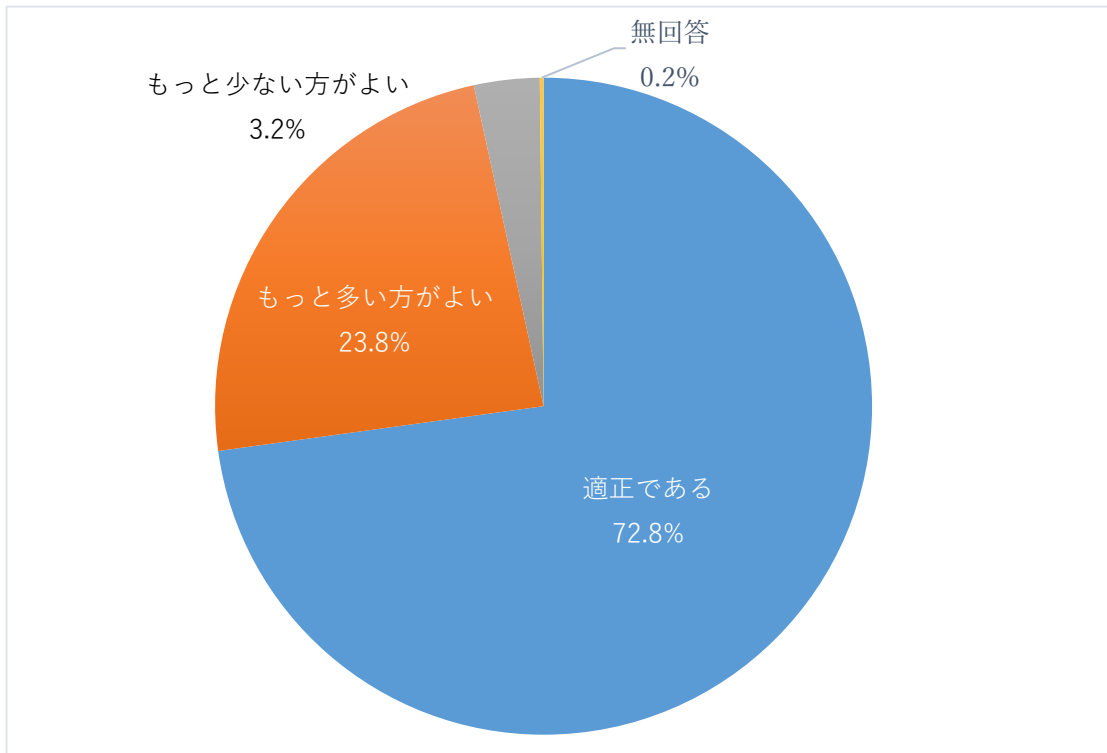


○次にあてはまるもの

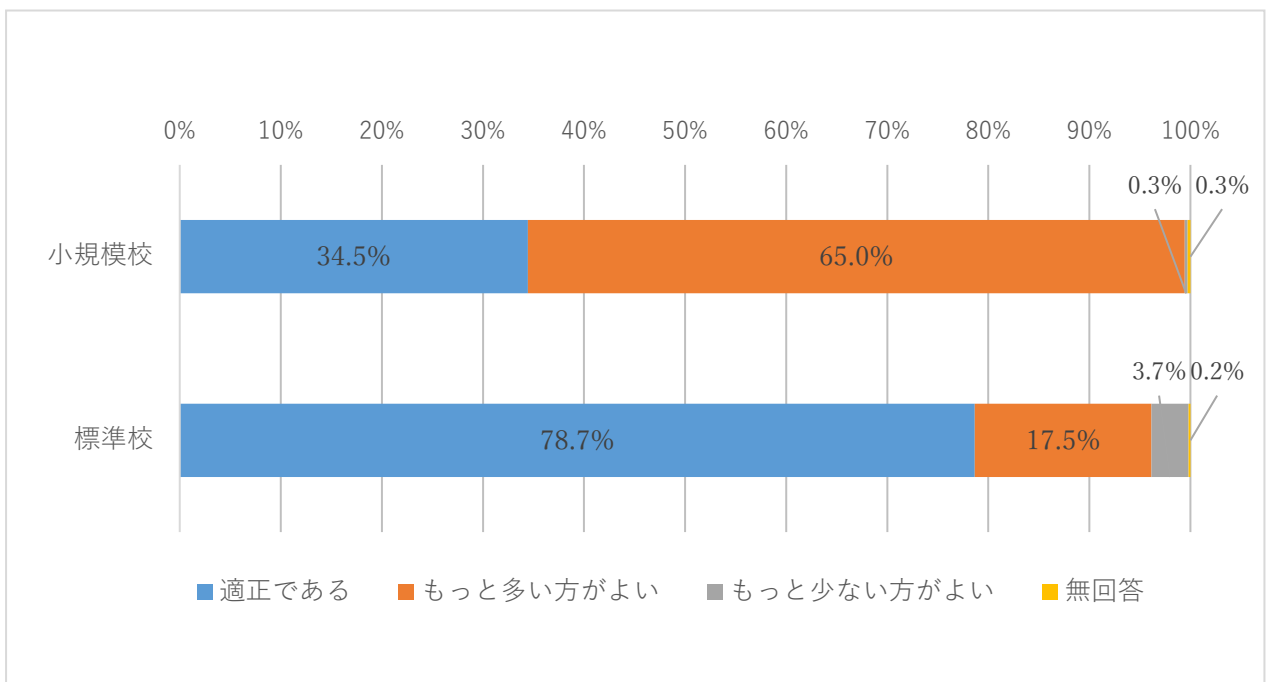


設問③ 現在お子さまが通っている学校規模（学年の学級数、児童数など）について、どのように感じていますか。

- ・学校規模に対する回答では、「適正である」が72.8%を占めており、高い割合となっています。学校規模別で見ると、小規模校については「もっと多い方がよい」が65.0%となっており、全体集計と比べると、「適正である」と感じている割合が大幅に少ないことが分かります。

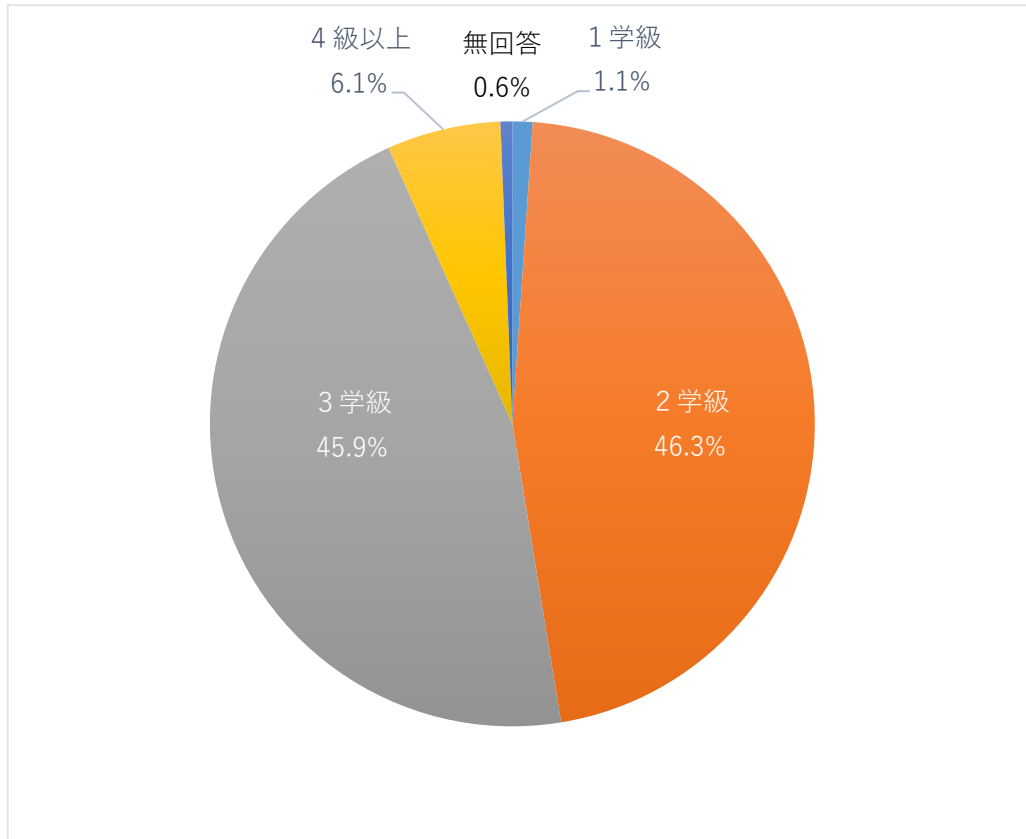


《学校規模別》 小規模校：n=357、標準規模校：n=2,340、合計：n=2,697

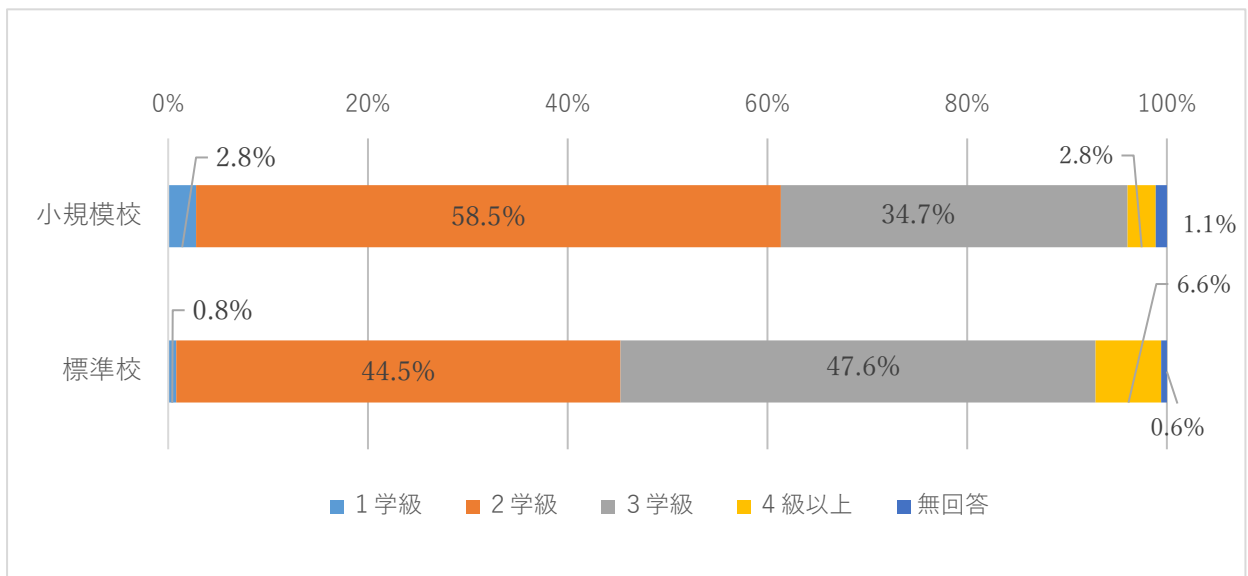


設問④ 1学年あたりの学級数として、理想的だと思うものをお選びください。

- 1学年あたりの理想的な学級数は、「2学級」が46.3%、「3学級」が45.9%で、2～3学級で90%以上の割合を占めています。学校規模別でみると、小規模校は「2学級」が58.5%、標準規模校は「3学級」が47.6%と最も高い割合を占めています。(合計回答数：n=2,697)



《学校規模別》 小規模校：n=357、標準規模校：n=2,340、合計：n=2,697

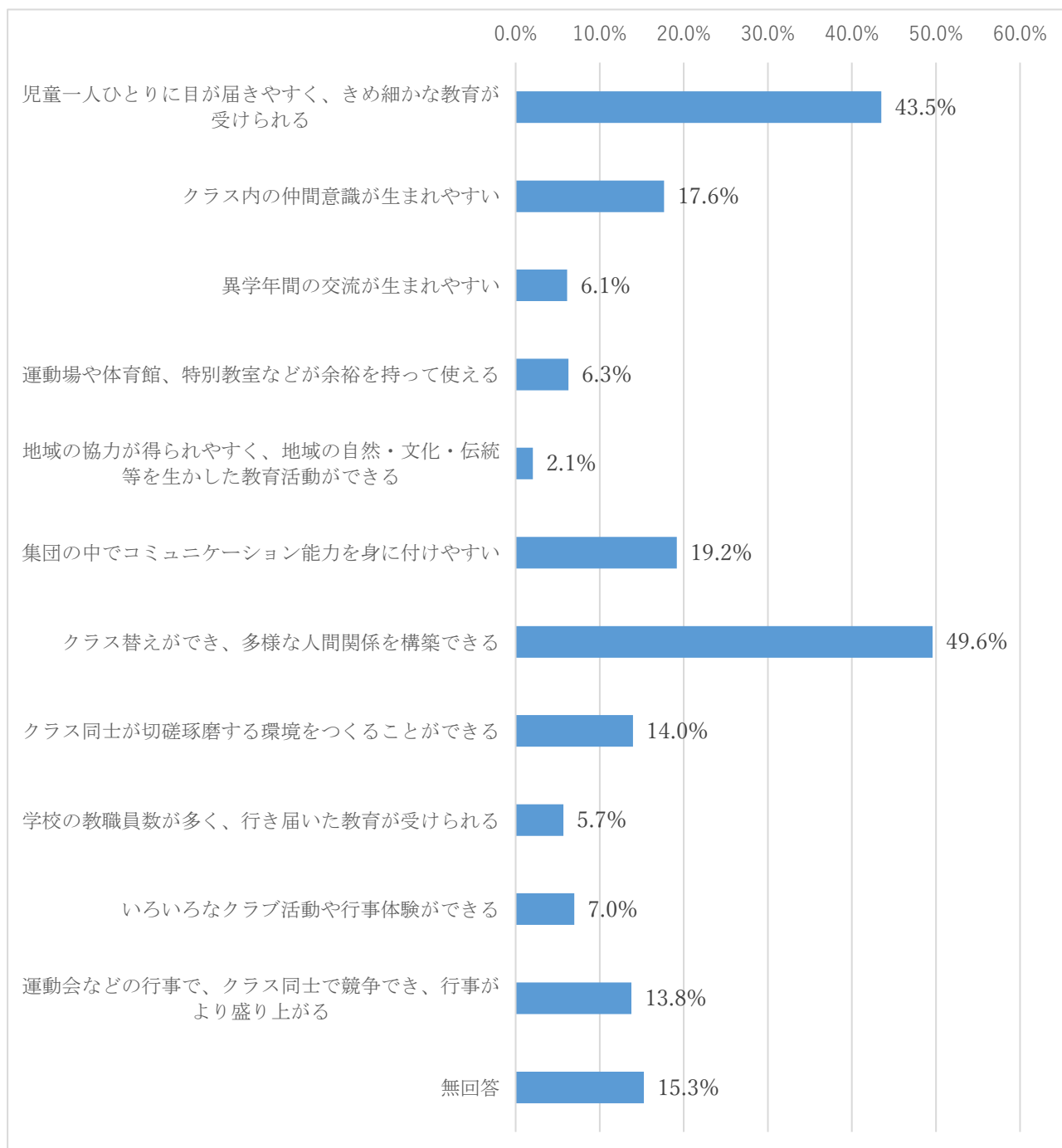


設問④-1 設問④の理由として当てはまるものをお選びください。

(当てはまる項目を2つまでお選びください。)

- ・理想的な学級数の理由としては、「クラス替えができ、多様な人間関係を構築できる」を選んだ方が49.6%と半数近く、次いで、「児童一人ひとりに目が届きやすく、きめ細やかな教育が受けられる」が43.5%となっています。

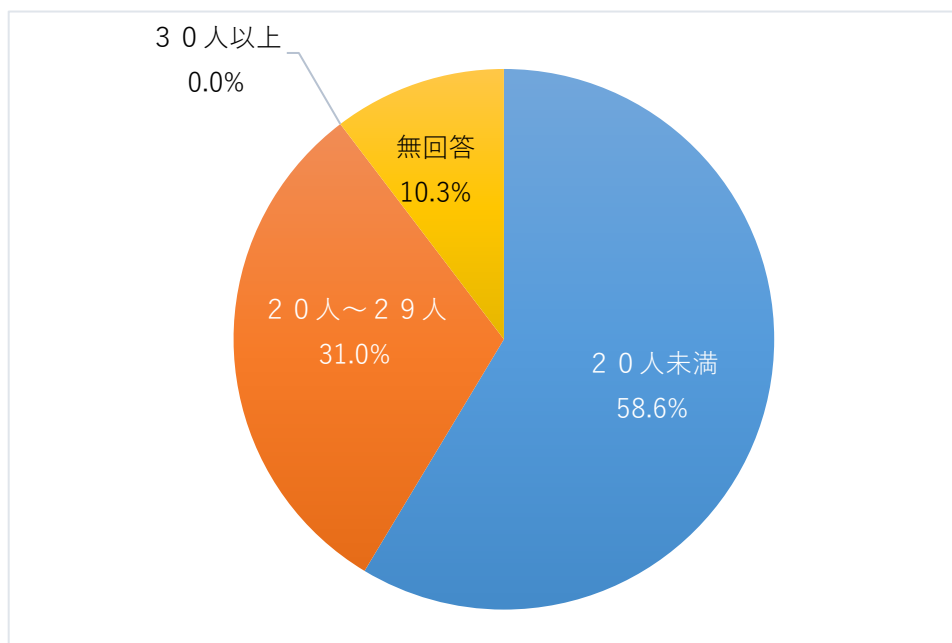
(合計回答数：n=5,360、率合計：200%)



【設問④で「1」の1学級を選んだ方は、⑤-1、⑤-2 をご回答ください。】

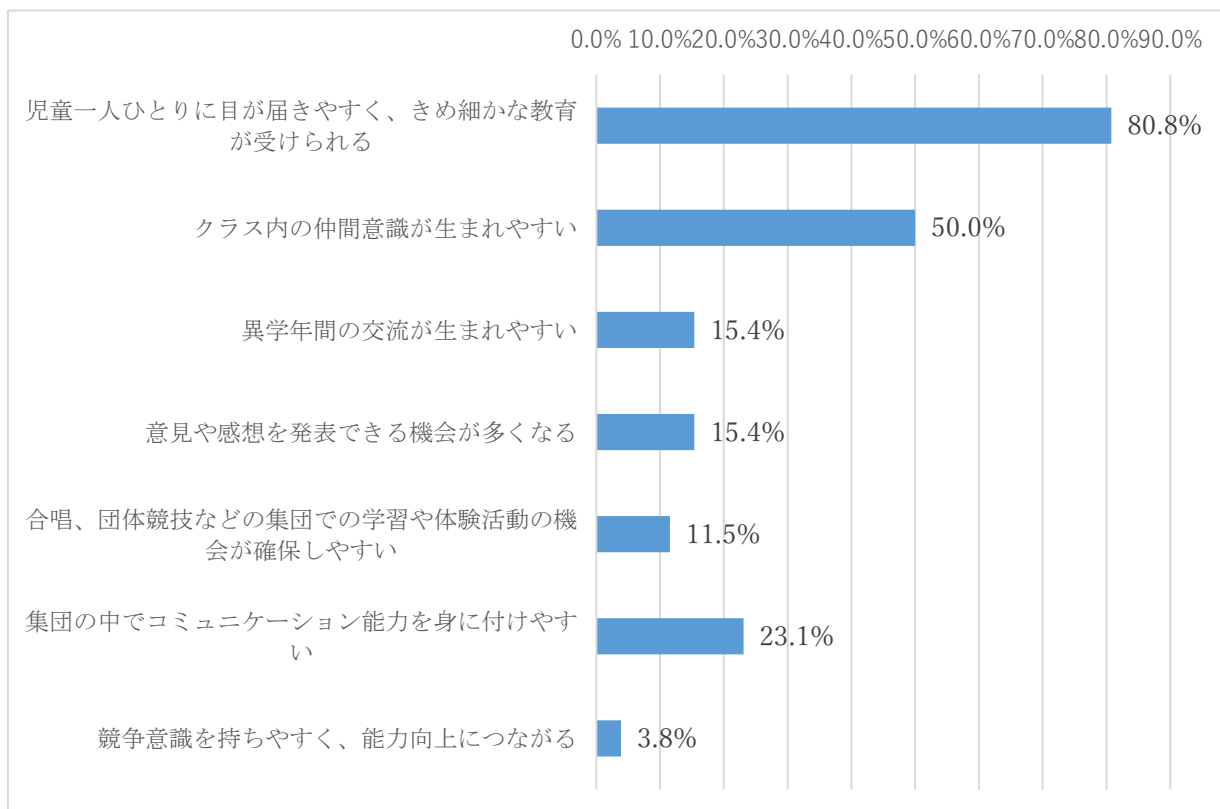
設問⑤-1 1学級の児童数として、適当だと思うものを一つお選びください。

- ・理想的な学級数が1学級を選んだ方は、学級児童数は「20人未満」が適当と思う方が58.6%と最も高い割合でした。(合計回答数：n=29)



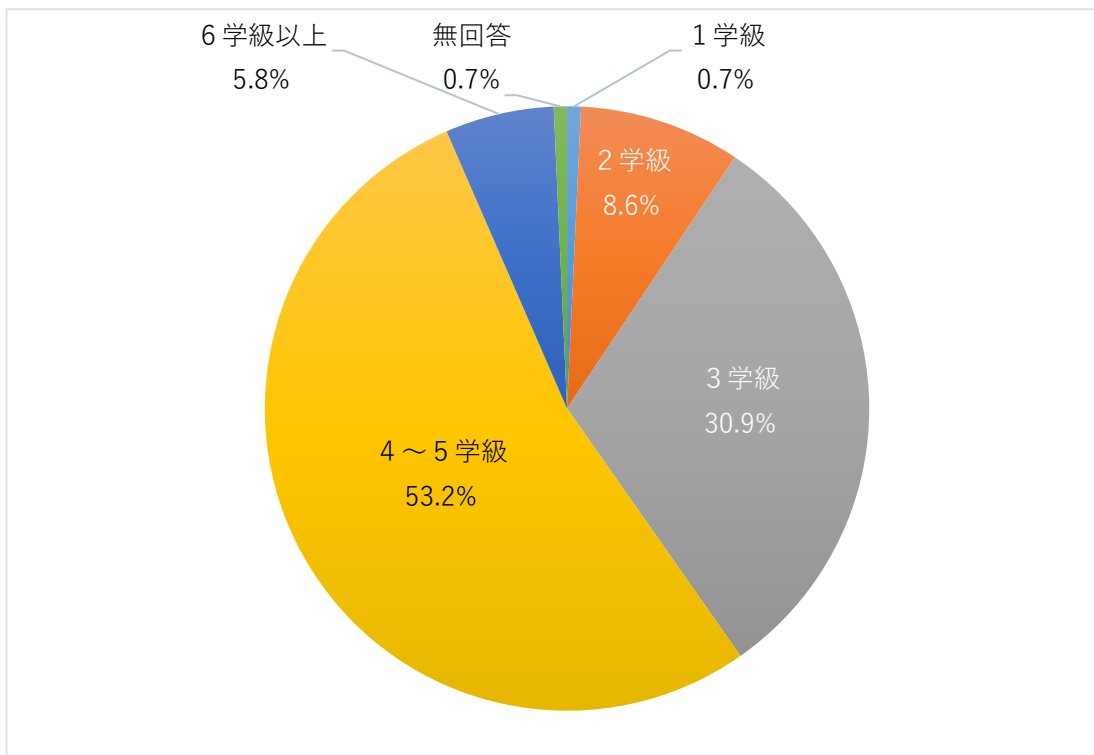
設問⑤-2 ⑤-1 の理由として当てはまるものをお選びください。 ※2つ回答
(合計回答数：n=52、率合計：200%)

- ・⑤-1 の理由としては、「児童一人ひとりに目が届きやすく、きめ細かな教育が受けられる」の回答割合が8割を超える高い割合でした。

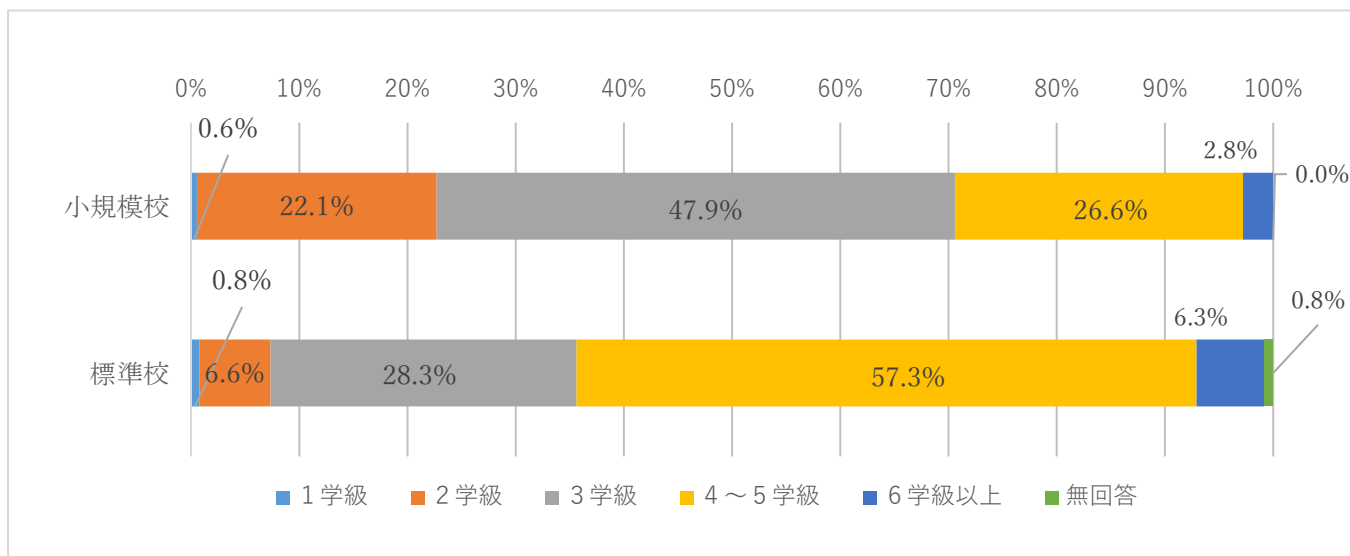


設問⑥ 今後、進学する中学校では、1 学年あたりの学級数として、理想と思うものを1つお選びください。

- ・中学校での1学年あたりの理想的な学級数は、「4～5学級」が53.2%、次いで「3学級」が30.9%で、多くの割合を占めています。学校規模別でみると、小規模校は「3学級」が47.9%で最も多く、標準規模校は「4～5学級」が57.3%と最も高い割合を占めています。(合計回答数：n=2,697)



《学校規模別》 小規模校：n=357、標準規模校：n=2,340、合計：n=2,697

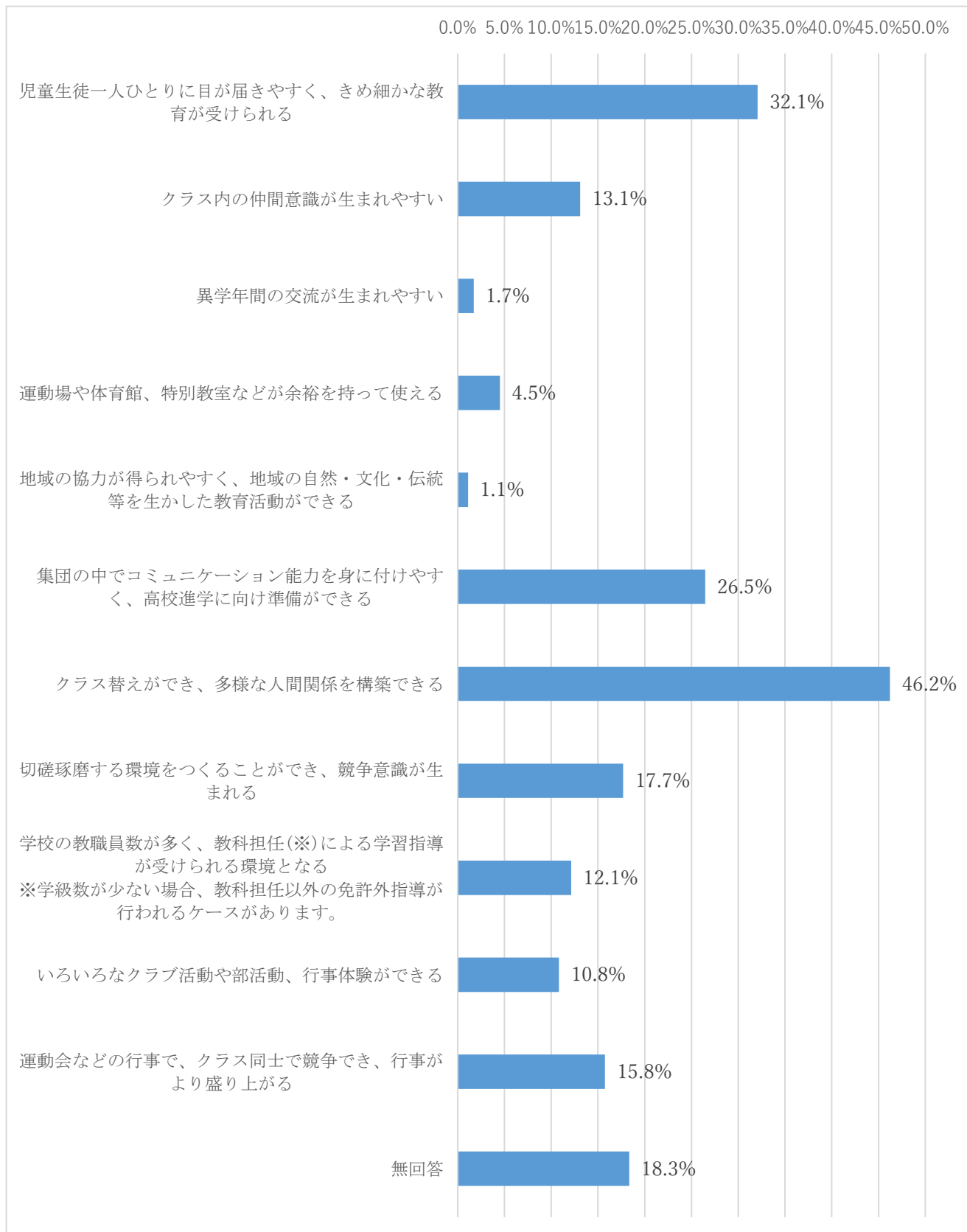


設問⑥-1 設問⑥の理由として当てはまるものをお選びください。

(当てはまる項目を2つまでお選びください。)

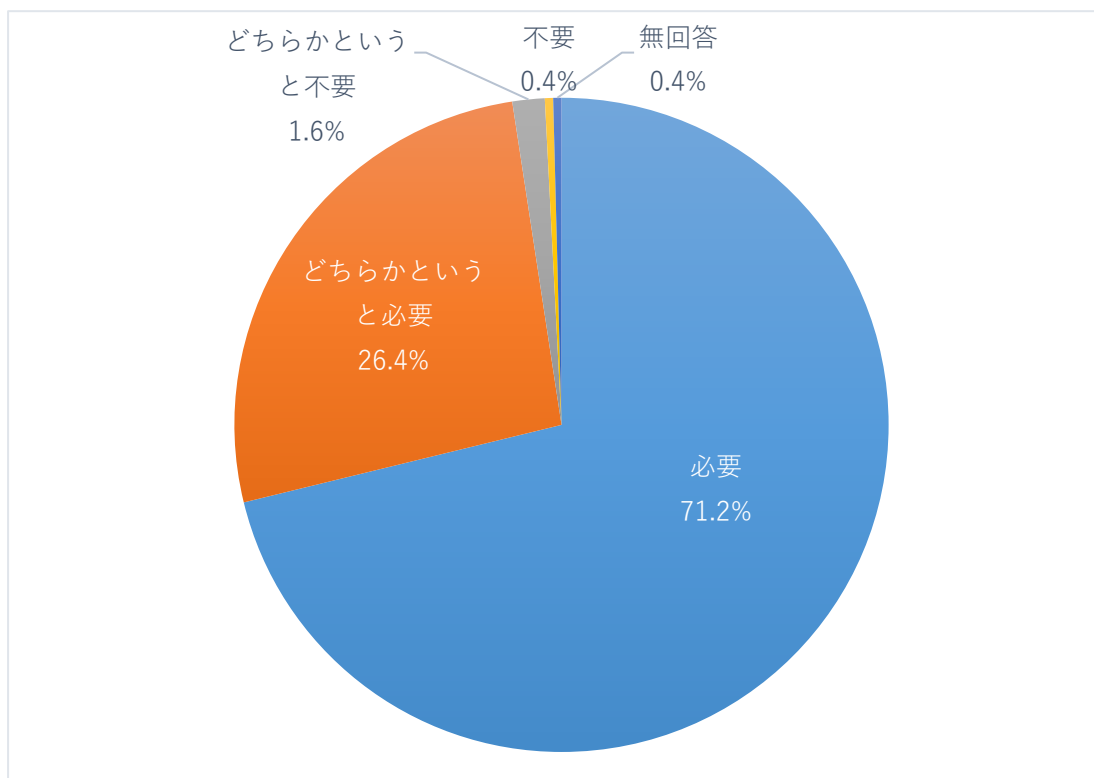
- ・理想的な学級数の理由としては、「クラス替えができ、多様な人間関係を構築できる」を選んだ方が46.2%で最も高い割合でした。

(合計回答数：n=5,356、率合計：200%)

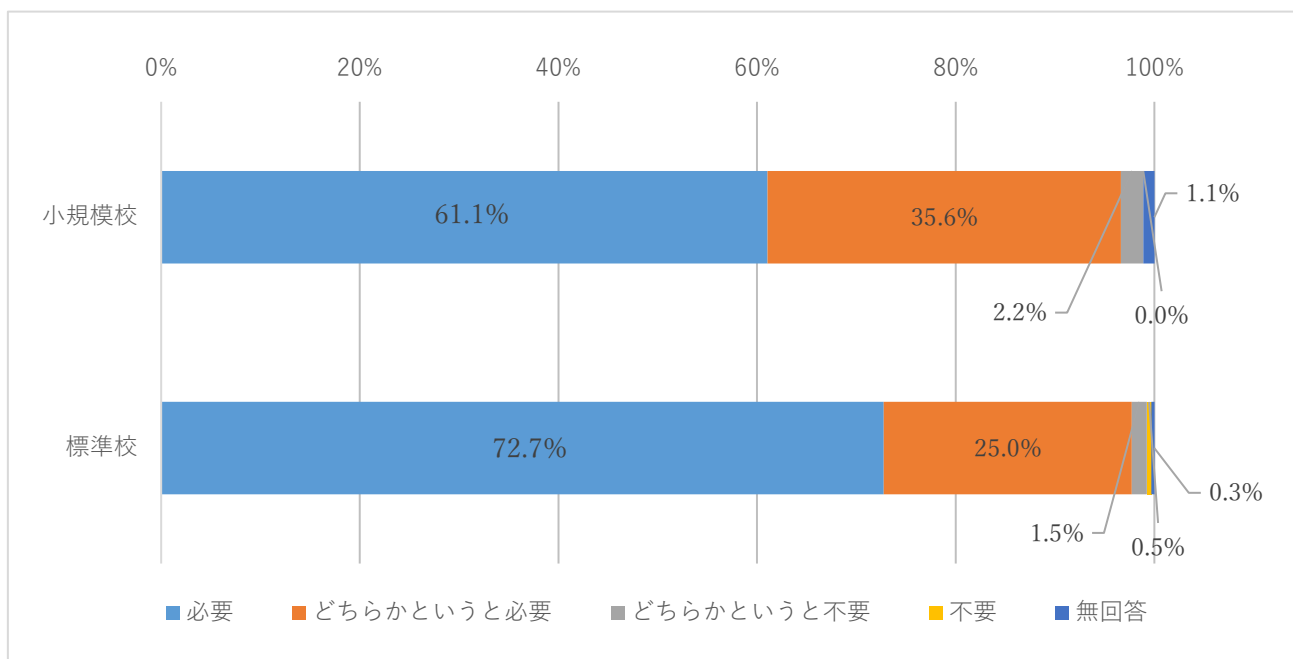


設問⑦ クラス替えの必要性についてどう思いますか。

- ・クラス替えの必要性については、「必要」と「どちらかという必要」を合わせた割合が 97.6%を占めており、極めて高い割合となっています。学校規模別で見ると、小規模の必要の割合は、標準規模と比較すると 11 ポイント程度低い割合となっています。(合計回答数：n=2,697)



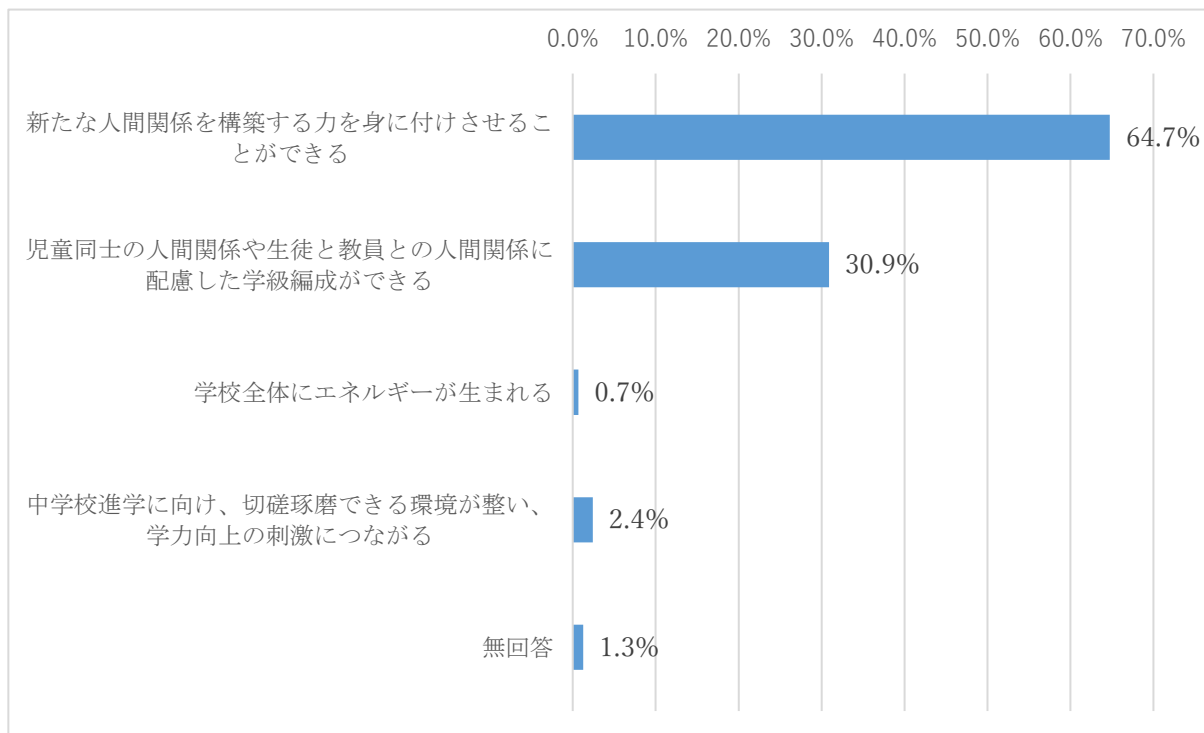
《学校規模別》 小規模校：n=357、標準規模校：n=2,340、合計：n=2,697



設問⑧ クラス替えが必要と思われる理由はなぜですか。

【 設問⑦で「1」または「2」を選んだ方（回答数：n=2,632）】

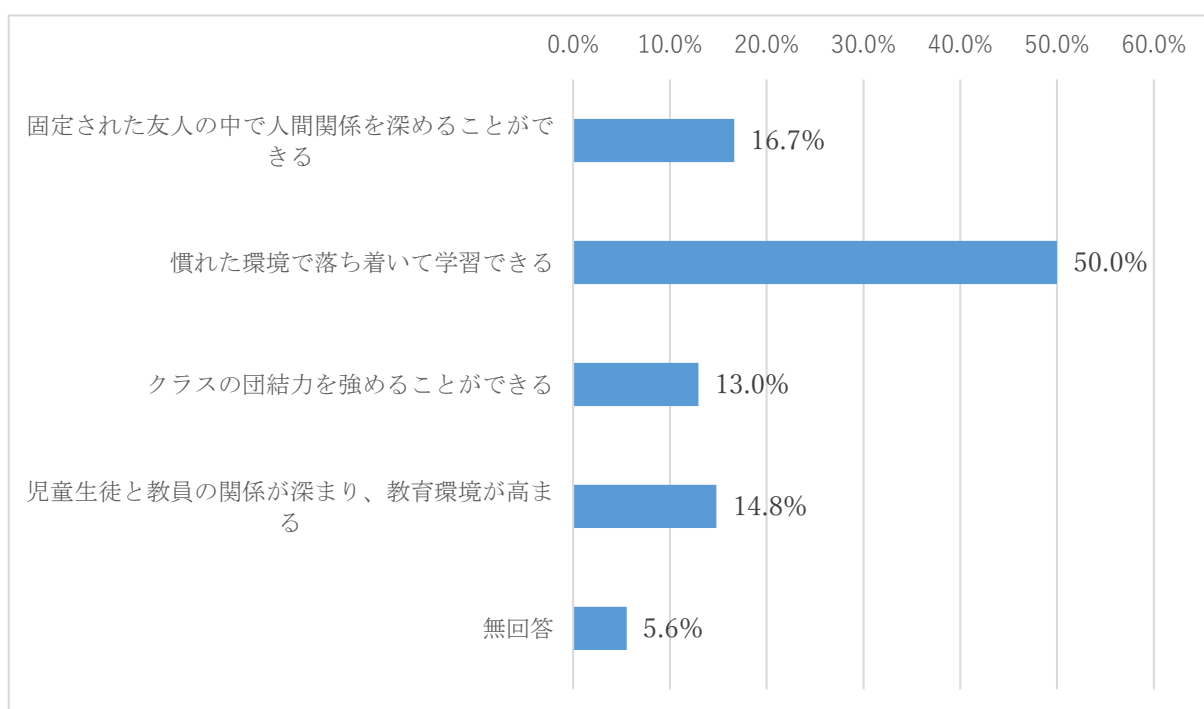
- ・クラス替えが必要な理由として、「新たな人間関係を構築する力を身に付けさせることができる」が64.7%と最も高い割合を占めており、次いで、「児童同士の人間関係や生徒と教員との人間関係に配慮した学級編成ができる」が30.9%となっています。



設問⑨ クラス替えが不要と思われる理由はなぜですか。

【 設問⑦で「3」または「4」を選んだ方（回答数：n=54）】

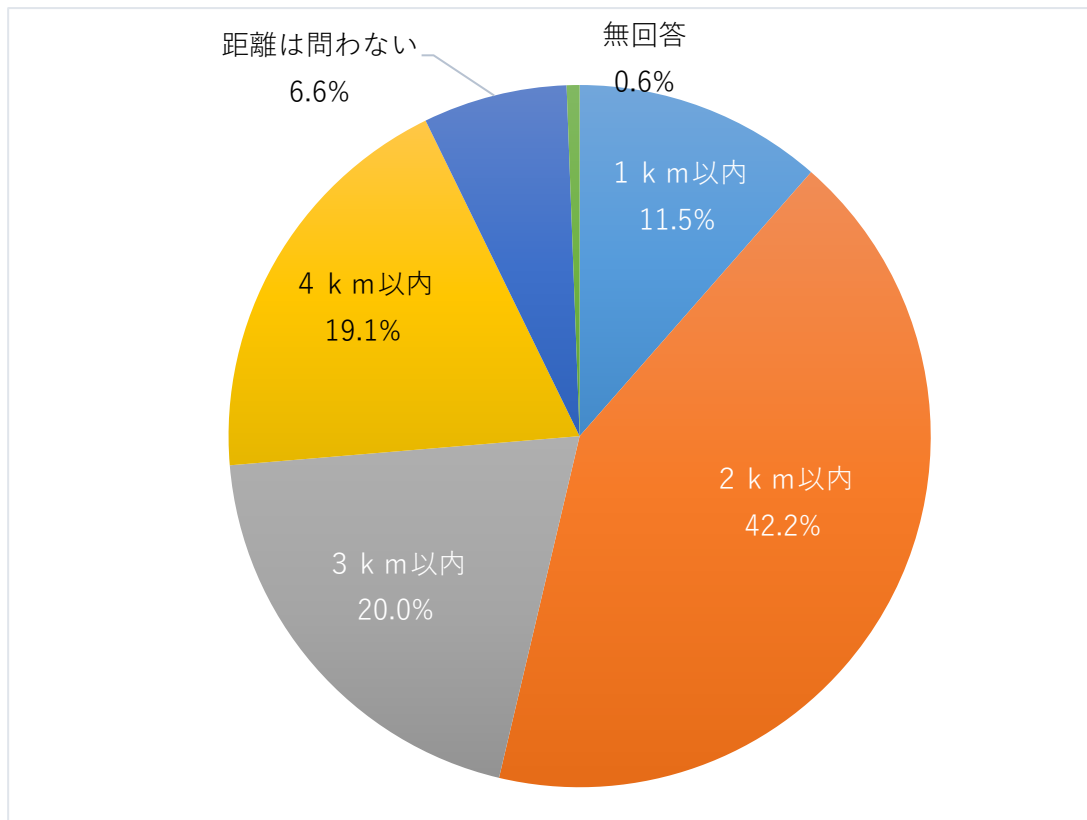
- ・クラス替えが不要な理由として、「慣れた環境で落ち着いて学習できる」が50%と最も高い割合を占めています。



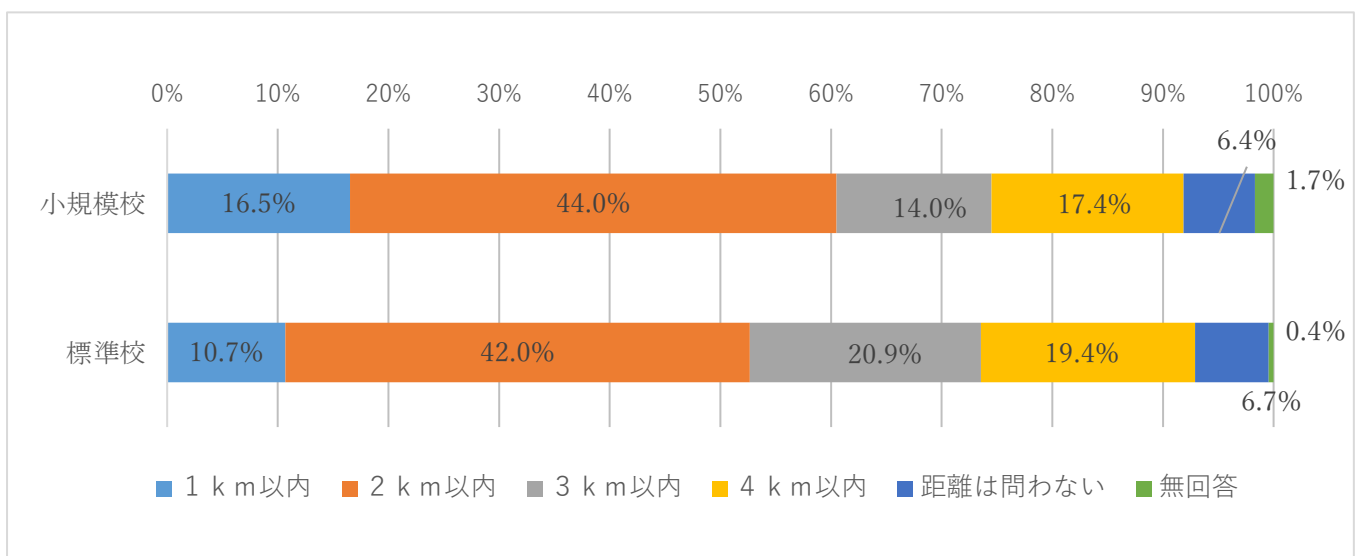
設問⑩ 小学校の通学距離は、法令によると「おおむね4キロメートル以内であること」となっていますが、どの程度の距離までが通学可能範囲と思われますか。

(合計回答数：n=2,697)

- ・通学可能範囲の距離についての考え方は、「2 k m以内」が42.2%と最も高い割合を占めて、次いで「3 k m以内」「4 k m以内」が同等の割合となっています。学校規模別でみると、標準規模校の回答の方が、通学可能範囲の距離が長い傾向にあります。

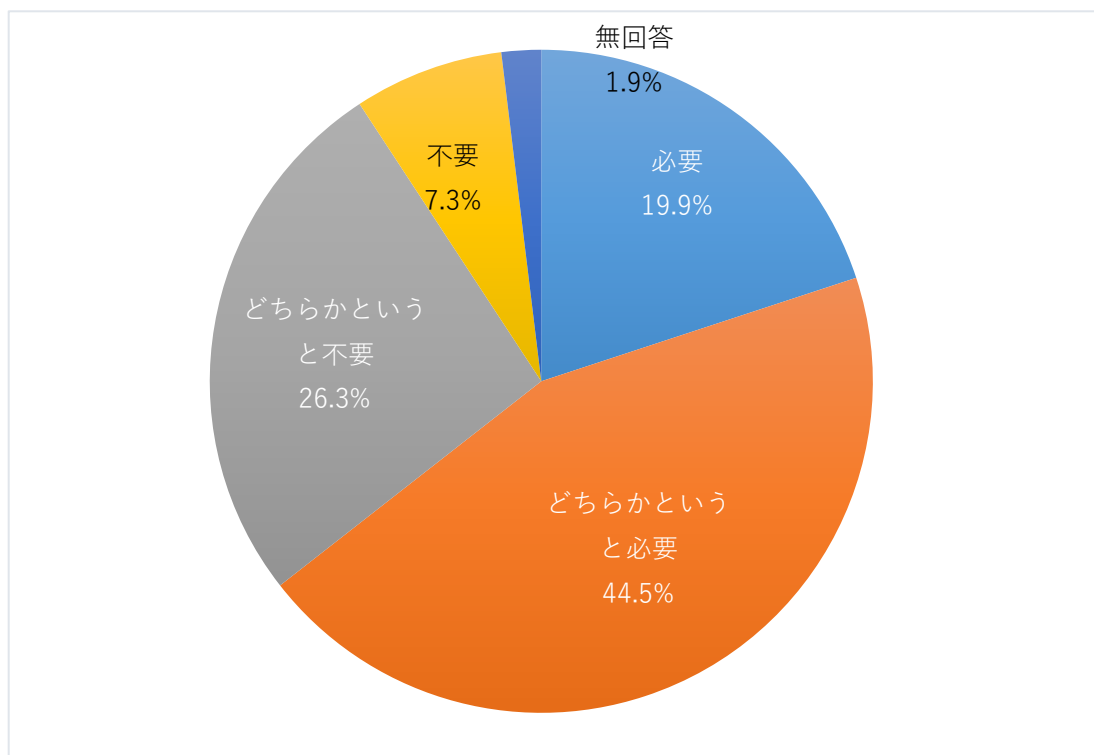


《学校規模別》 小規模校：n=357、標準規模校：n=2,340、合計：n=2,697

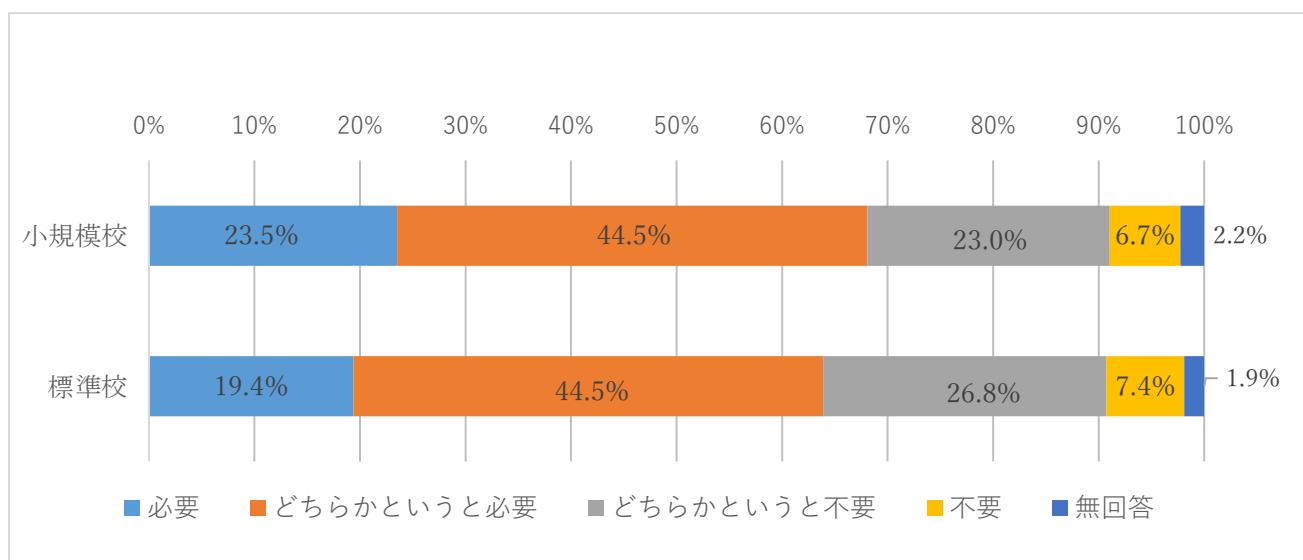


設問⑪ 小規模校対策（例：学校の統合、通学区域の見直し等）は必要だと思いますか。（合計回答数：n=2,697）

- ・小規模校対策の必要性については、「必要」と「どちらかという必要」を合わせた割合が、64.4%となっています。学校規模別でみると、極端な差はありませんが、小規模校の「必要」と「どちらかという必要」を合わせた割合の方が、標準規模校と比べて4ポイント程度高い割合になっています。



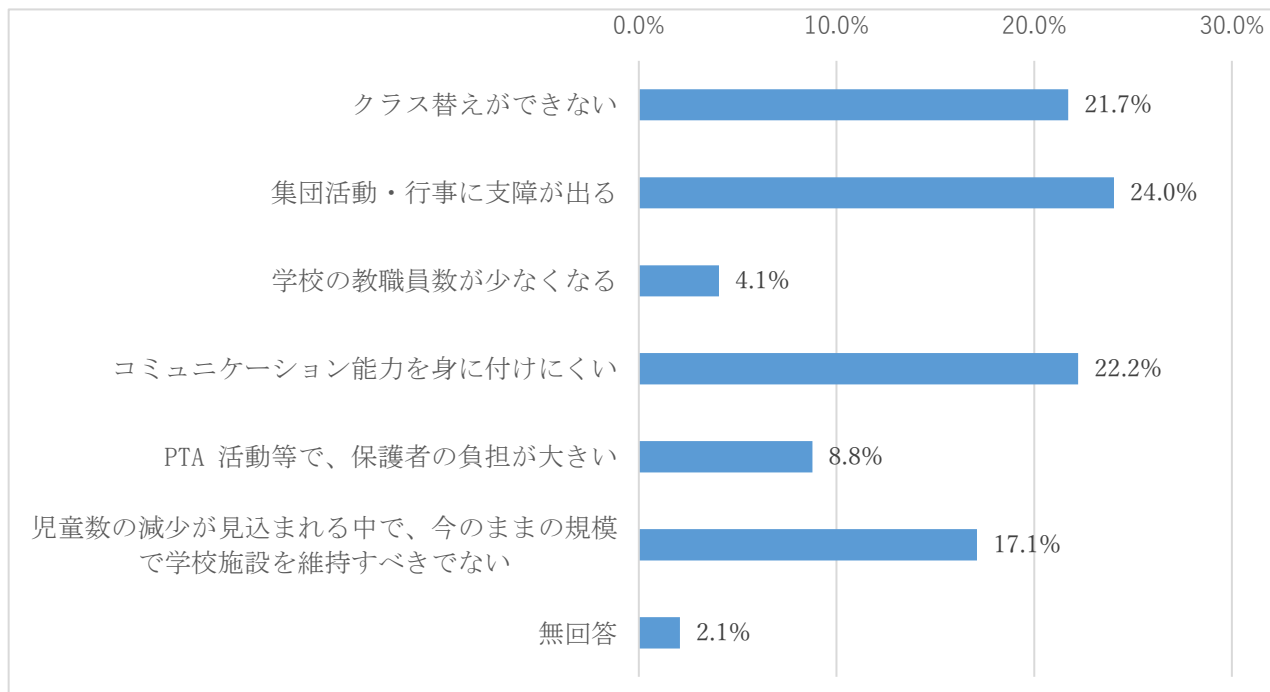
《学校規模別》 小規模校：n=357、標準規模校：n=2,340、合計：n=2,697



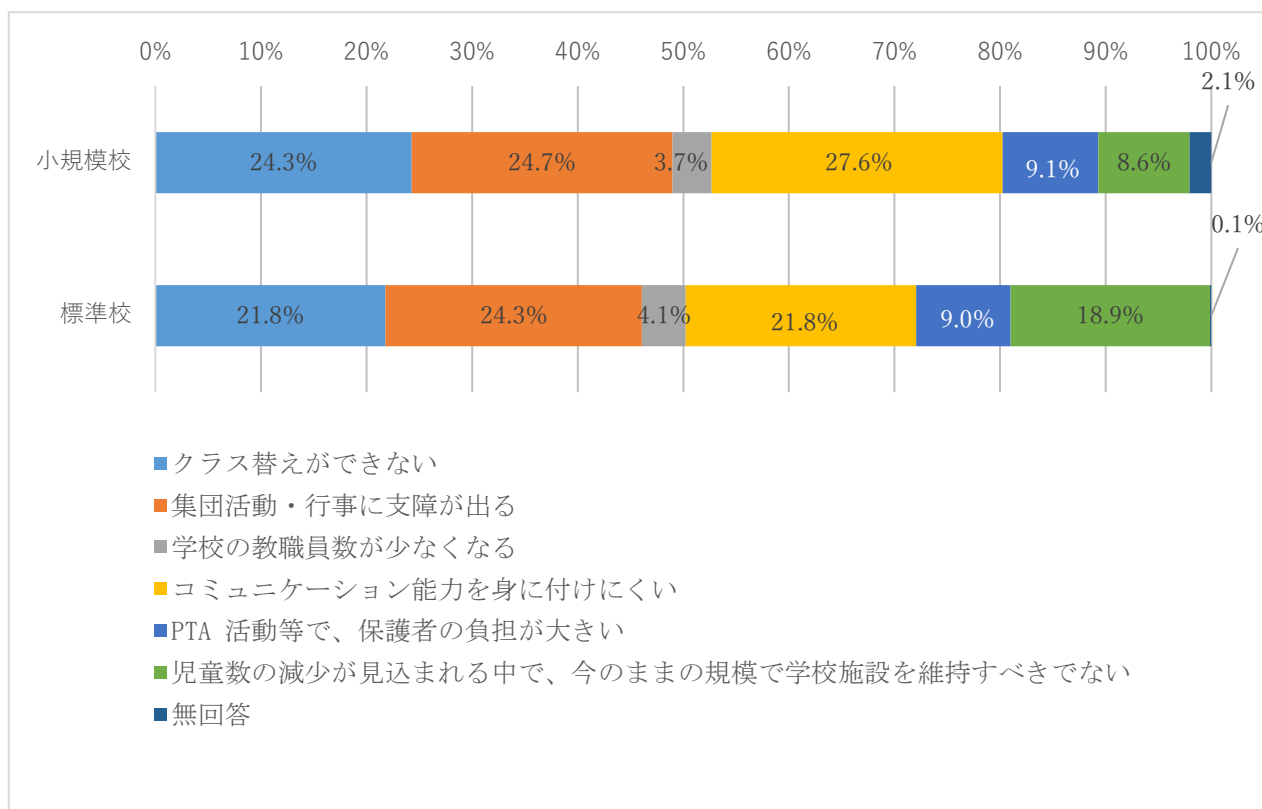
【設問⑪で「1」または「2」を選んだ方のみ回答。(合計回答数：n=1,738)】

設問⑫ 設問⑪で「1」または「2」を選んだ理由をお選びください。

- ・小規模校対策が必要な理由として、「集団活動・行事に支障が出る」が24.0%、次いで、「コミュニケーション能力を身に付けにくい」・「クラス替えができない」が20%台で続きます。



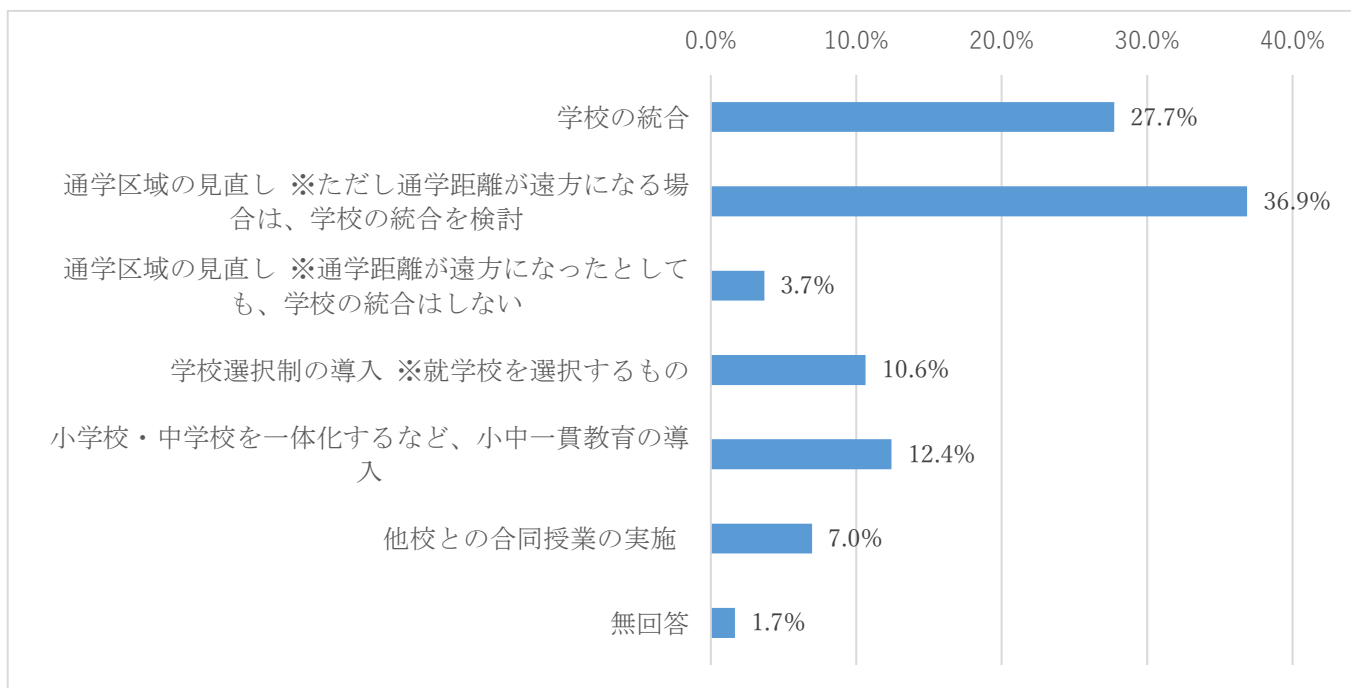
《学校規模別》 小規模校：n=243、標準規模校：n=1,495、合計：n=1,738



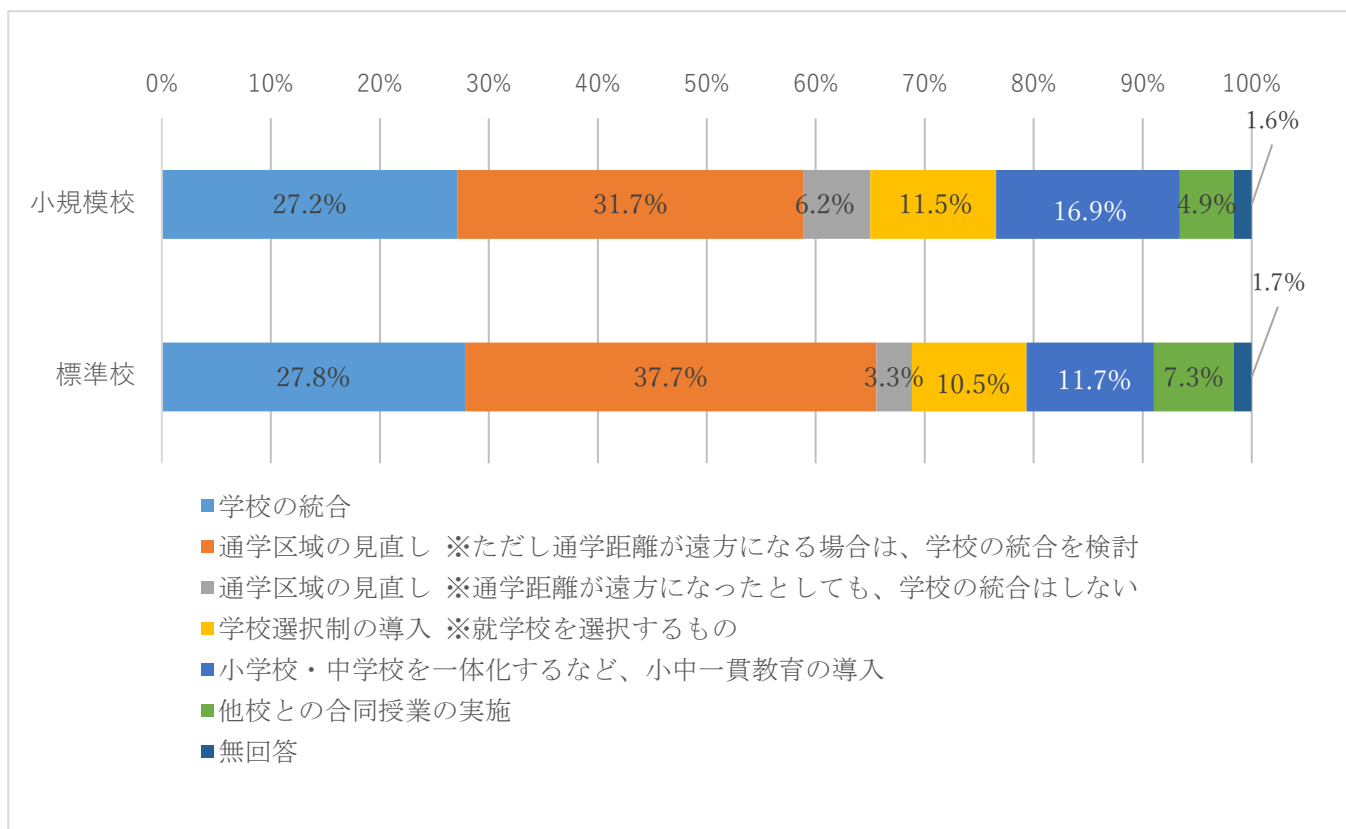
【設問⑪で「1」または「2」を選んだ方のみ回答。(合計回答数：n=1,738)】

設問⑬ 小規模校対策で、望ましい対策はどれですか。

- ・小規模校対策として望ましいものは、「通学区域の見直し※通学距離によっては学校統合を検討」が36.9%で最も高い割合で、次いで、「学校の統合」が27.7%となっています。学校規模別でみると、大きな傾向の差はないが、小規模校では「小中一貫教育の導入」が6ポイントほど標準規模校より高くなっています。



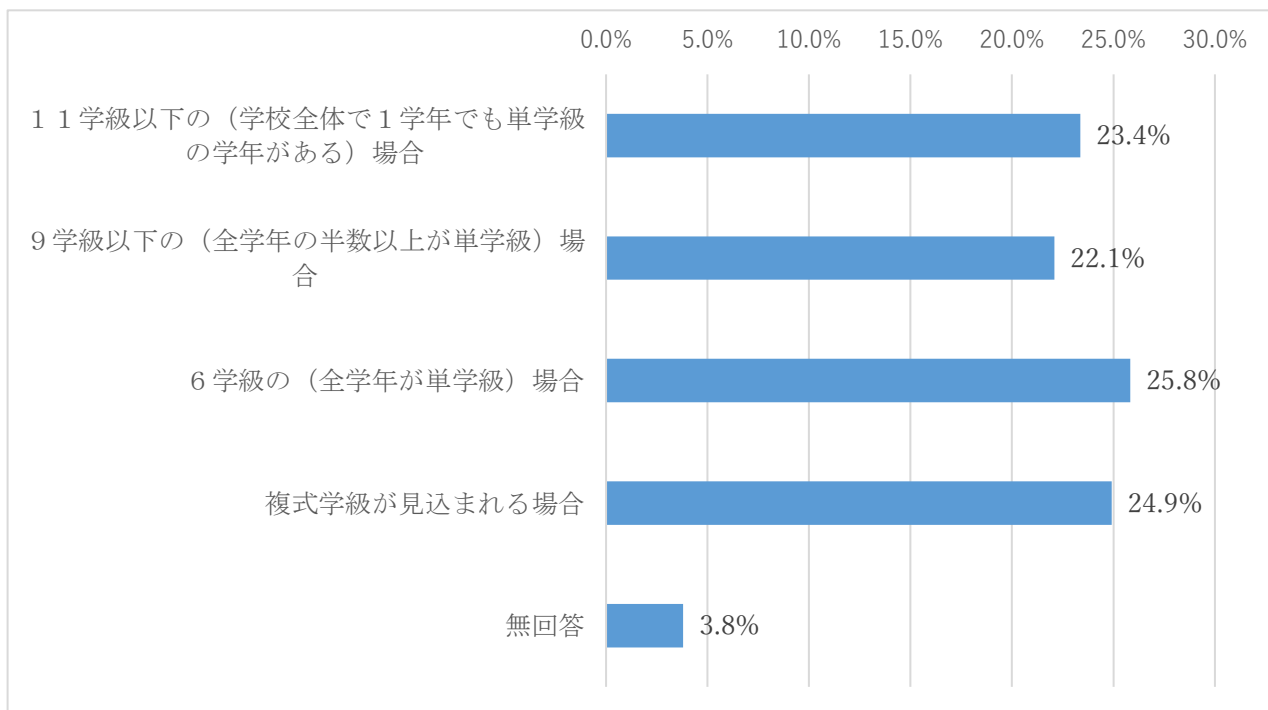
《学校規模別》 小規模校：n=243、標準規模校：n=1,495、合計：n=1,738



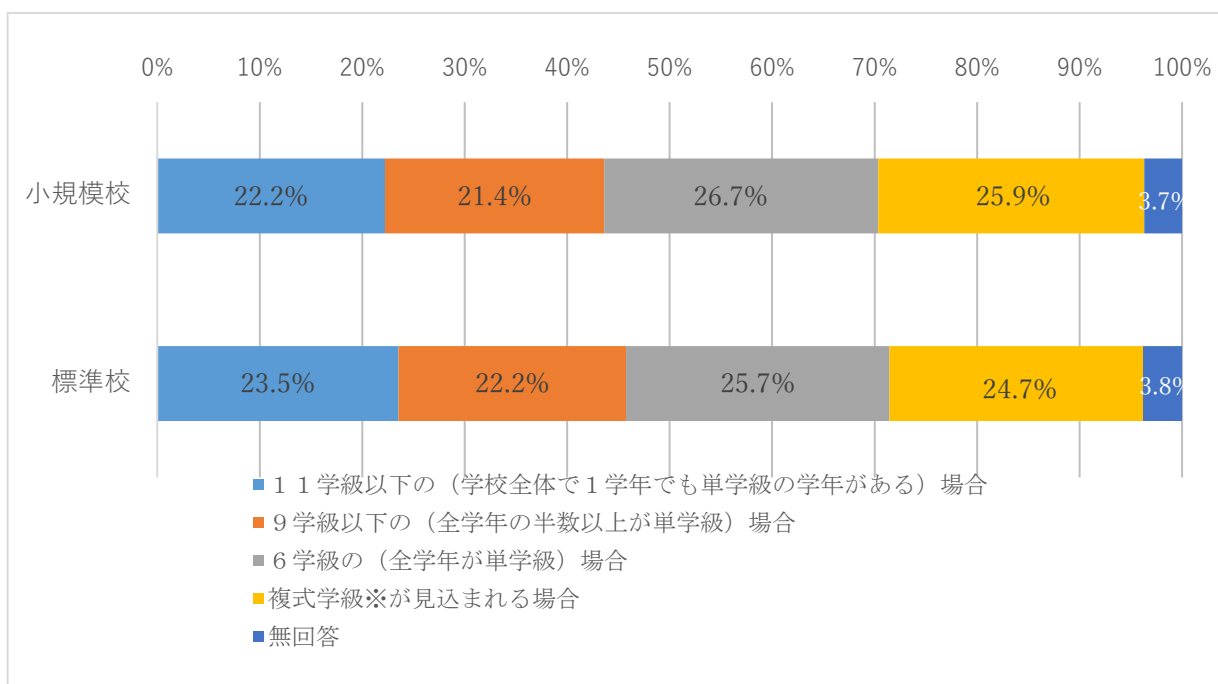
【設問⑩で「1」または「2」を選んだ方のみ回答。(合計回答数：n=1,738)】

設問⑭ 小規模校対策として、「学校の統合」を検討する場合の状況について、どう思われますか。

- ・学校の統合を検討する場合の学級数の状況として、「6学級の場合」の全学年単学級の場合がわずかに多く、単学級の学年がある場合を合わせると71.3%になります。一方で、複式学級が見込まれる場合に実施すべきとの回答も4分の1程度あります。学校規模別でも、同様の傾向にあるといえます。



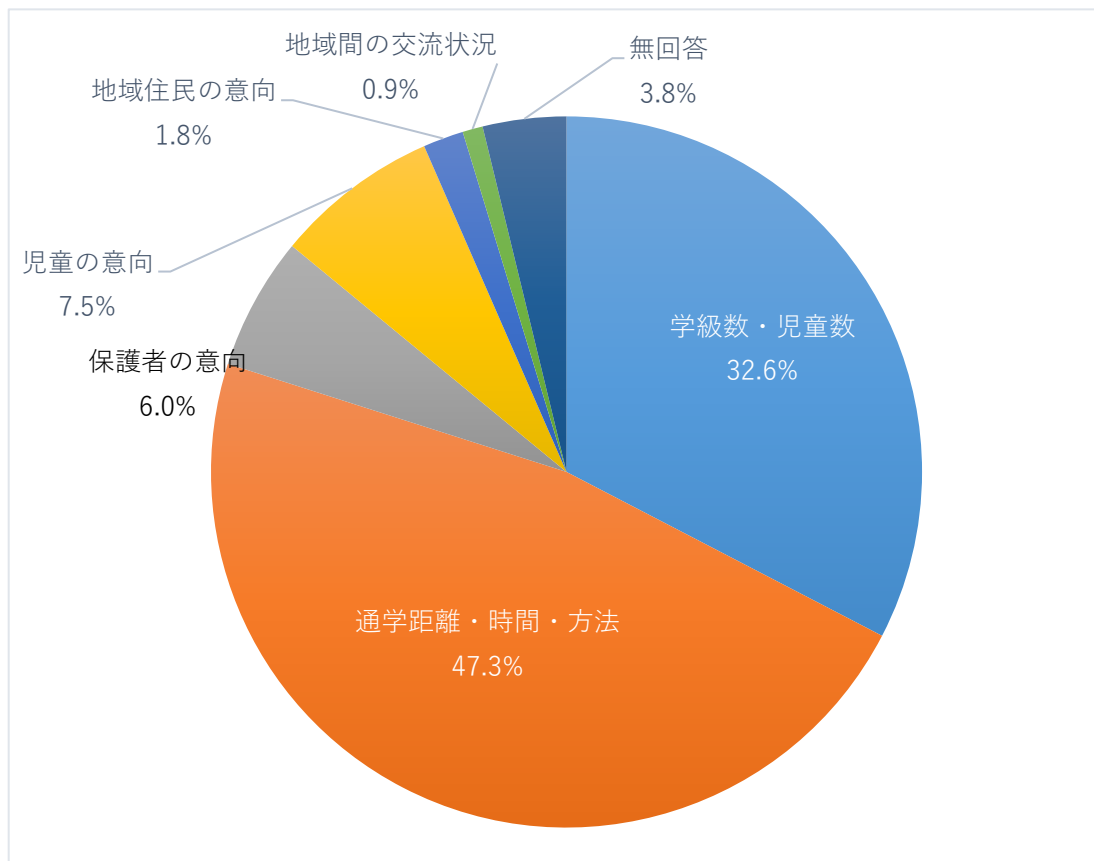
《学校規模別》 小規模校：n=243、標準規模校：n=1,495、合計：n=1,738



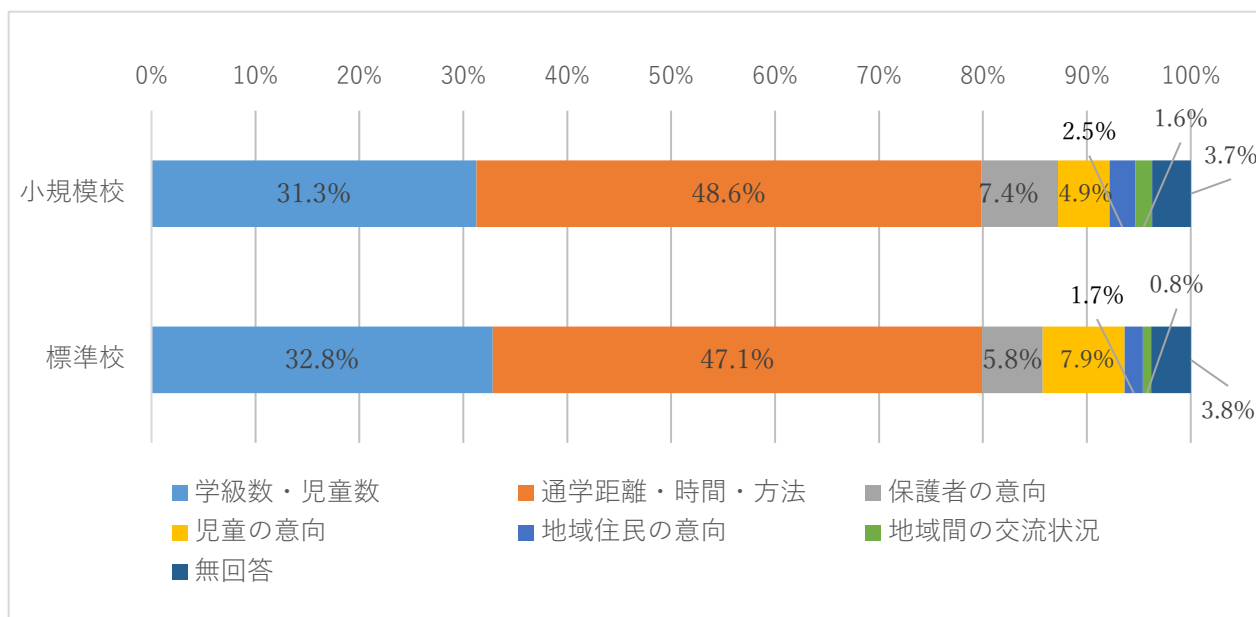
【設問⑩で「1」または「2」を選んだ方のみ回答。(合計回答数：n=1,738)】

設問⑮ 「学校の統合」を検討する場合に重視すべきことは何だと思いませんか。

- ・学校の統合を検討する場合に重視すべき点として、「通学距離・時間・方法」が47.3%と最も高い割合で、次いで、「学級数・児童数」が32.6%などとなっています。学校規模別でも、同様の傾向にあるといえます。



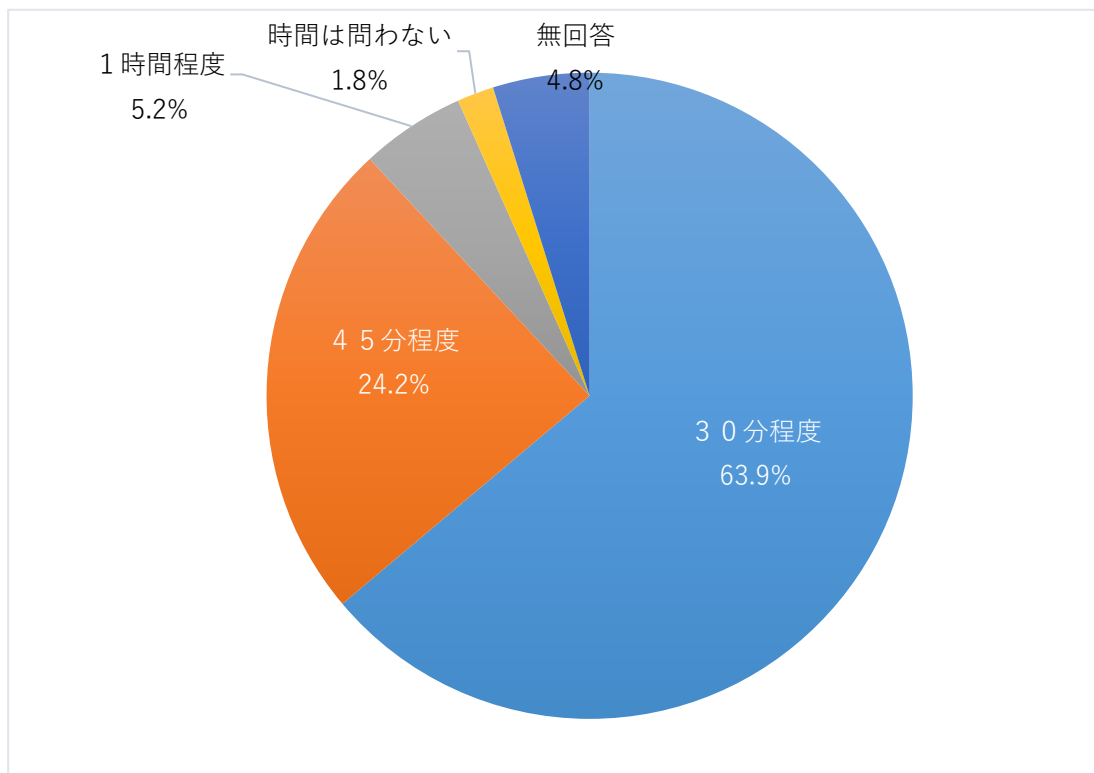
《学校規模別》 小規模校：n=243、標準規模校：n=1,495、合計：n=1,738



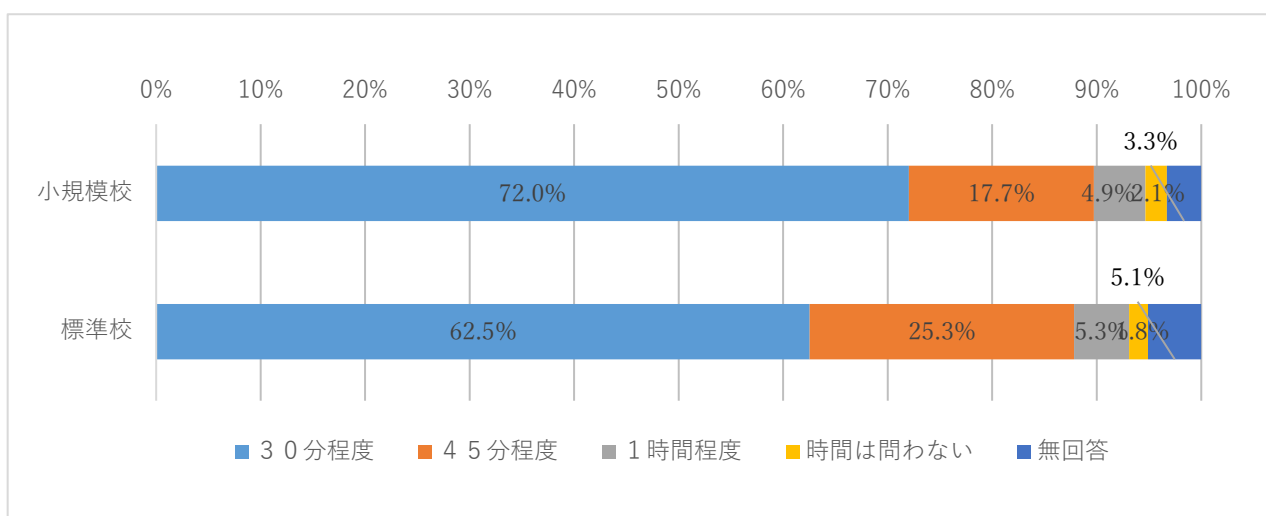
【設問⑪で「1」または「2」を選んだ方のみ回答。(合計回答数：n=1,738)】

設問⑯ 学校の統合や通学区域の見直し等を検討する場合、通学にかかる時間の限度についてはどのように思いますか。

- ・小規模校対策の検討における通学時間についての回答では、「30分程度」63.9%と最も高い割合となりました。学校規模別でも、大きな回答傾向の違いはないが、小規模校の方が標準規模校より30分程度の回答が9ポイント以上多い結果となっています。



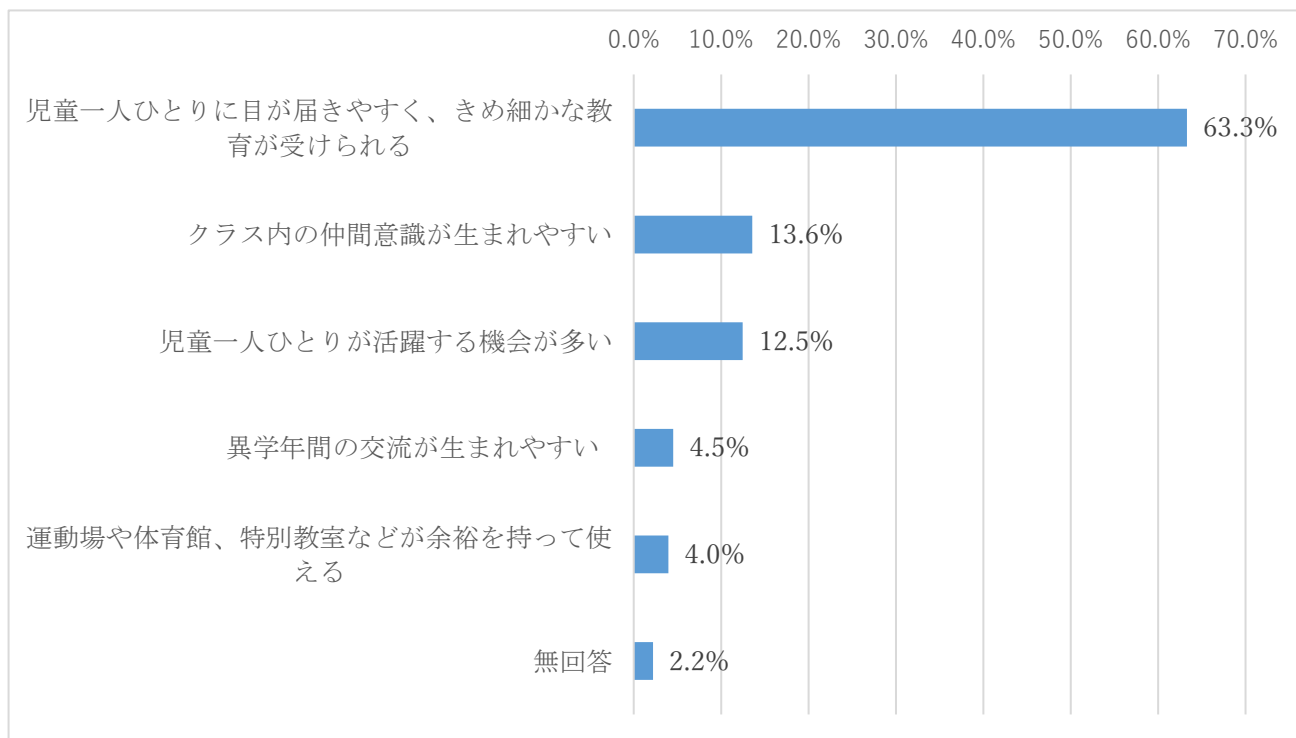
《学校規模別》 小規模校：n=243、標準規模校：n=1,495、合計：n=1,738



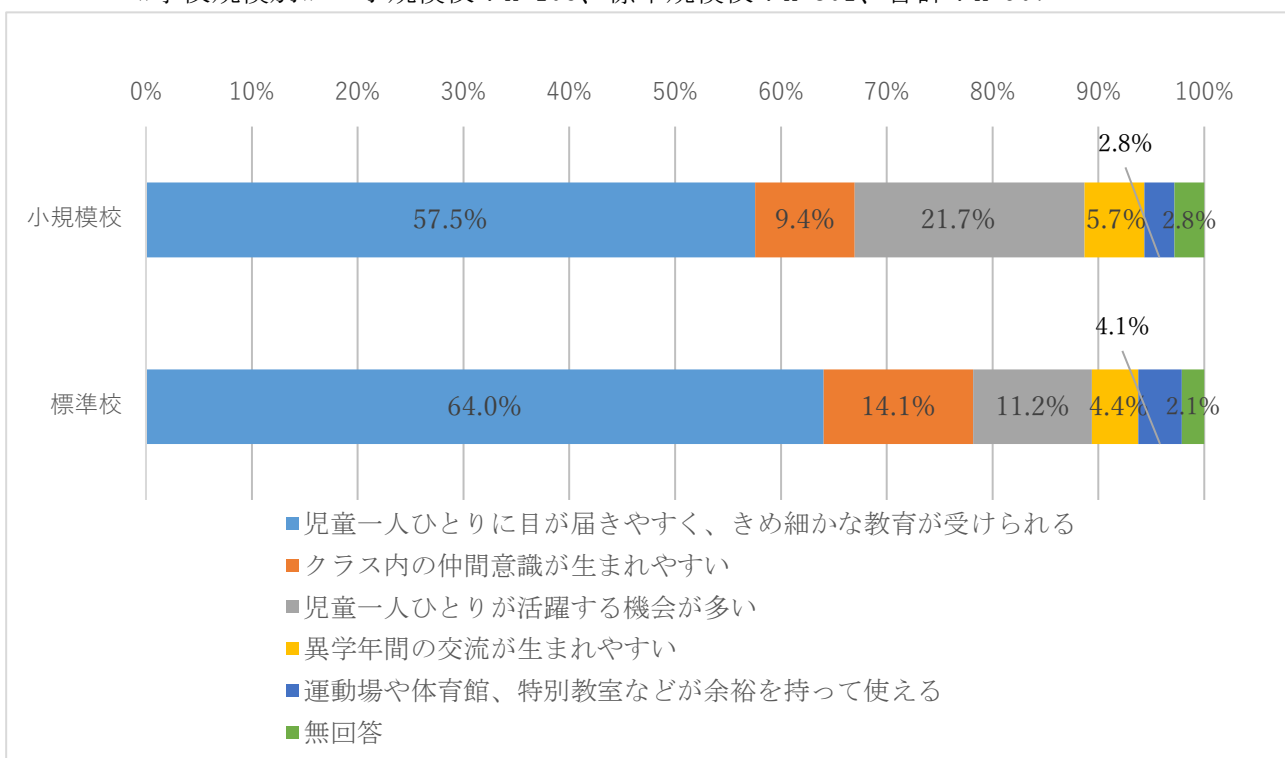
【設問⑩で「3」または「4」を選んだ方のみ回答。(合計回答数：n=907)】

設問⑰ 設問⑩で「3」または「4」を選んだ理由をお選びください。

- ・小規模校対策が不要(どちらかといえば不要)と思う理由としては、「児童一人ひとりに目が届きやすく、きめ細かな教育が受けられる」が63.3%と最も高い割合となっています。学校規模別で見ると、小規模校の回答で「児童一人ひとりが活躍する機会が多い」が標準規模校より10ポイント以上多くなっています。



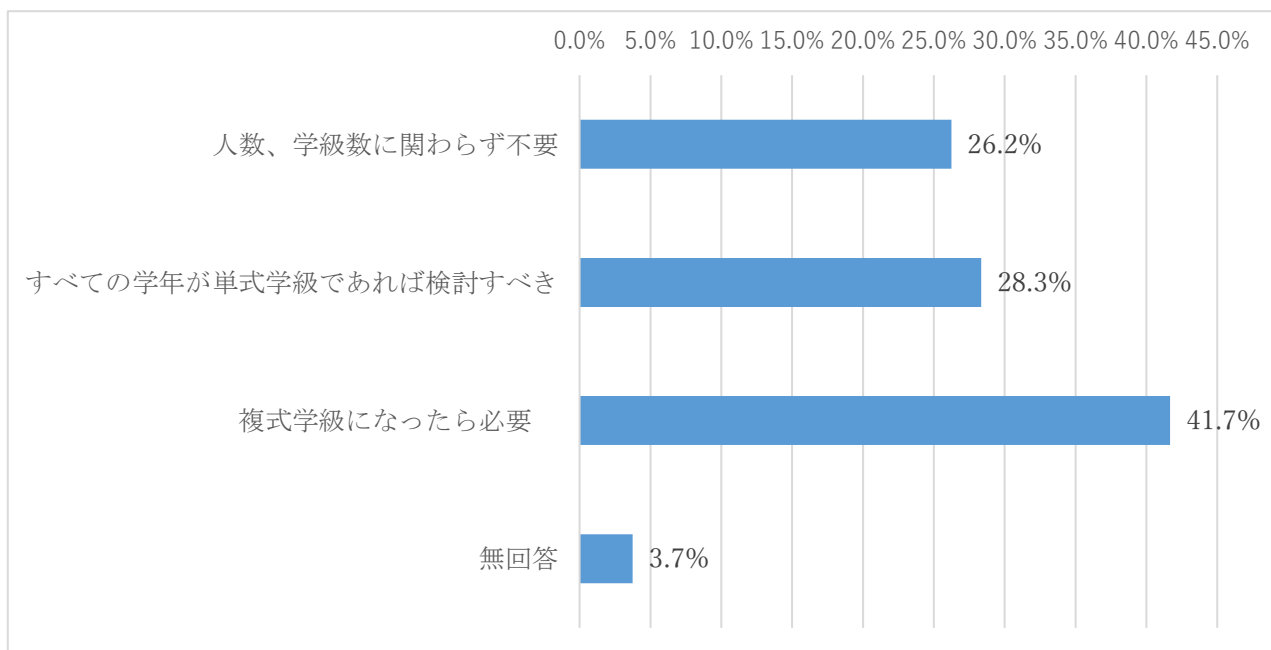
《学校規模別》 小規模校：n=106、標準規模校：n=801、合計：n=907



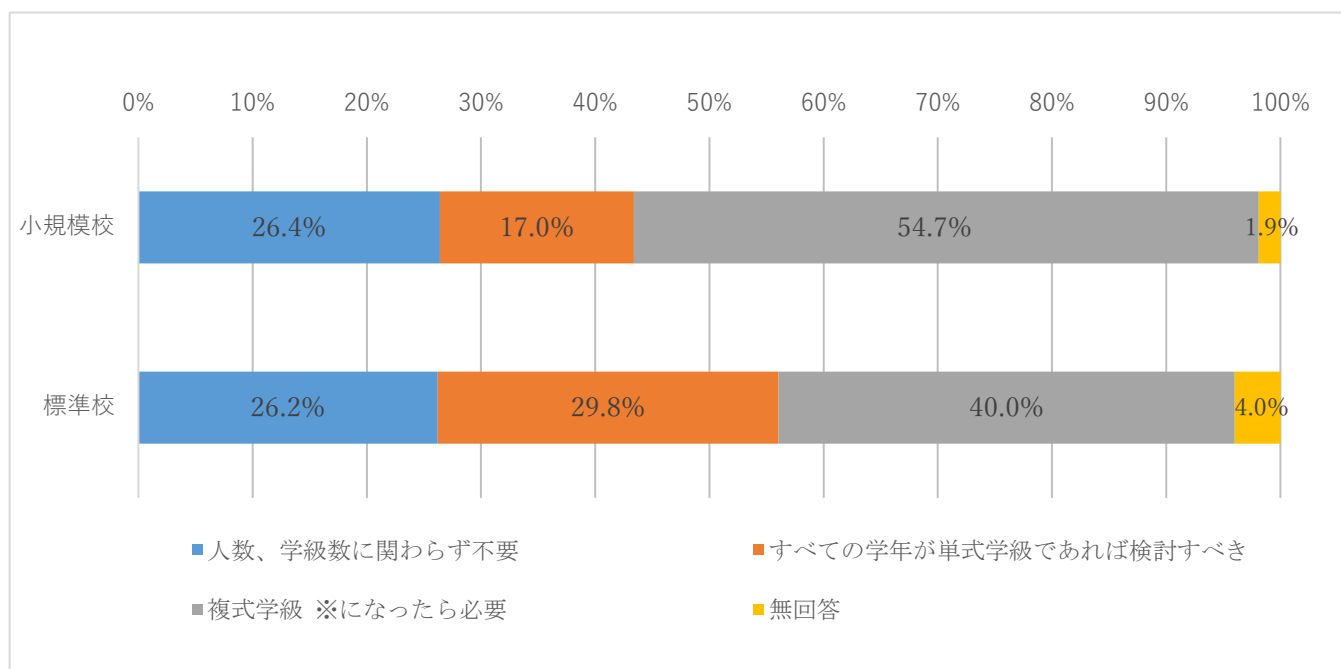
【設問⑩で「3」または「4」を選んだ方のみ回答。(合計回答数：n=907)】

設問⑩ 小規模校対策（例えば学校の統合や通学区域の見直し）について、あなたの考え方に近いほうをお選びください。

- ・小規模校対策は「不要」「どちらかというとな必要」と選択した場合でも、「複式学級になったら必要」が41.7%と高い割合を占めています。学校規模別では、小規模校の回答が「複式学級」について54.7%と過半数を超える結果となっています。



《学校規模別》 小規模校：n=106、標準規模校：n=801、合計：n=907

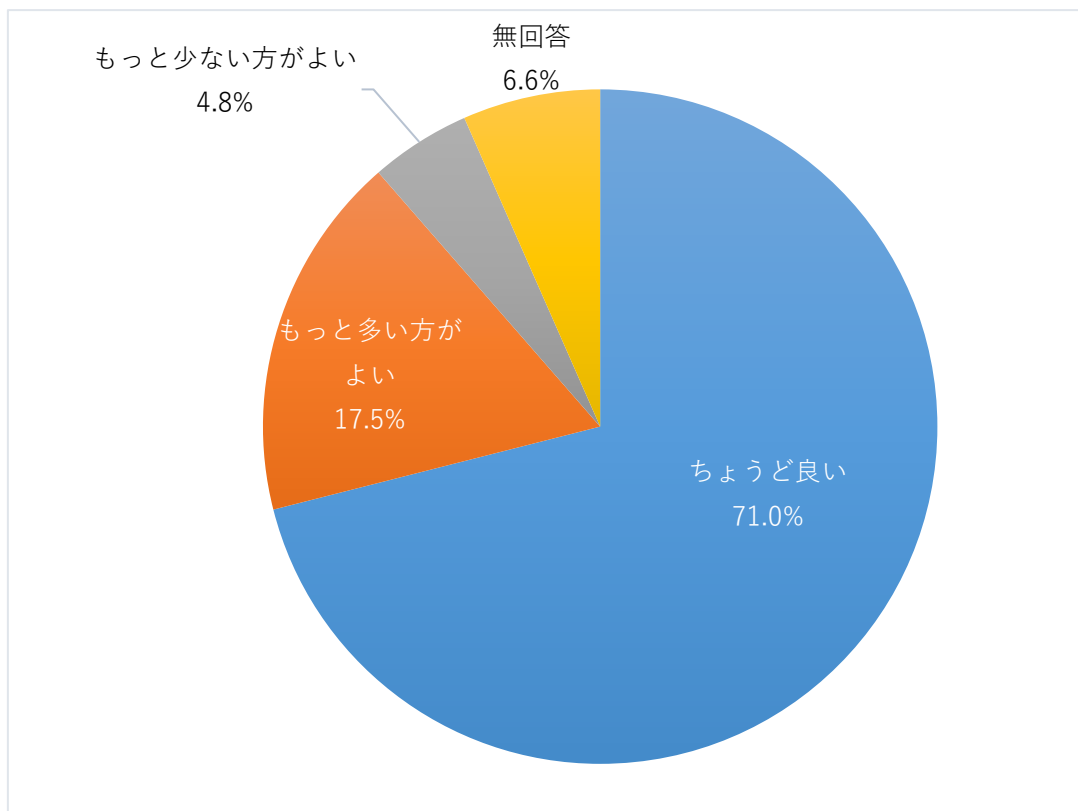


【設問⑱から㉑については、児童に回答していただいている設問です。】

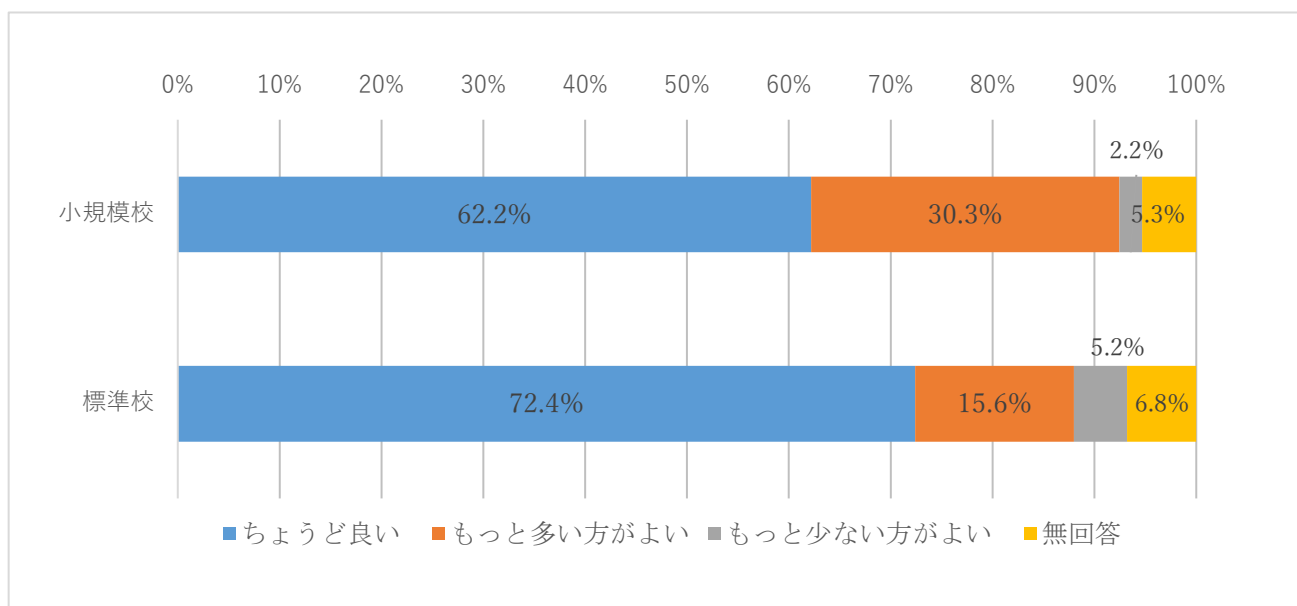
設問⑱ あなたの学年の学級数(クラスの数)についてどのように感じますか。

(合計回答数：n=2,697)

- ・現在学校に通っている児童は、学年の学級数について「ちょうど良い」と71%と回答しています。学校規模別でみると、小規模校に通う児童は、「もっと多い方がよい」の回答が30%を超えています。

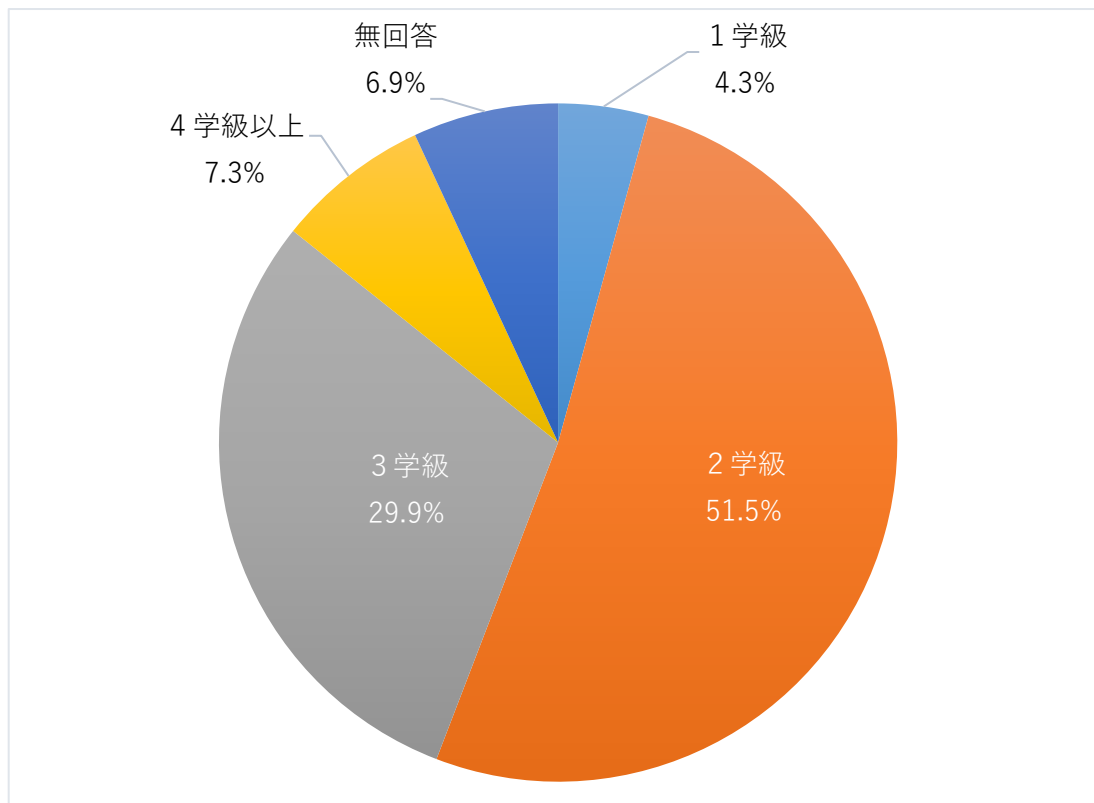


《学校規模別》 小規模校：n=357、標準規模校：n=2,340、合計：n=2,697

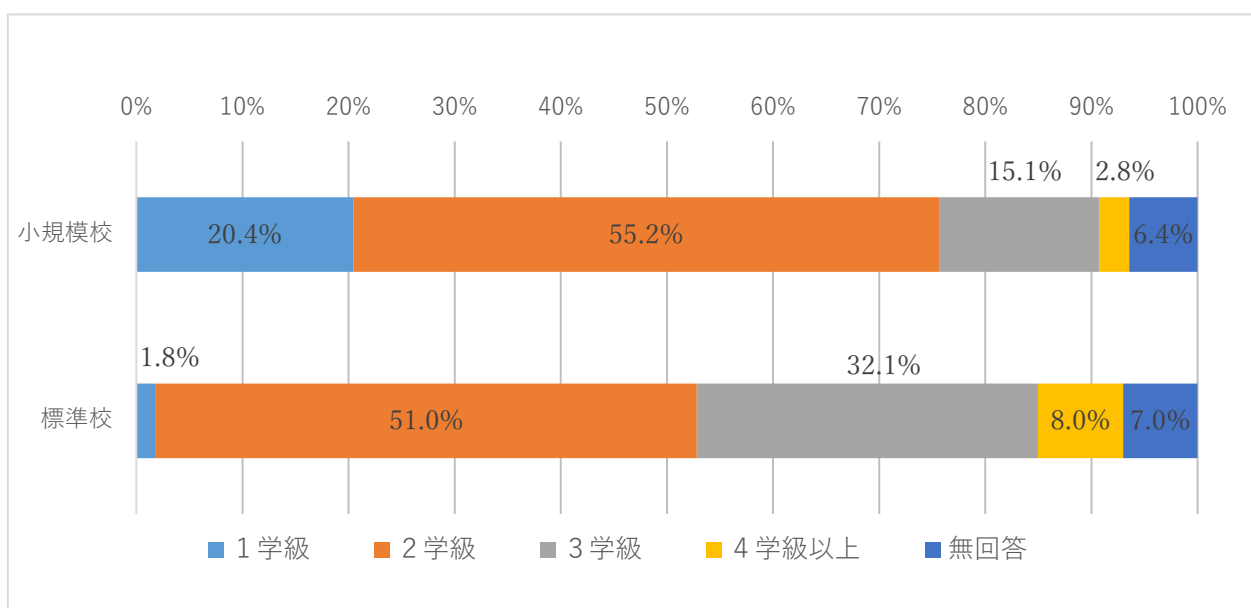


設問⑳ 学年での1学年の学級数（クラスの数）はどのくらいがいいと思いますか。
 （合計回答数：n=2,697）

- ・児童が考える1学年の学級数については、「2学級」が51.5%で高い割合を占めて、次いで、「3学級」が29.9%となっています。学校規模別でみると、「2学級」の回答が多いのは同様だが、小規模校は「1学級」、標準規模校は「3学級」の回答率がそれぞれ高くなっています。

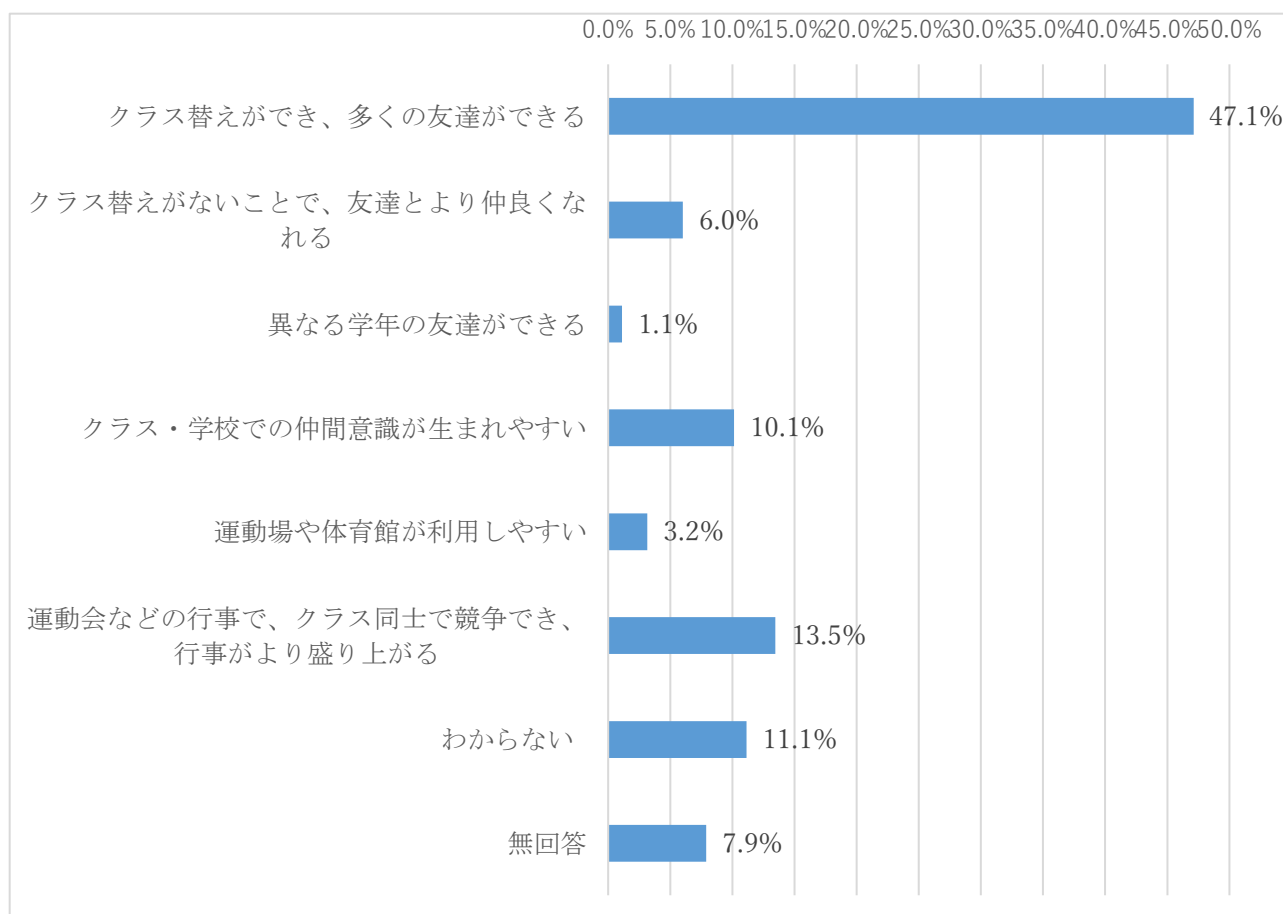


《学校規模別》 小規模校：n=357、標準規模校：n=2,340、合計：n=2,697

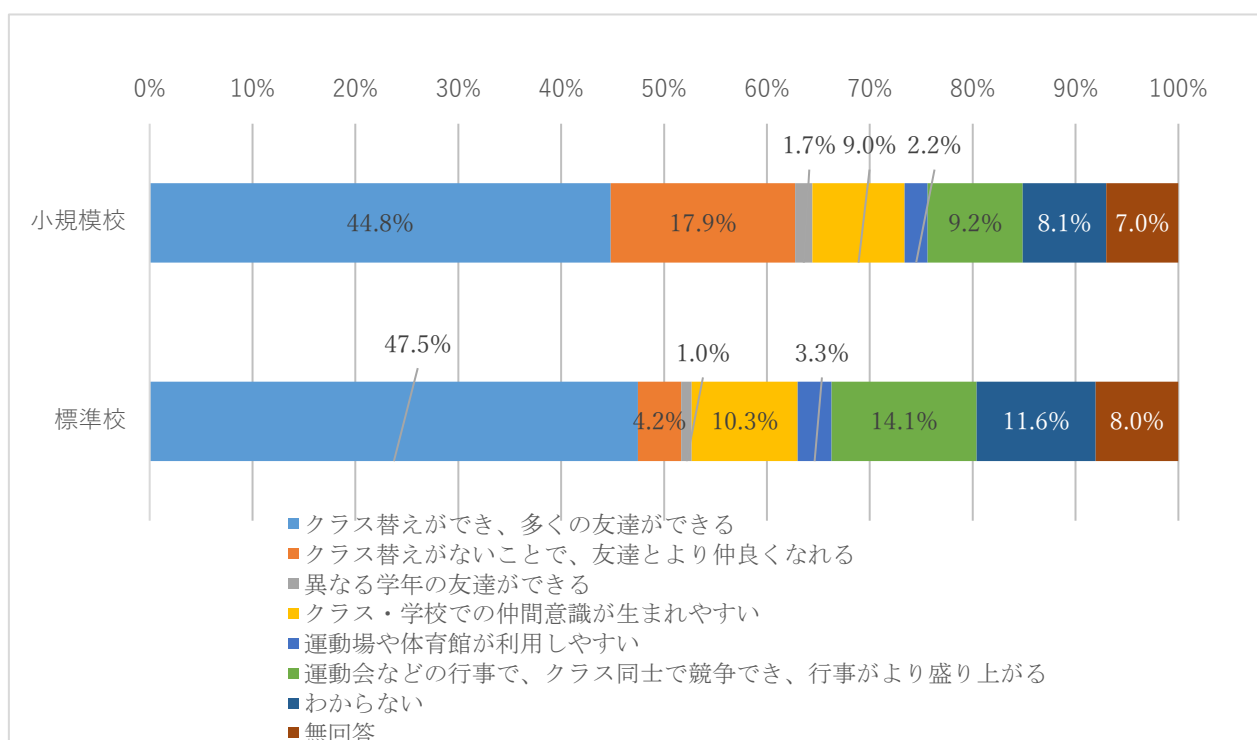


設問⑳ 設問㉑でそう思う理由はなぜですか。(合計回答数：n=2,697)

- ・設問㉑の回答理由では、「クラス替えができ、多くの友達ができる」が47.1%で高い割合を占めています。学校規模別でみると、小規模校は「クラス替えがないことで、友達と仲良くなれる」の回答が増えています。



《学校規模別》 小規模校：n=357、標準規模校：n=2,340、合計：n=2,697



(2) 中学校保護者アンケート調査結果

設問① あなたのお子さまが通学しているのはどこの学校ですか。

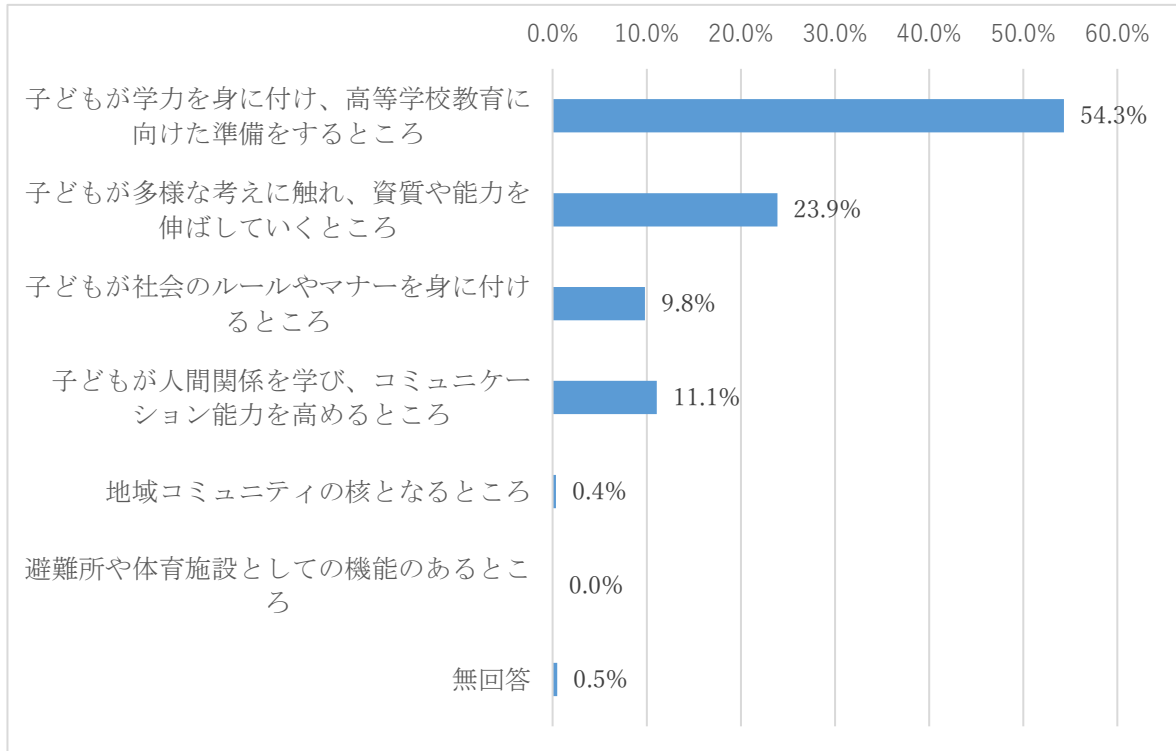
(合計回答数：n=1,669)

設問	回答数	構成比
蒲郡中学校	395	23.7%
三谷中学校	247	14.8%
塩津中学校	196	11.7%
大塚中学校	119	7.1%
西浦中学校	103	6.2%
形原中学校	350	21.0%
中部中学校	259	15.5%
合計	1,669	100.0%

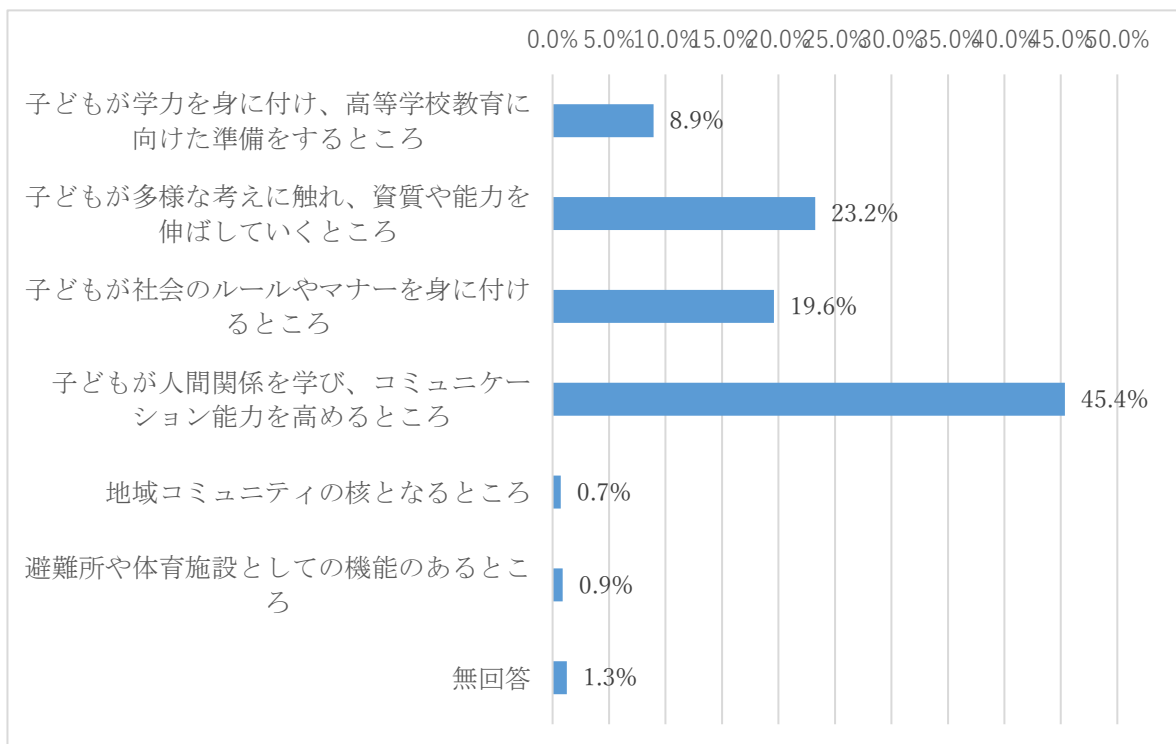
設問② お子さまが通う中学校はどのようなところであるべきだと思いますか。

- ・最もあてはまるものについては、「子どもが基礎的な学力を身に付け、高等学校教育に向けた準備をするところ」が54.3%と最も高い割合を占めています。次にあてはまるものについては、「子どもが人間関係を学び、コミュニケーション能力を高めるところ」が45.4%と最も高くなっています。「子どもが多様な考えに触れ、資質や能力を伸ばしていくところ」がともに次点回答数となっています。(回答数：n=1,669)

○最もあてはまるもの

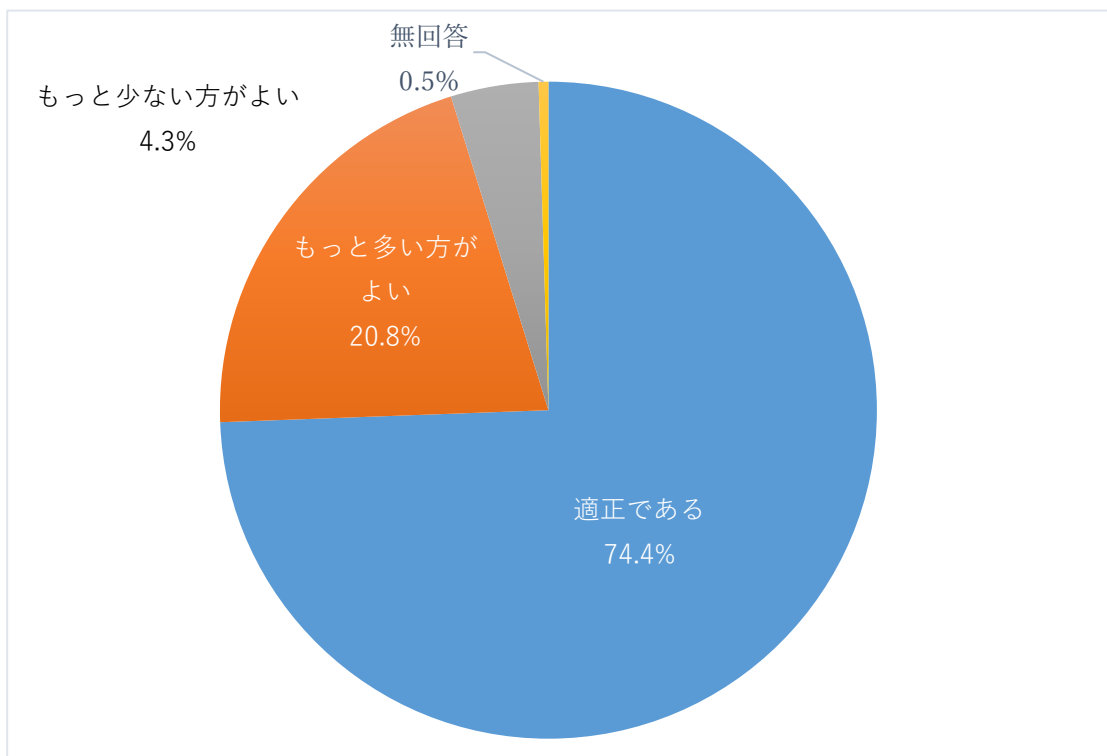


○次にあてはまるもの

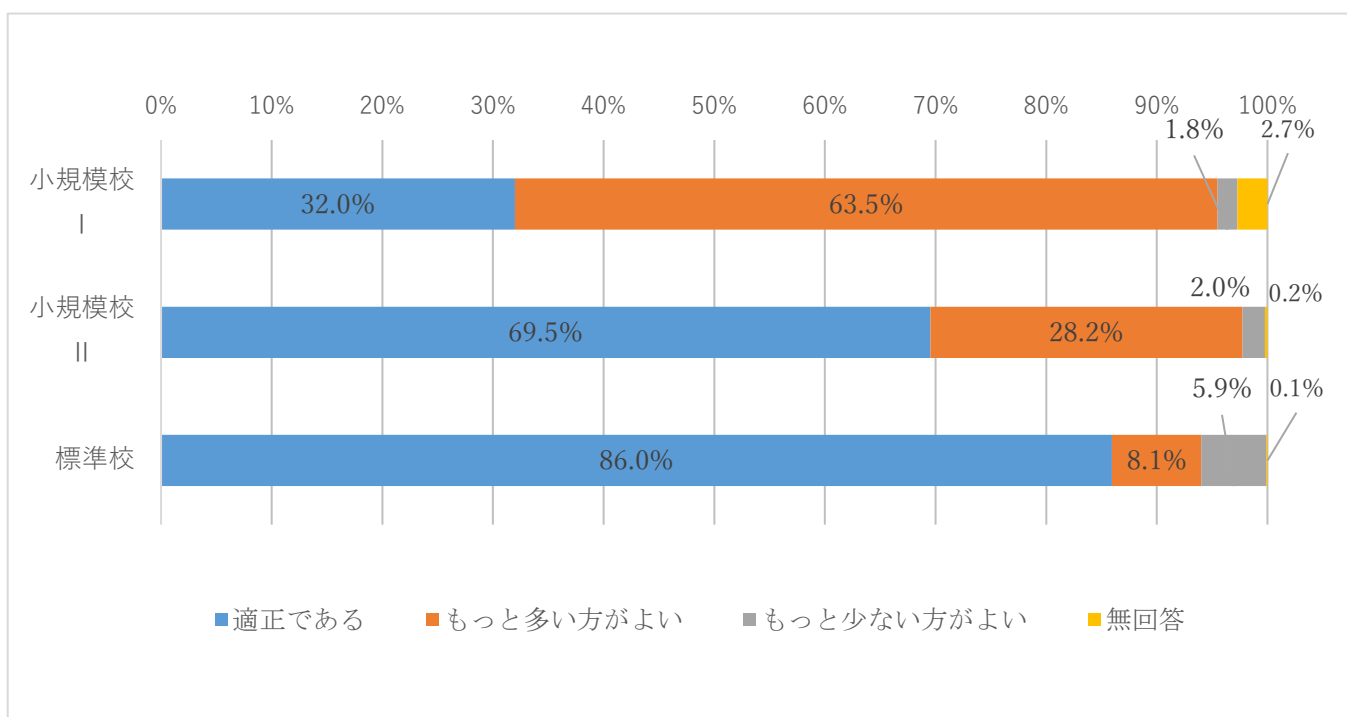


設問③ 現在お子さまが通っている学校規模（学年の学級数、生徒数など）について、どのように感じていますか。（合計回答数：n=1,669）

- 学校規模に対する回答では、「適正である」が74.4%を占めており、高い割合となっています。学校規模別でみると、小規模校Ⅰについては「もっと多い方がよい」が63.5%となっており、標準規模校と比べると、「適正である」と感じている割合が大幅に少ないことが分かります。

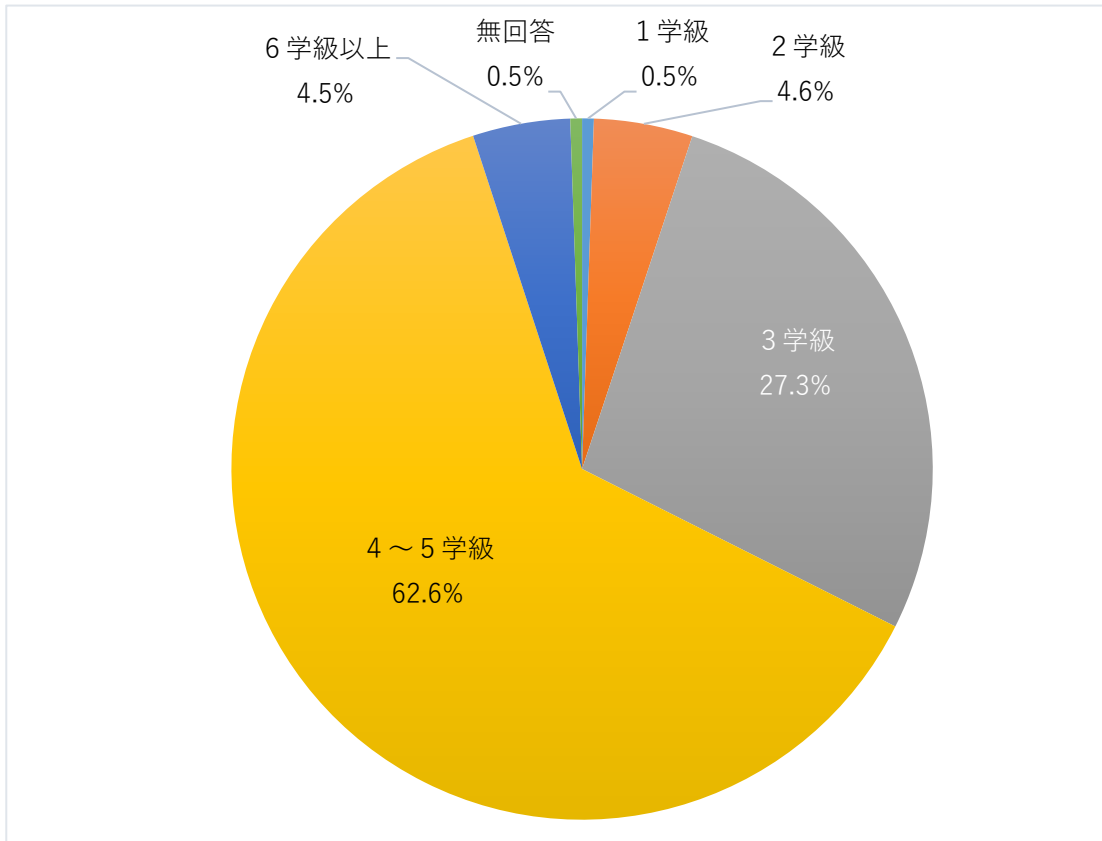


《学校規模別》 小規模校Ⅰ：n=222、小規模校Ⅱ：n=443、標準規模校：n=1,004

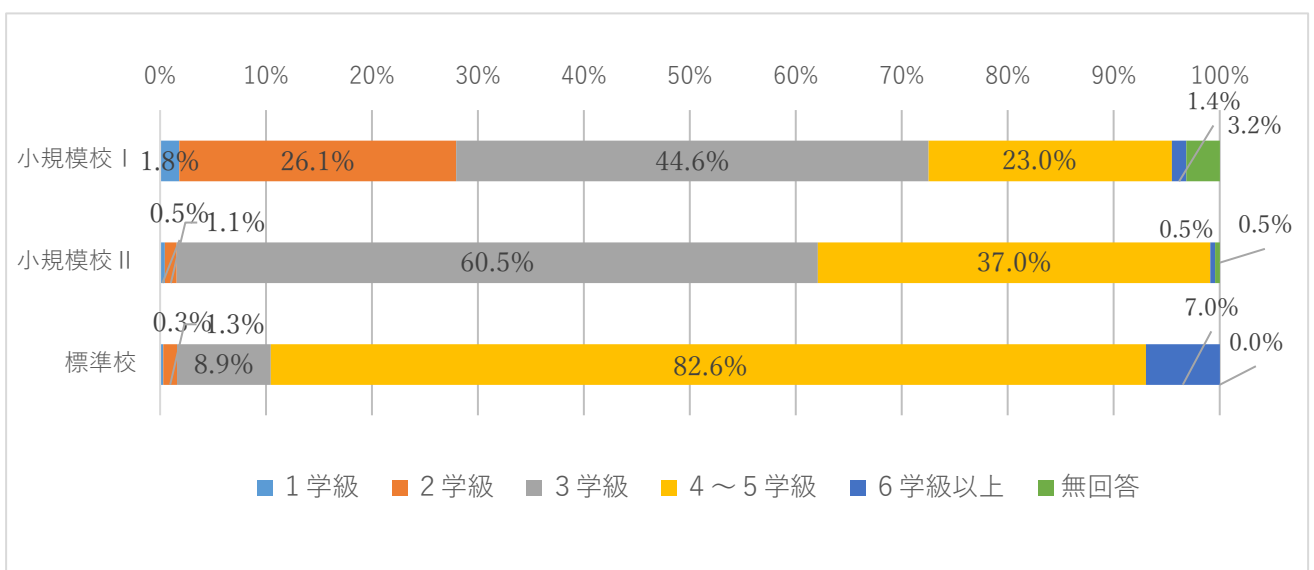


設問④ 1学年あたりの学級数として、理想的だと思うものをお選びください。

- ・ 1学年あたりの理想的な学級数は、「4～5学級」が62.6%、「3学級」が27.3%で、上記で90%程度の割合を占めています。学校規模別で見ると、小規模校Ⅰは「3学級」44.6%、小規模校Ⅱ「3学級」60.5%で最も高い割合を占めています。標準規模校は「4～5学級」が大半を占めています。（合計回答数：n=1,669）



《学校規模別》 小規模校Ⅰ：n=222、小規模校Ⅱ：n=443、標準規模校：n=1,004

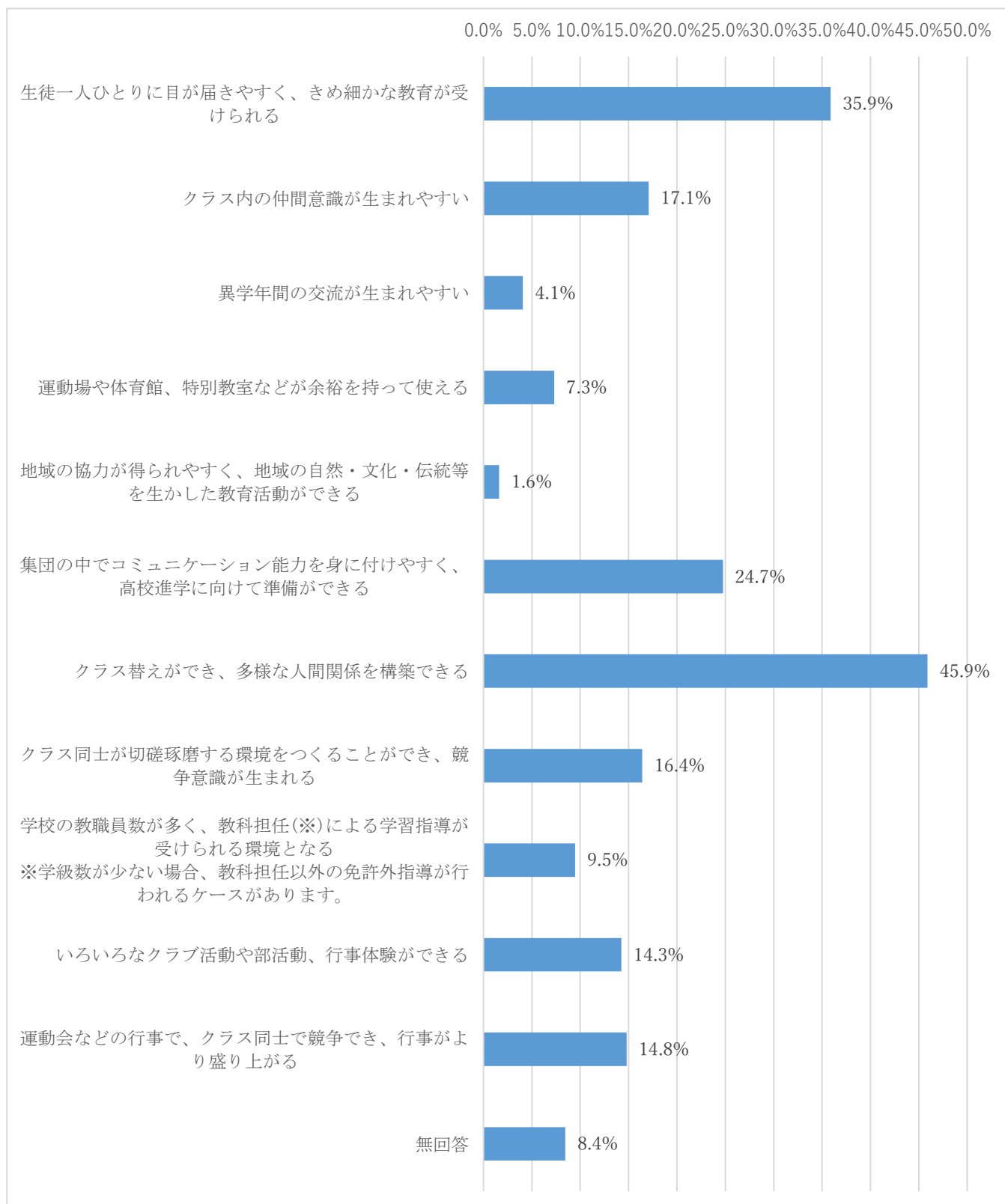


設問④-1 設問④の理由として当てはまるものをお選びください。

(当てはまる項目を2つまでお選びください。)

- ・理想的な学級数の理由としては、「クラス替えができ、多様な人間関係を構築できる」を選んだ方が45.9%と半数近く、次いで、「生徒一人ひとりに目が届きやすく、きめ細やかな教育が受けられる」が35.9%となっています。

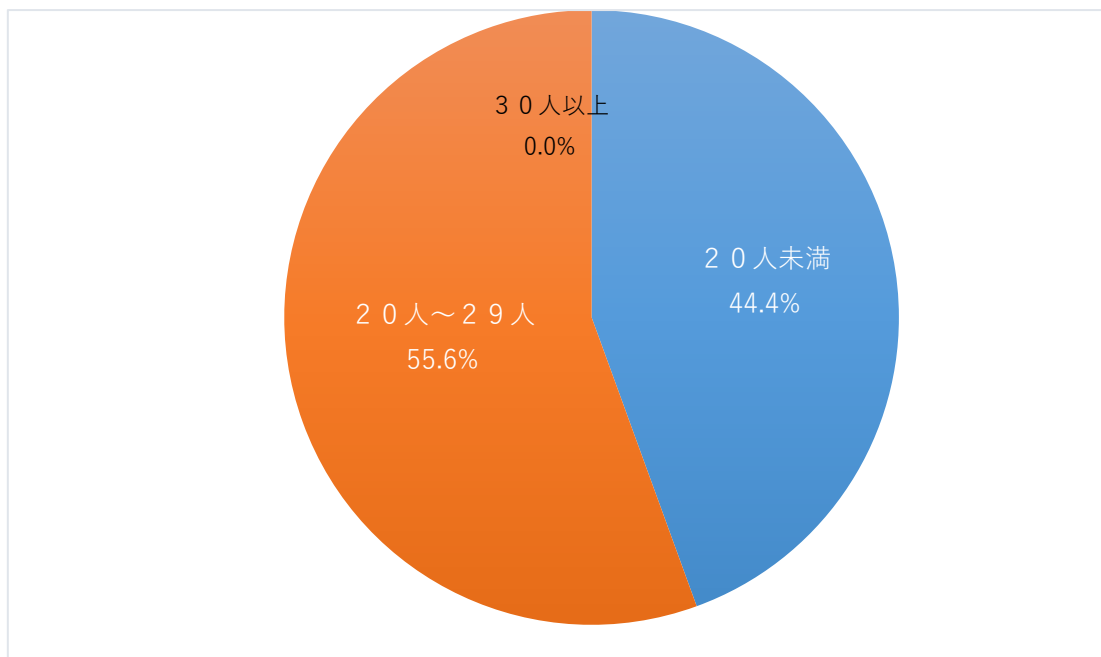
(合計回答数：n=3,338、率合計：200%)



【設問④で「1」の1学級を選んだ方は、⑤-1、⑤-2をご回答ください。】

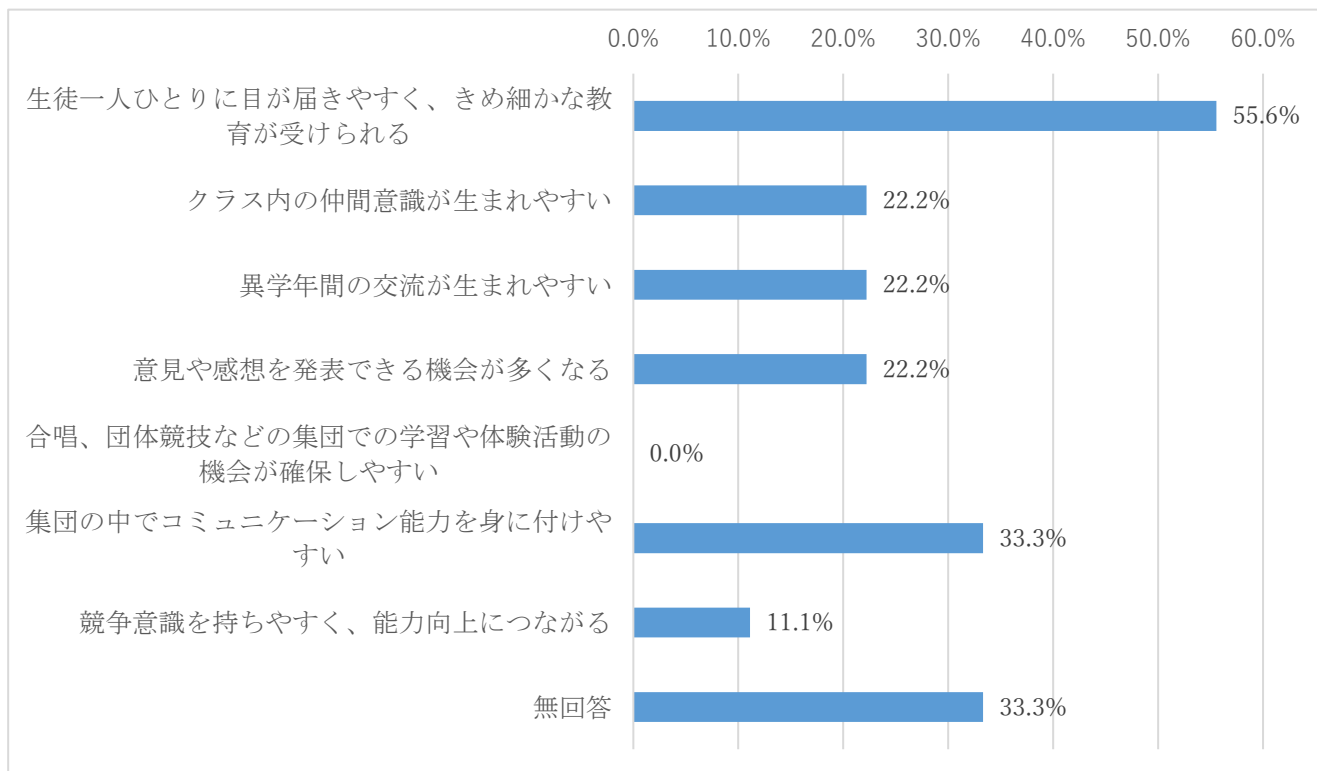
設問⑤-1 1学級の生徒数として、適当だと思うものを一つお選びください。

- ・理想的な学級数が1学級を選んだ方は、学級生徒数は「20～29人」「20人未満」が適当と思う方が同数程度でした。(合計回答数：n=9)



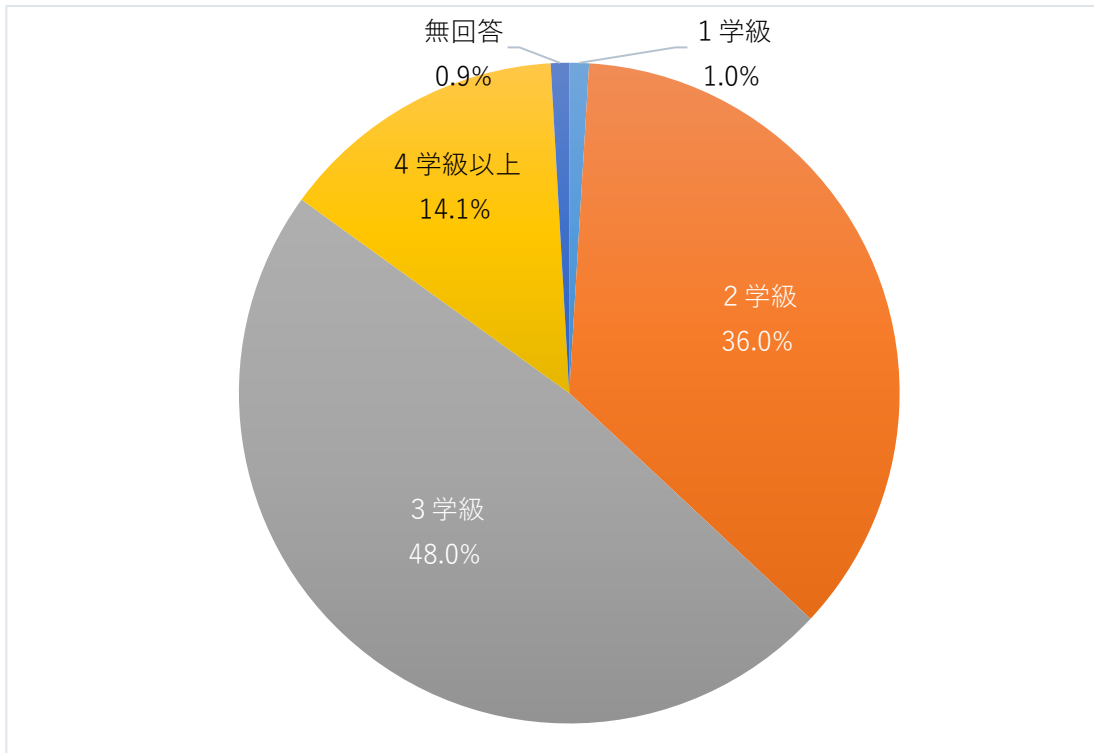
設問⑤-2 ⑤-1の理由として当てはまるものをお選びください。 ※2つ回答
(合計回答数：n=18、率合計：200%)

- ・⑤-1の理由としては、「児童一人ひとりに目が届きやすく、きめ細かな教育が受けられる」の回答割合が半数を超える結果でした。

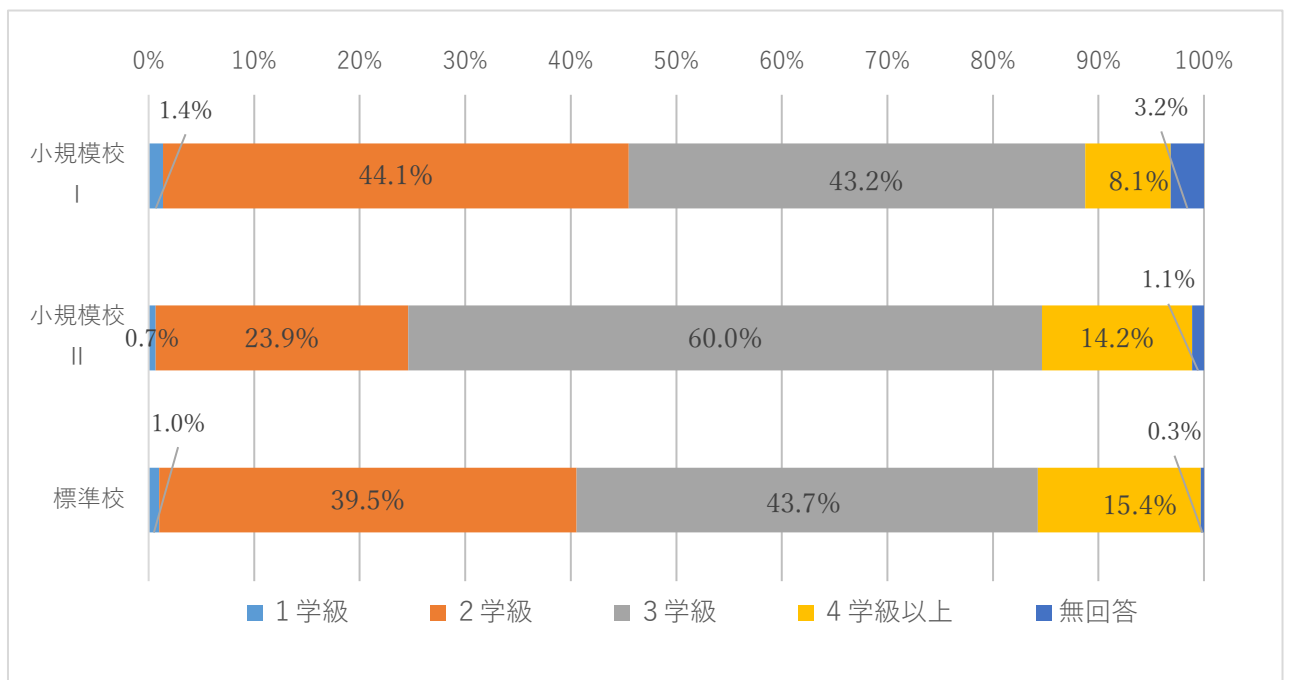


設問⑥ これまでお子さまが通っていた小学校においては、1 学年あたりの学級数として、理想と思うものをお選びください。

- ・小学校での1 学年あたりの理想的な学級数は、「3 学級」が 48.0%、次いで「2 学級」が 36.0%で、多くの割合を占めています。学校規模別でみると、小規模校Ⅰは「2 学級」が最も多く、小規模Ⅱと標準規模校は「3 学級」が最も高い割合を占めています。（合計回答数：n=1,669）



《学校規模別》 小規模校Ⅰ：n=222、小規模Ⅱ：n=443、標準規模校：n=1,004

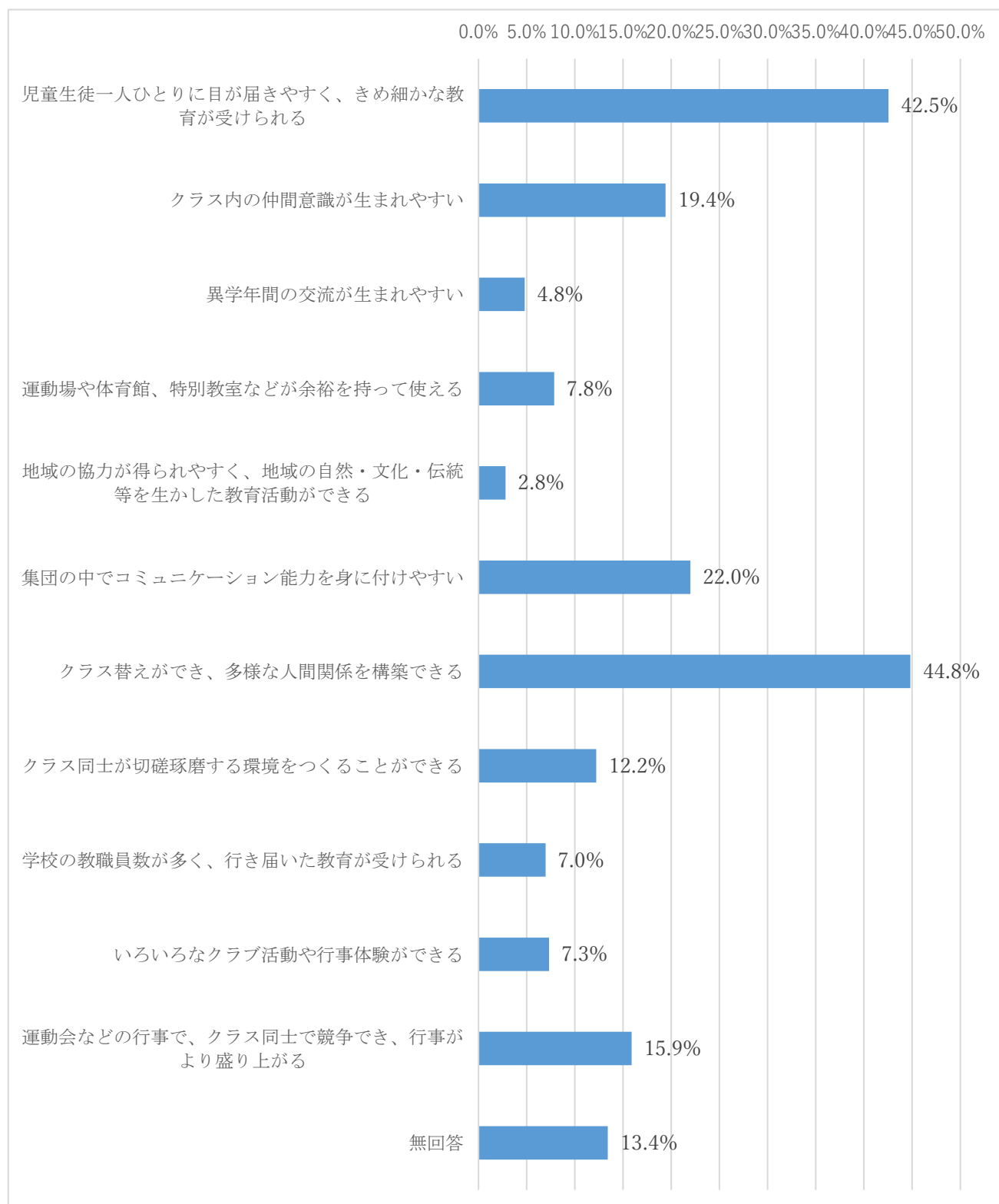


設問⑥-1 設問⑥の理由として当てはまるものをお選びください。

(当てはまる項目を2つまでお選びください。)

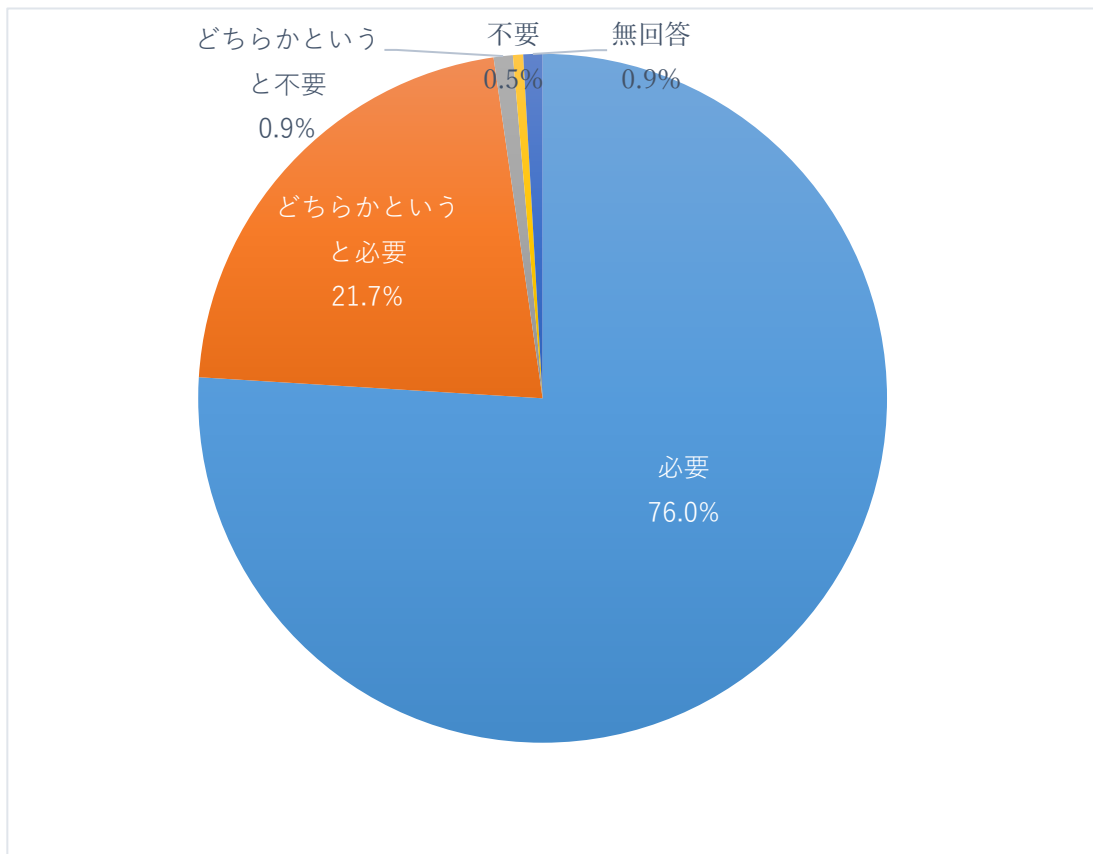
- ・理想的な学級数の理由としては、「クラス替えができ、多様な人間関係を構築できる」を選んだ方が44.8%で最も高い割合で、次いで、「児童生徒一人ひとりに目が届きやすく、きめ細かな教育が受けられる」が42.5%でした。

(合計回答数：n=3,338、率合計：200%)

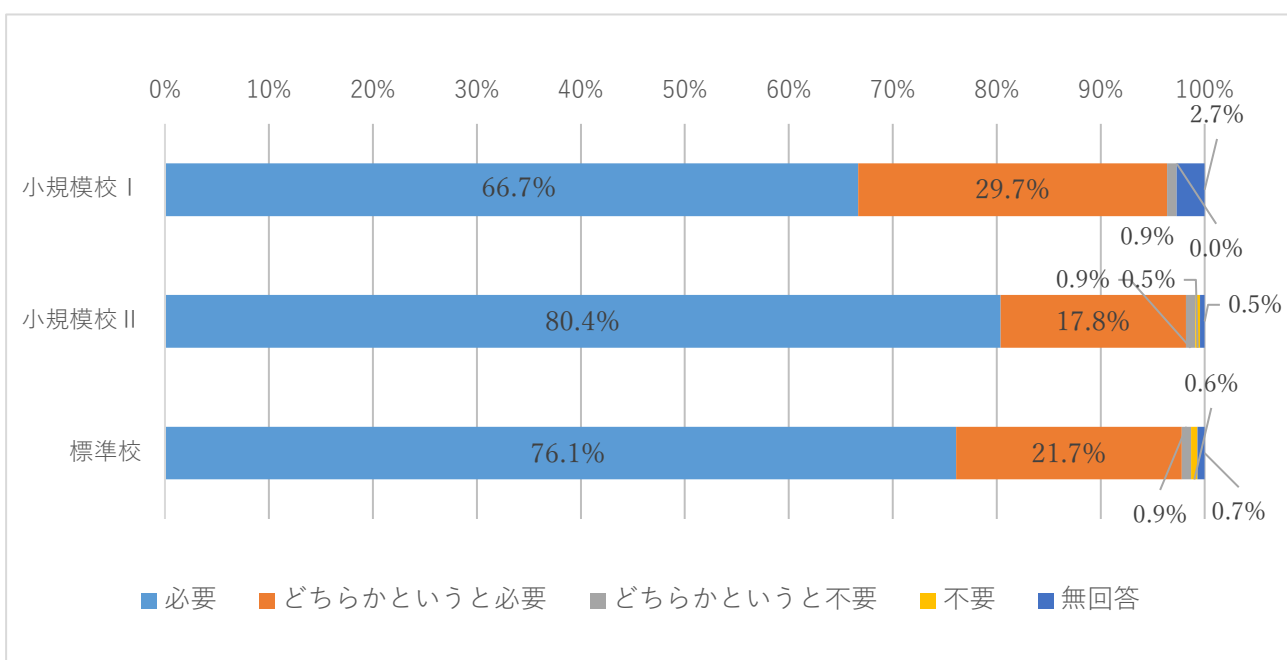


設問⑦ クラス替えの必要性についてどう思いますか。

- ・クラス替えの必要性については、「必要」と「どちらかという必要」を合わせた割合が97.6%を占めており、極めて高い割合となっています。学校規模別で見ると、小規模校Ⅰの「必要」の割合は、他規模と比較すると低い割合となっています。(合計回答数：n=1,669)



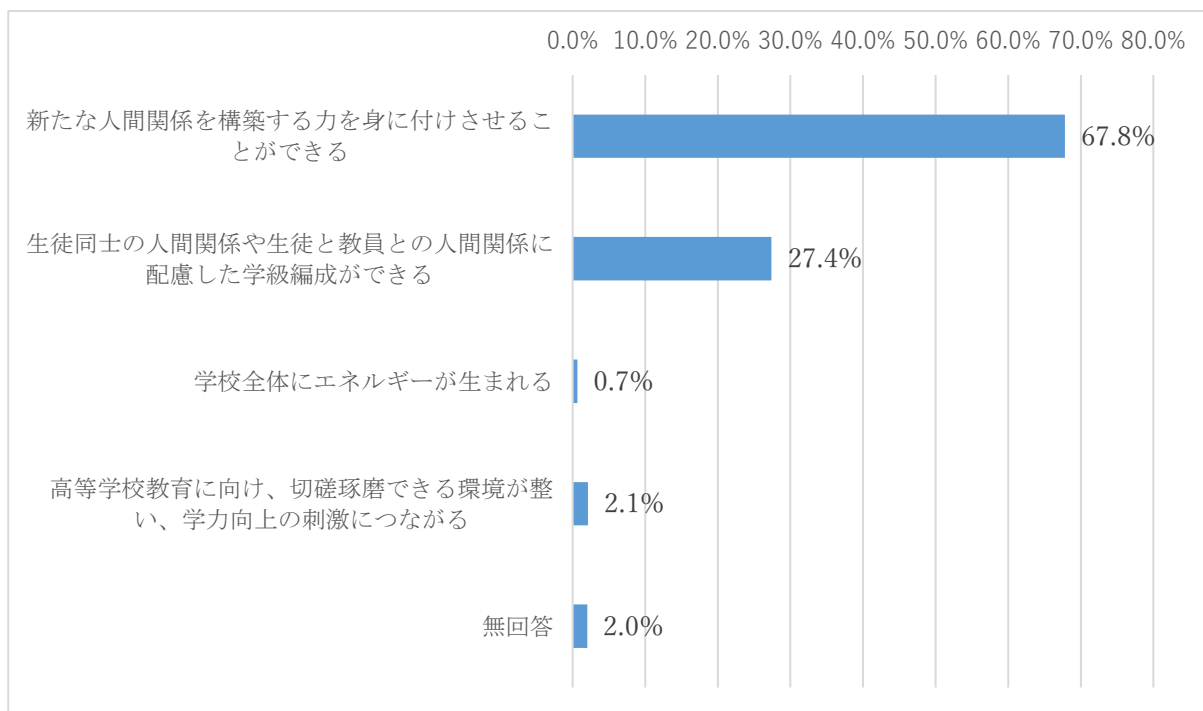
《学校規模別》 小規模校Ⅰ：n=222、小規模校Ⅱ：n=443、標準規模校：n=1,004



設問⑧ クラス替えが必要と思われる理由はなぜですか。

【 設問⑦で「1」または「2」を選んだ方（回答数：n=1,646）】

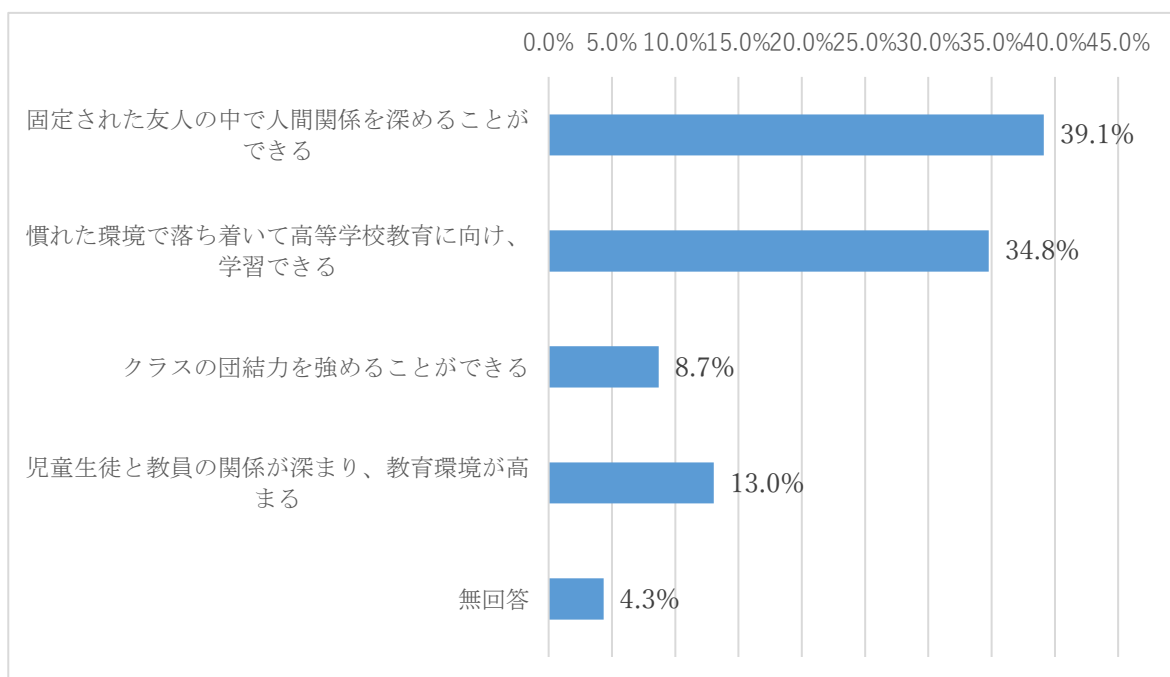
- ・クラス替えが必要な理由として、「新たな人間関係を構築する力を身に付けさせることができる」が67.8%と最も高い割合を占めており、次いで、「生徒同士の人間関係や生徒と教員との人間関係に配慮した学級編成ができる」が27.4%となっています。



設問⑨ クラス替えが不要と思われる理由はなぜですか。

【 設問⑦で「3」または「4」を選んだ方（回答数：n=23）】

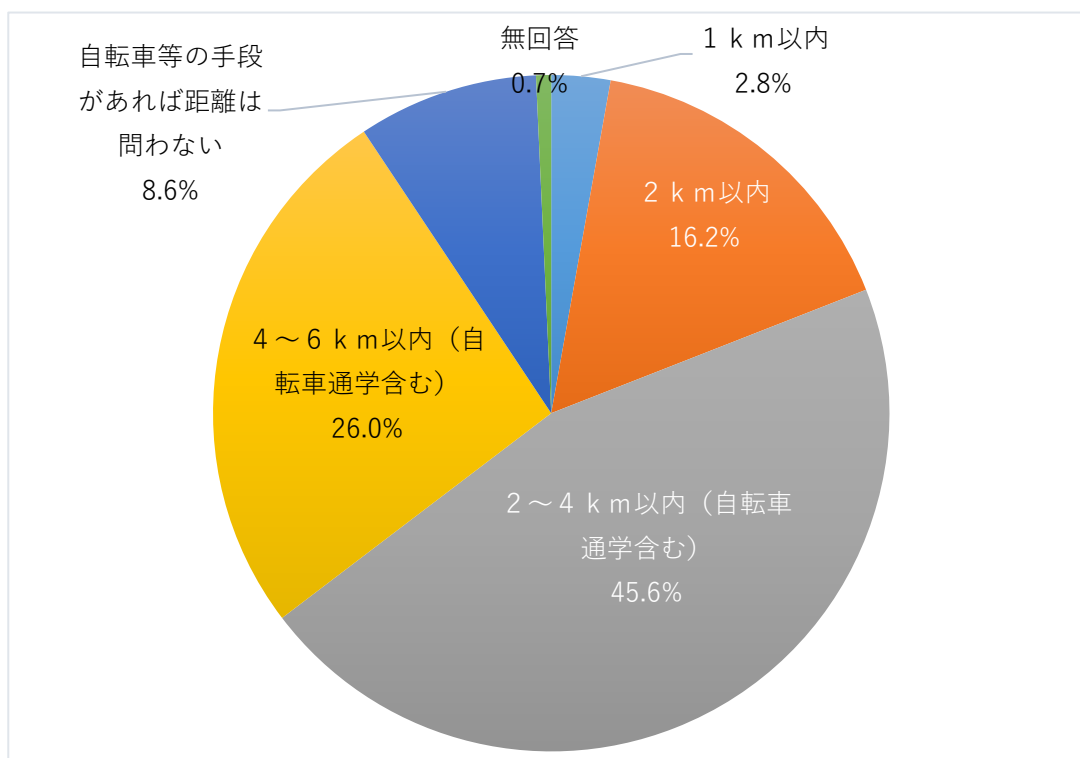
- ・クラス替えが不要な理由として、「固定された友人の中で人間関係を深めることができる」が39.1%と最も高い割合を占めています。



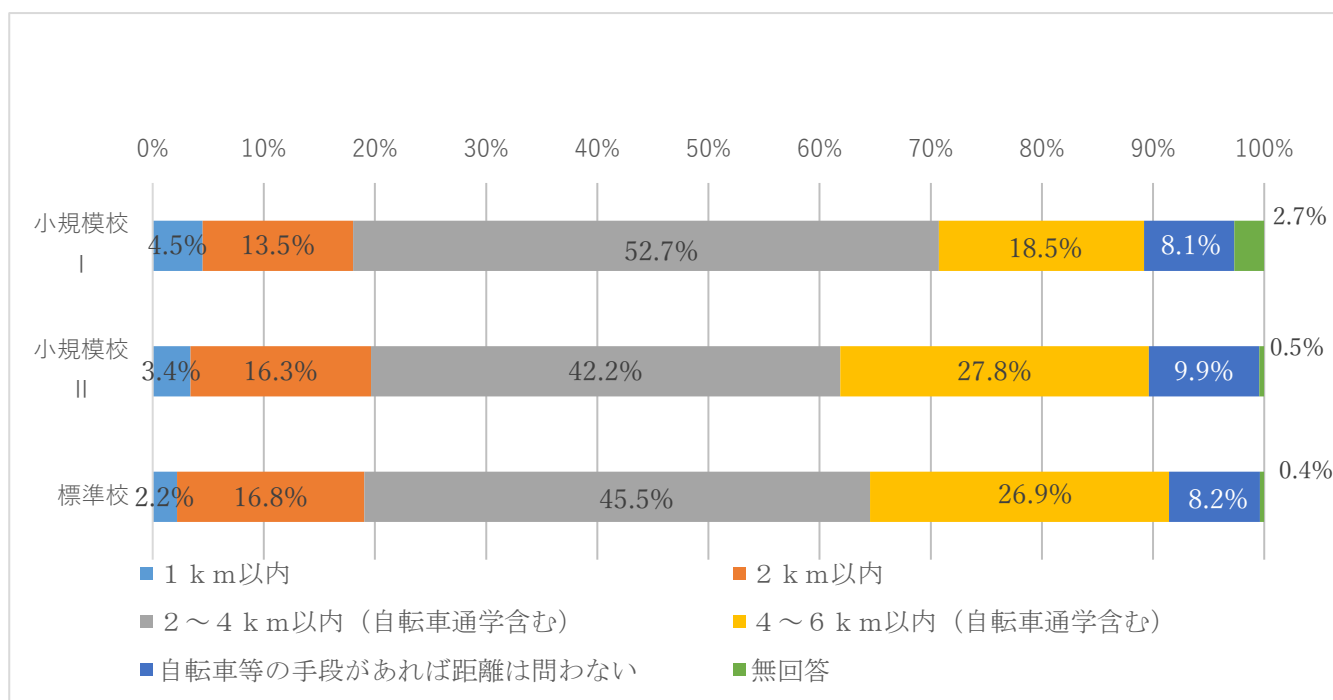
設問⑩ 中学校の通学距離は、法令によると「おおむね6キロメートル以内であること」となっていますが、どの程度の距離までが通学可能範囲と思われますか。

(合計回答数：n=1,669)

- ・通学可能範囲の距離についての考え方は、「2～4 km以内(自転車通学含む)」が42.2%と最も高い割合を占めて、次いで「4～6 km以内(自転車通学含む)」が26.0%の割合となっています。学校規模別でみると、大きな傾向の差はありませんが、小規模校Ⅰが「2～4 km以内(自転車通学含む)」の割合が他規模より高くなっています。

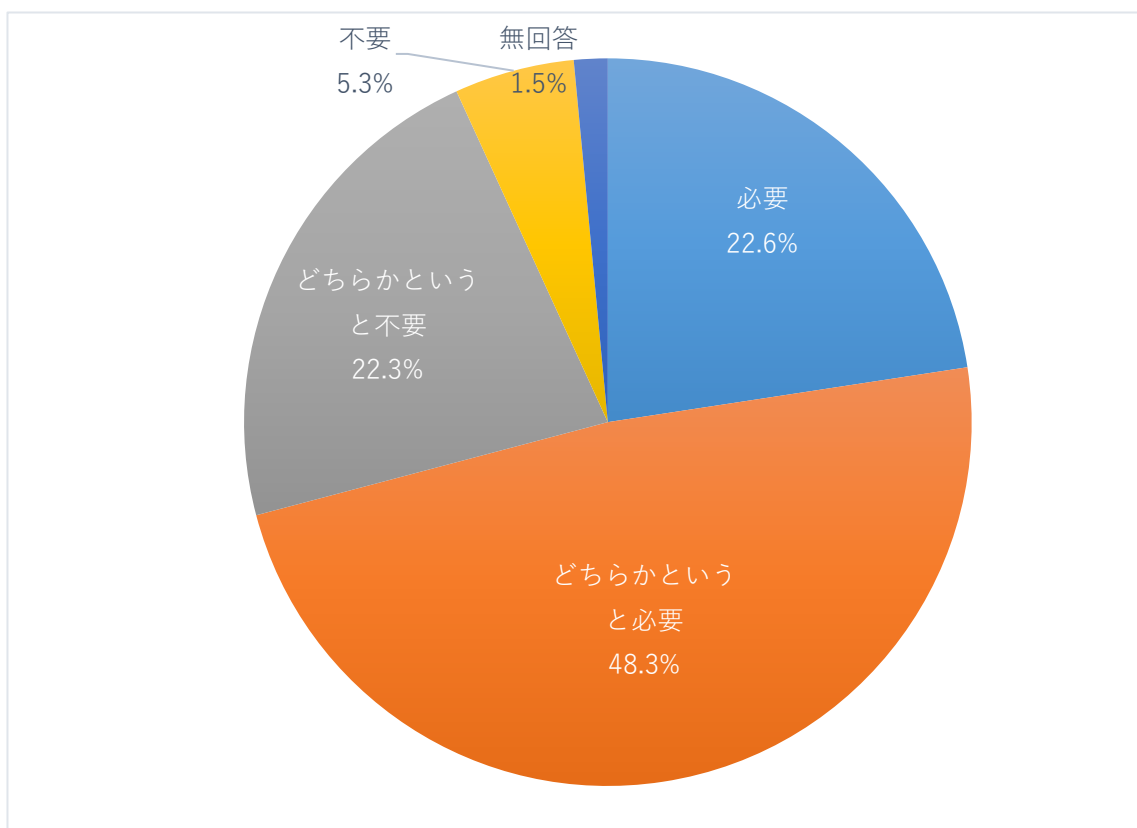


《学校規模別》 小規模校Ⅰ：n=222、小規模校Ⅱ：n=443、標準規模校：n=1,004

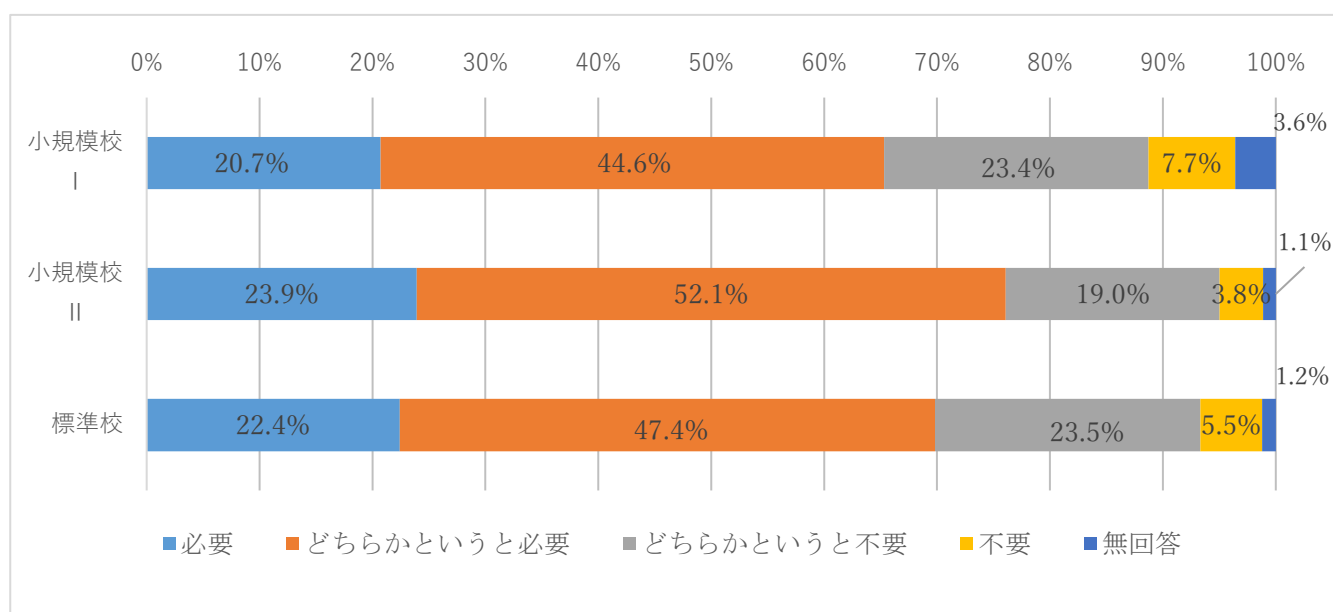


設問⑪ 小規模校対策（例：学校の統合、通学区域の見直し等）は必要だと思いますか。（合計回答数：n=1,669）

- ・小規模校対策の必要性については、「必要」と「どちらかという必要」を合わせた割合が、70.9%となっています。学校規模別でも、極端な差はありません。また、小学校保護者より、中学校保護者の方が必要性については、高い数値が出ています。



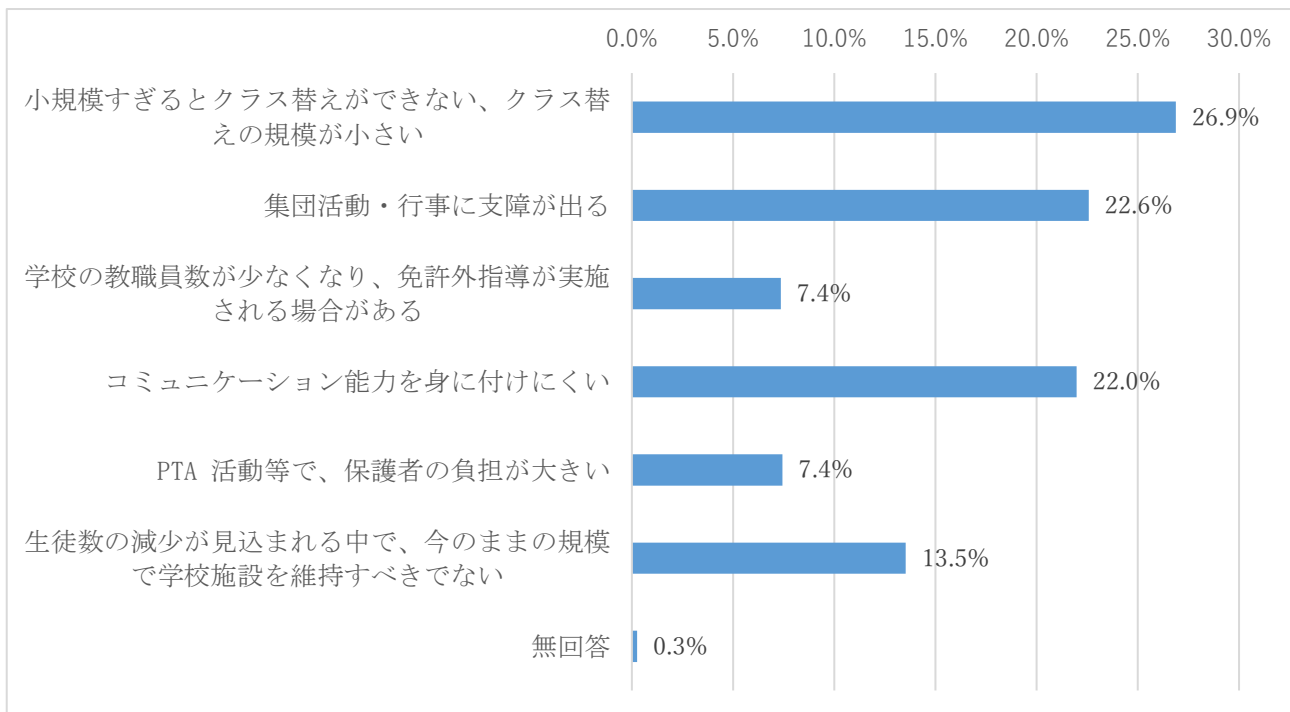
《学校規模別》 小規模校Ⅰ：n=222、小規模校Ⅱ：n=443、標準規模校：n=1,004



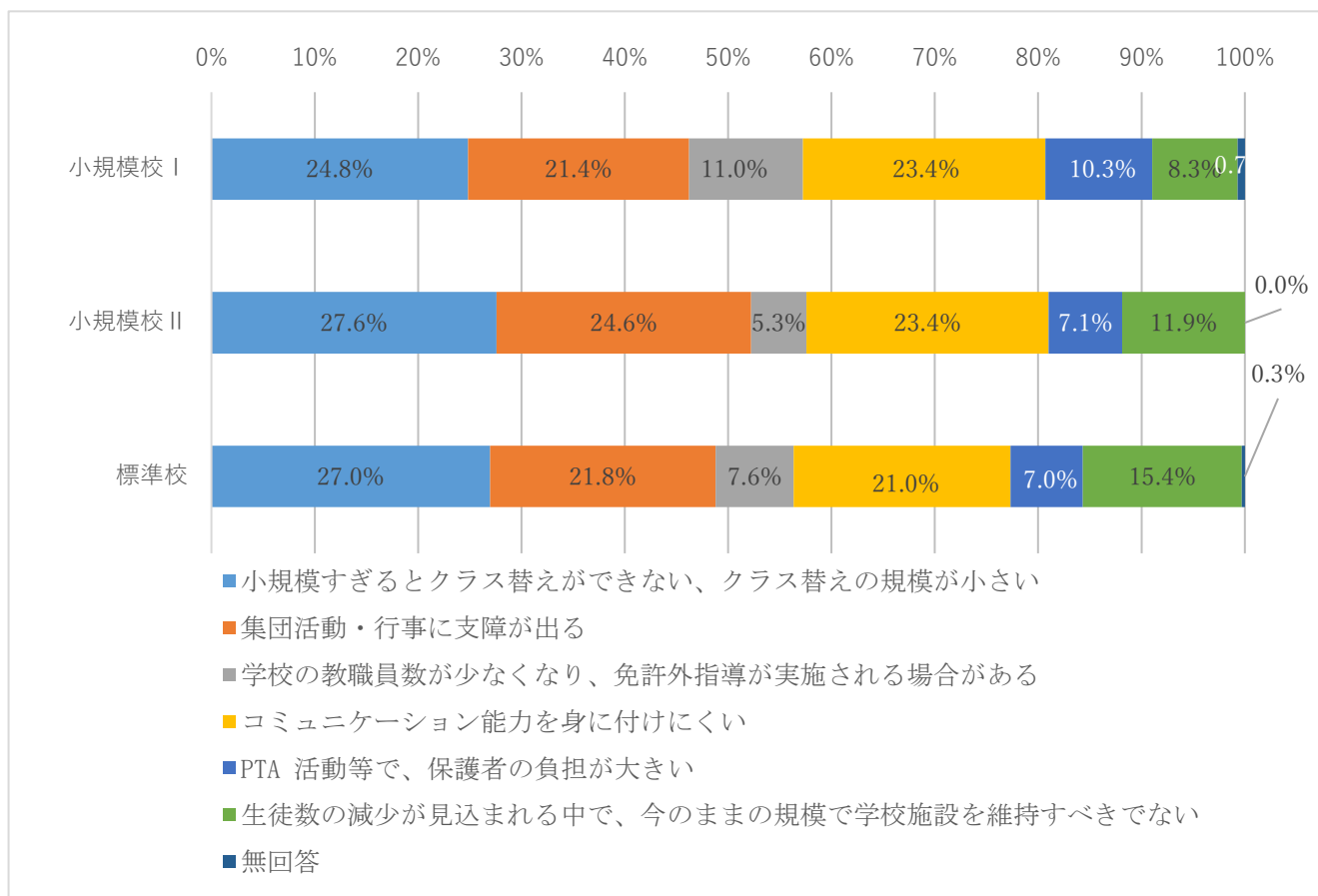
【設問⑪で「1」または「2」を選んだ方のみ回答。(合計回答数：n=1,183)】

設問⑫ 設問⑪で「1」または「2」を選んだ理由をお選びください。

- ・小規模校対策が必要な理由として、「クラス替えができない、クラス替えの規模が小さい」が26.9%、次いで、「集団活動・行事に支障が出る」「コミュニケーション能力を身に付けにくい」が20%台で続きます。



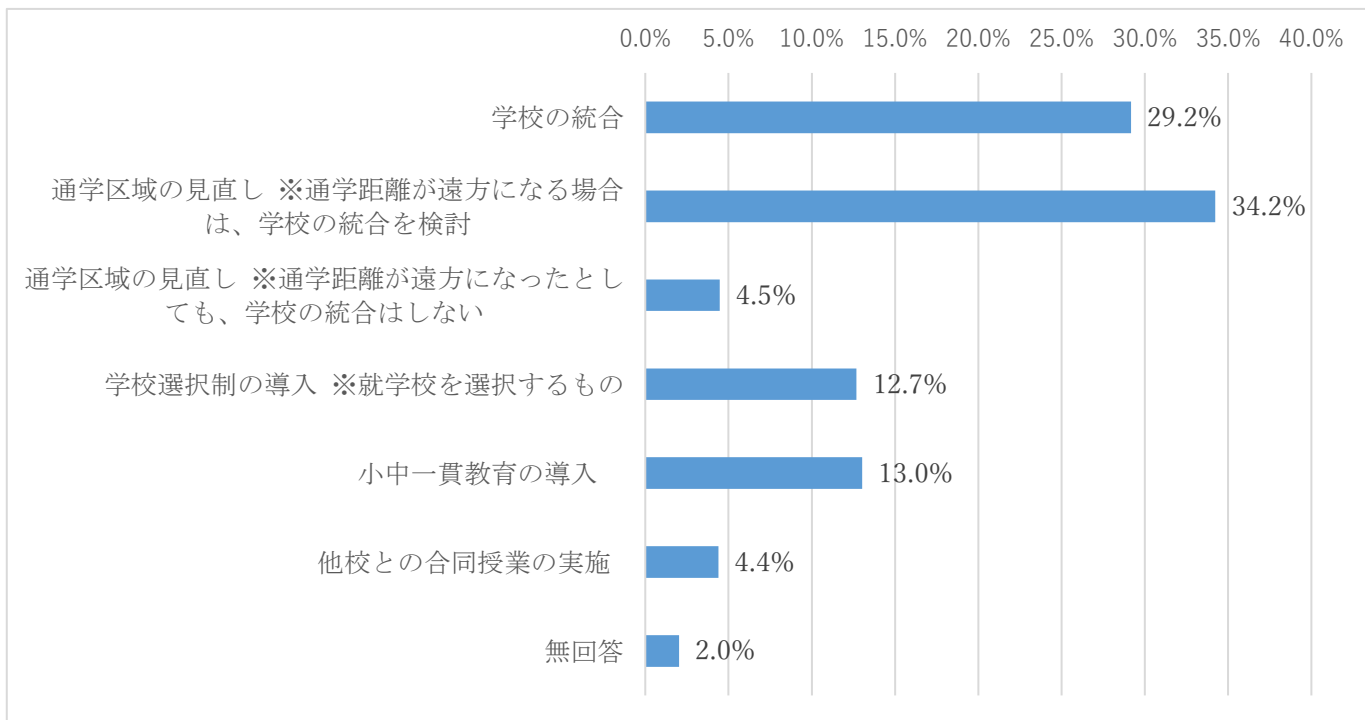
《学校規模別》 小規模校Ⅰ：n=145、小規模校Ⅱ：n=337、標準規模校：n=701



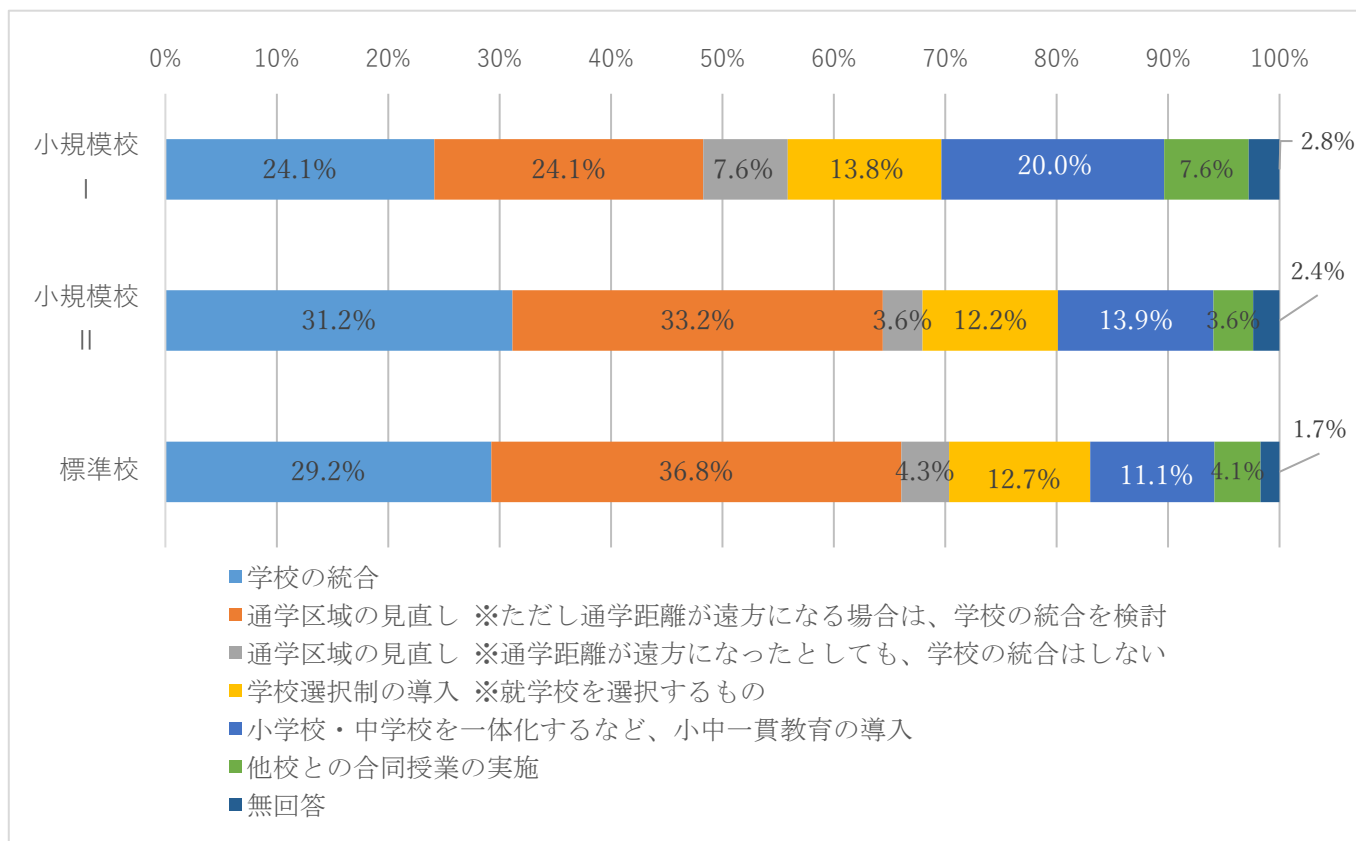
【設問⑪で「1」または「2」を選んだ方のみ回答。(合計回答数：n=1,183)】

設問⑬ 小規模校対策で、望ましい対策はどれですか。

- ・小規模校対策として望ましいものは、「通学区域の見直し※通学距離によっては学校統合を検討」が34.2%で最も高い割合で、次いで、「学校の統合」が29.2%となっています。学校規模別でみると、大きな傾向の差はないが、小規模校Ⅰでは「小中一貫教育の導入」が7～9ポイントほど他規模より高くなっています。



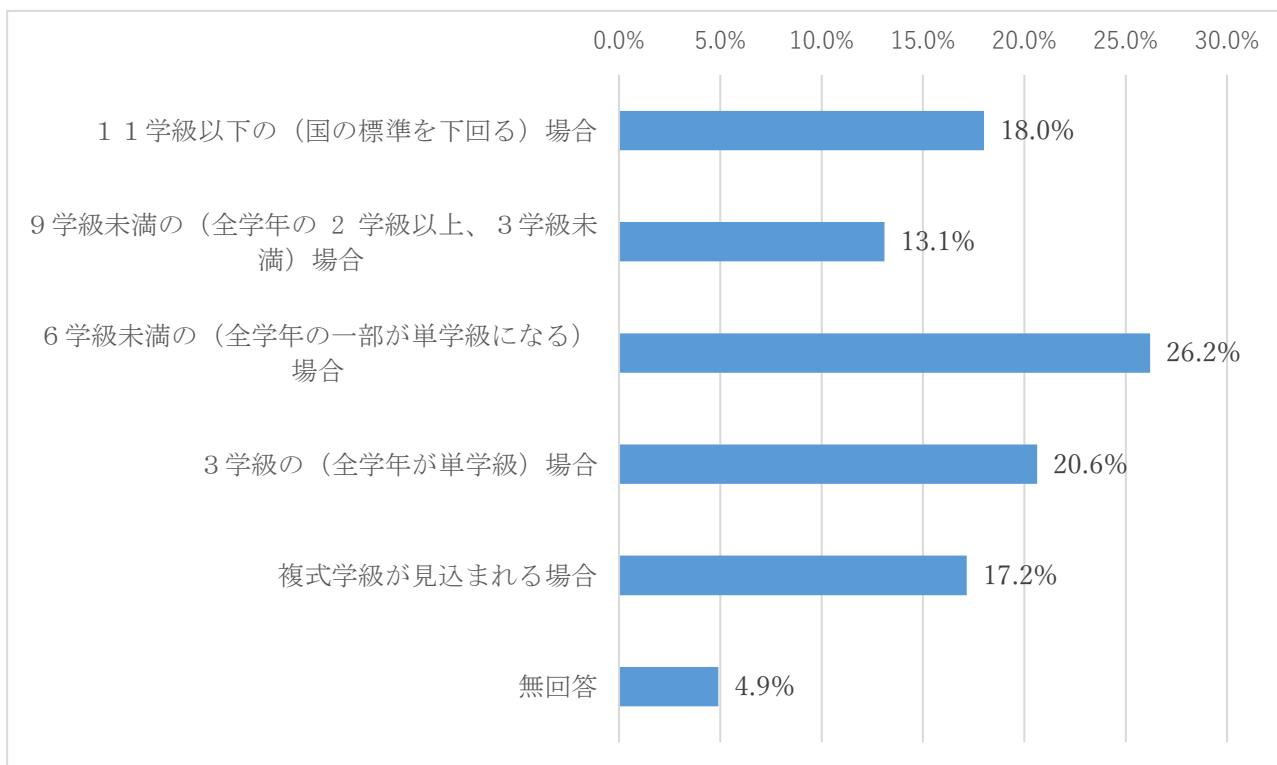
《学校規模別》 小規模校Ⅰ：n=145、小規模校Ⅱ：n=337、標準規模校：n=701



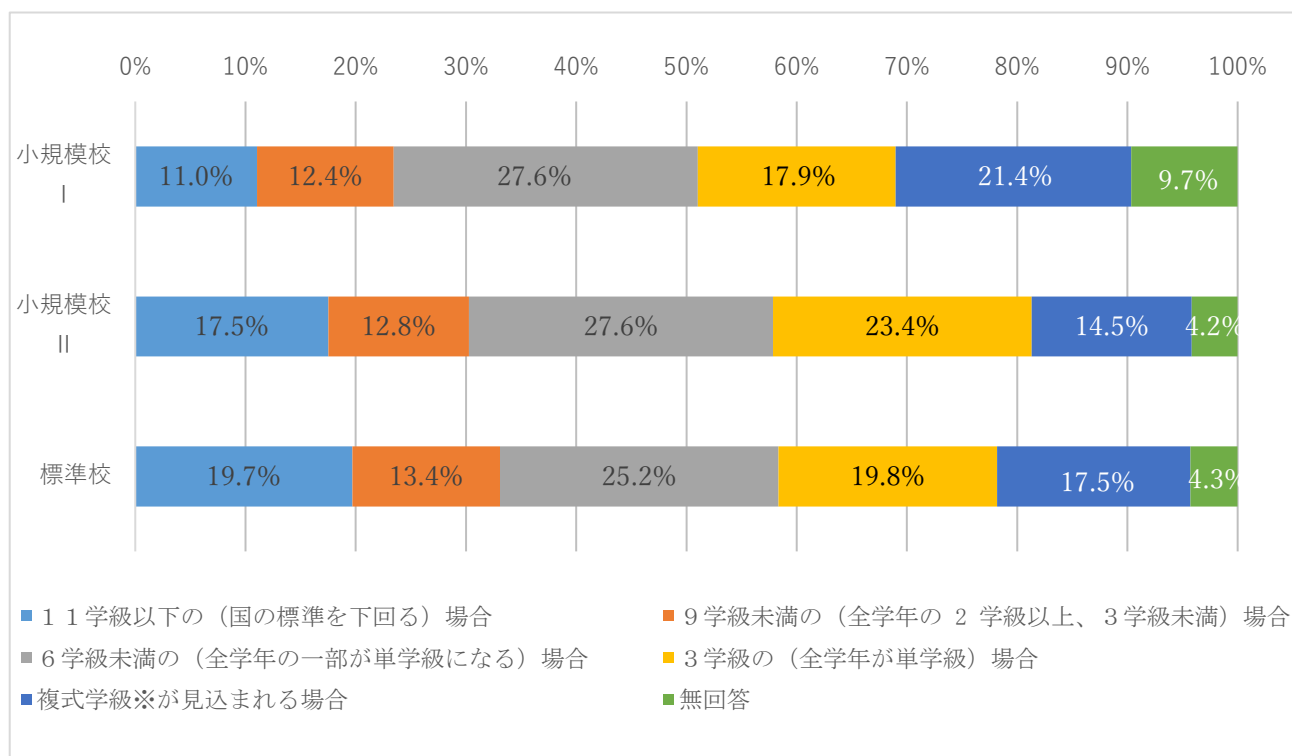
【設問⑩で「1」または「2」を選んだ方のみ回答。(合計回答数：n=1,183)】

設問⑭ 小規模校対策として、「学校の統合」を検討する場合の状況について、どう思われますか。

- ・学校の統合を検討する場合の学級数の状況として、「6学級未満の場合」の全学年の一部が単学級の場合が26.2%で多く、次いで、「3学級」の場合になります。単学級の学年がある場合を合わせると47%程度までになります。学校規模別でも、同様の傾向にあるといえます。



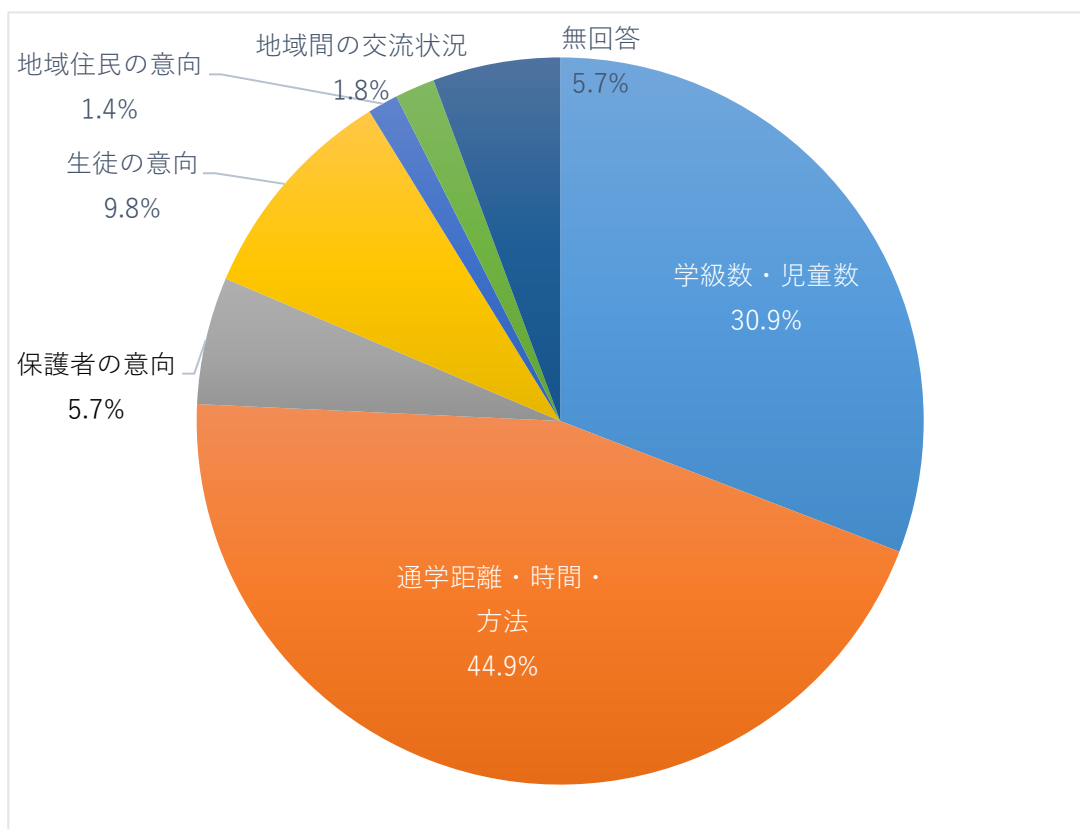
《学校規模別》 小規模校Ⅰ：n=145、小規模校Ⅱ：n=337、標準規模校：n=701



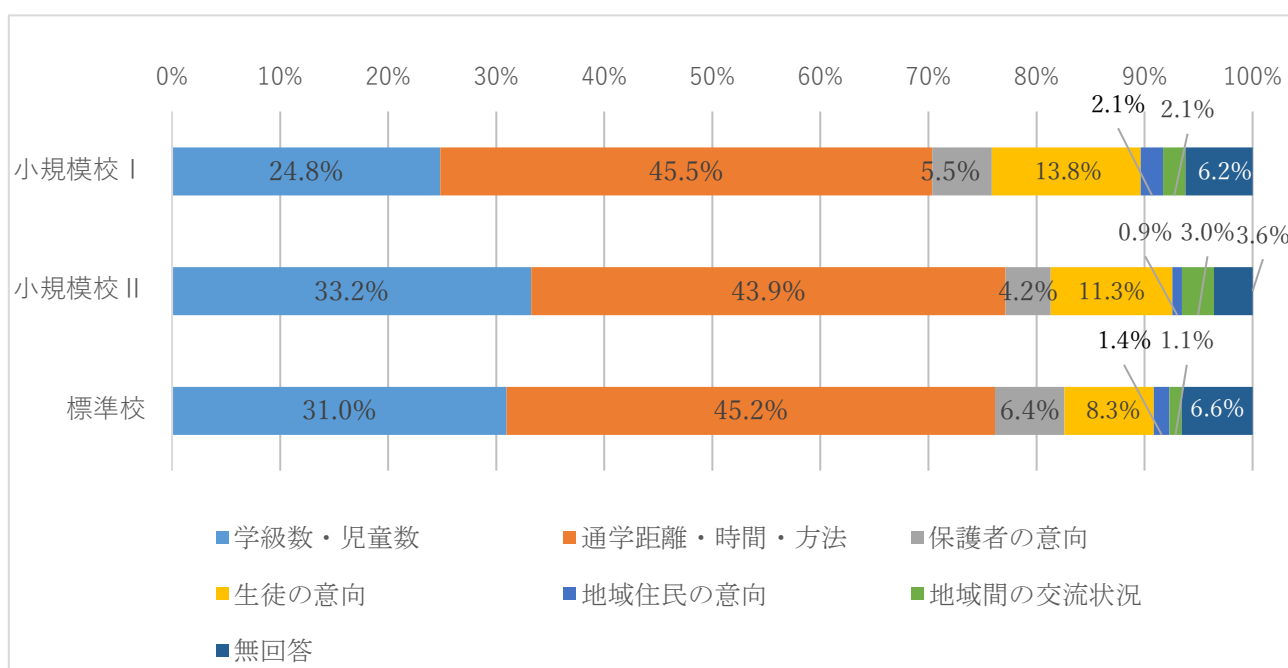
【設問⑪で「1」または「2」を選んだ方のみ回答。(合計回答数：n=1,183)】

設問⑮ 「学校の統合」を検討する場合に重視すべきことは何だと思えますか。

- ・学校の統合を検討する場合に重視すべき点として、「通学距離・時間・方法」が47.3%と最も高い割合で、次いで、「学級数・児童数」が32.6%などとなっています。学校規模別でも、同様の傾向にあるといえます。



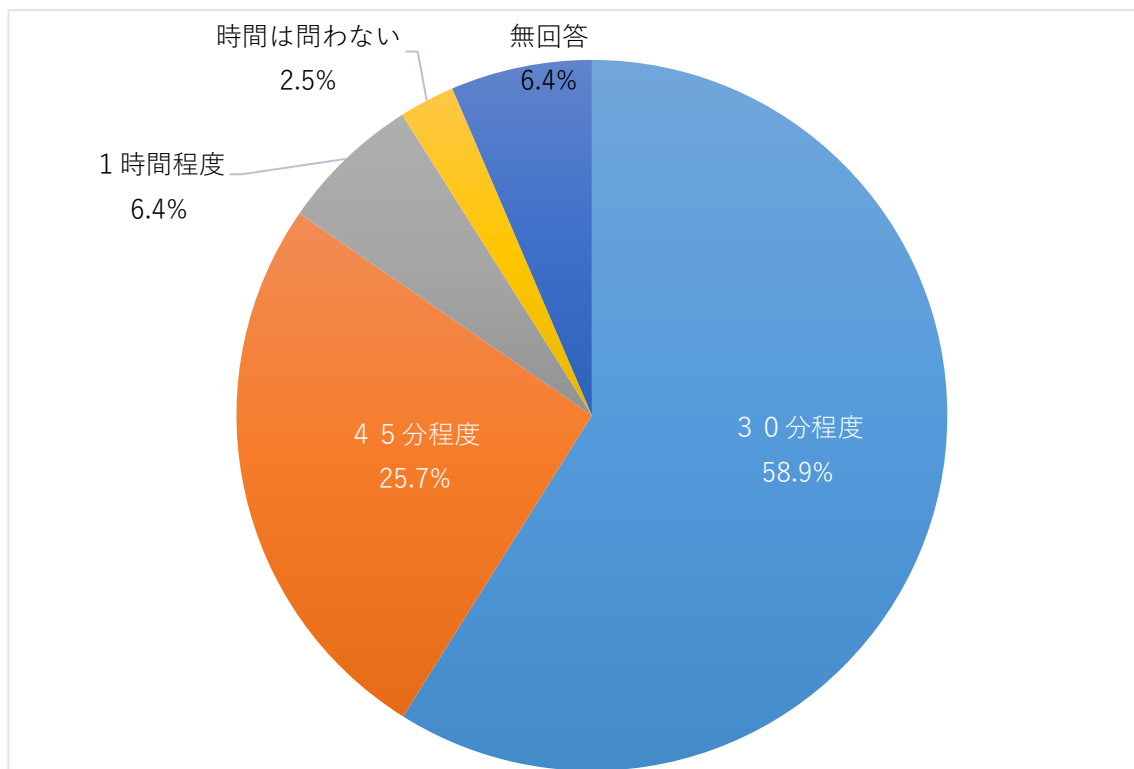
《学校規模別》 小規模校Ⅰ：n=145、小規模校Ⅱ：n=337、標準規模校：n=701



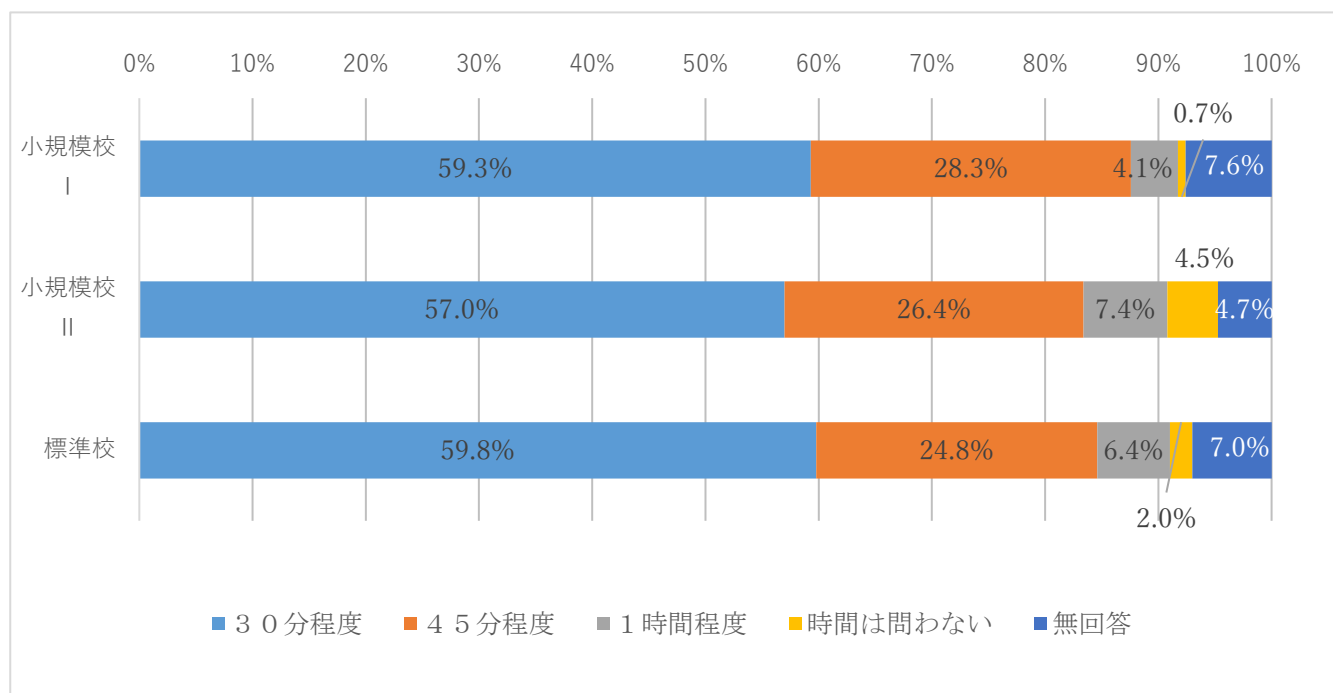
【設問⑩で「1」または「2」を選んだ方のみ回答。(合計回答数：n=1,183)】

設問⑩ 学校の統合や通学区域の見直し等を検討する場合、通学にかかる時間の限度についてはどのように思いますか。

- ・小規模校対策の検討における通学時間についての回答では、「30分程度」58.9%と最も高い割合で、次いで、「45分程度」が25.7%となりました。学校規模別でも、大きな回答傾向の違いはありません。



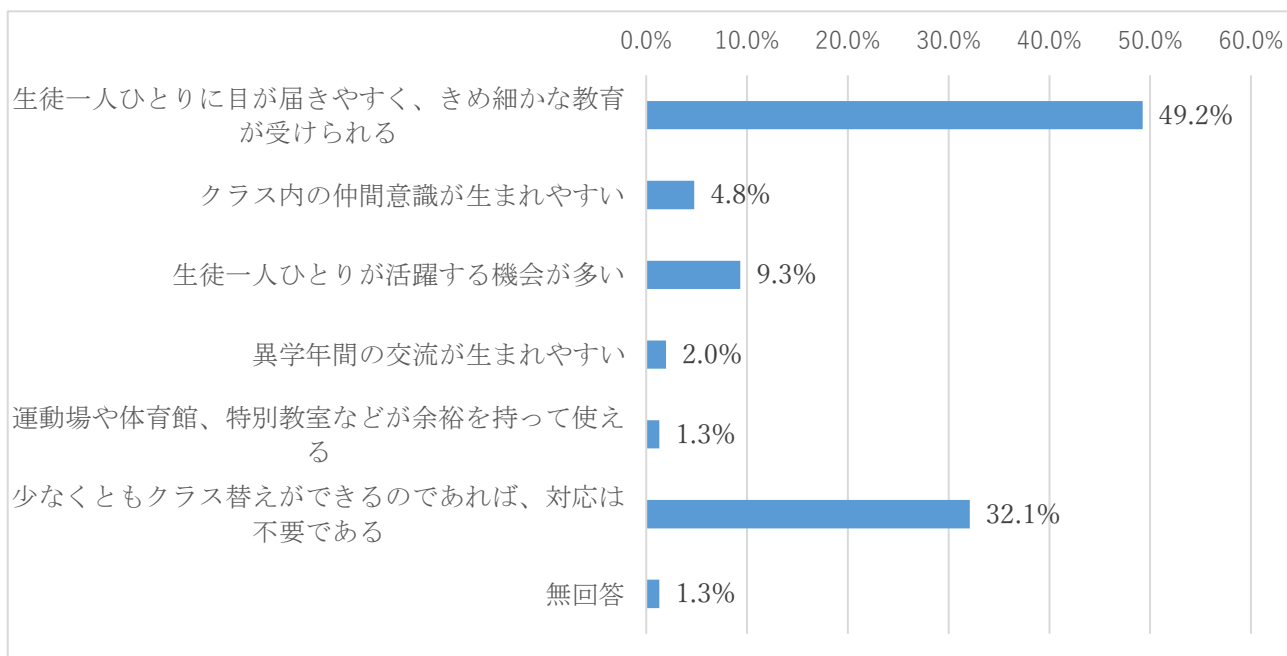
《学校規模別》 小規模校Ⅰ：n=145、小規模校Ⅱ：n=337、標準規模校：n=701



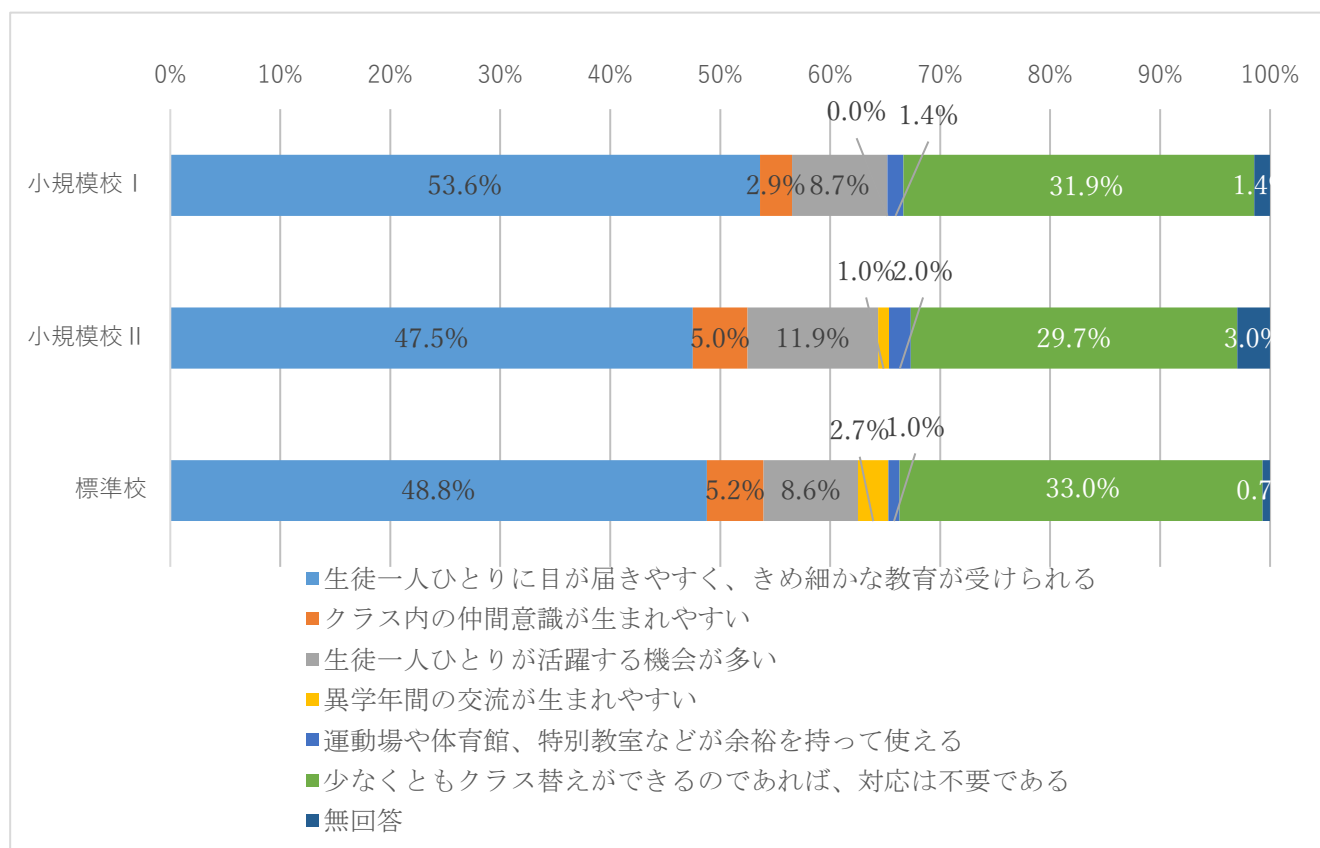
【設問⑩で「3」または「4」を選んだ方のみ回答。(合計回答数：n=461)】

設問⑰ 設問⑩で「3」または「4」を選んだ理由をお選びください。

- ・小規模校対策が不要(どちらかといえば不要)と思う理由としては、「生徒一人ひとりに目が届きやすく、きめ細かな教育が受けられる」が49.2%と最も高い割合で、次いで、「少なくともクラス替えができるのであれば、対応は不要」が32.1%となっています。学校規模別でも、大きな回答傾向の違いはありません。



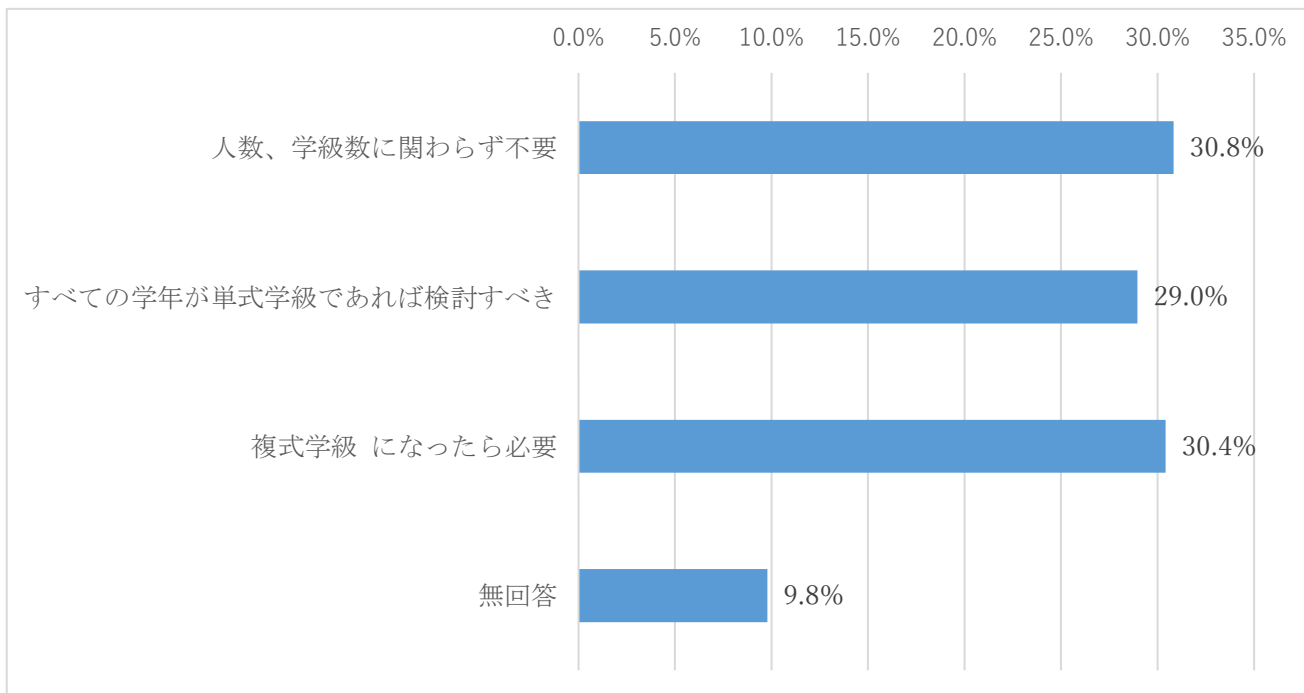
《学校規模別》 小規模校Ⅰ：n=69、小規模校Ⅱ：n=101、標準規模校：n=291



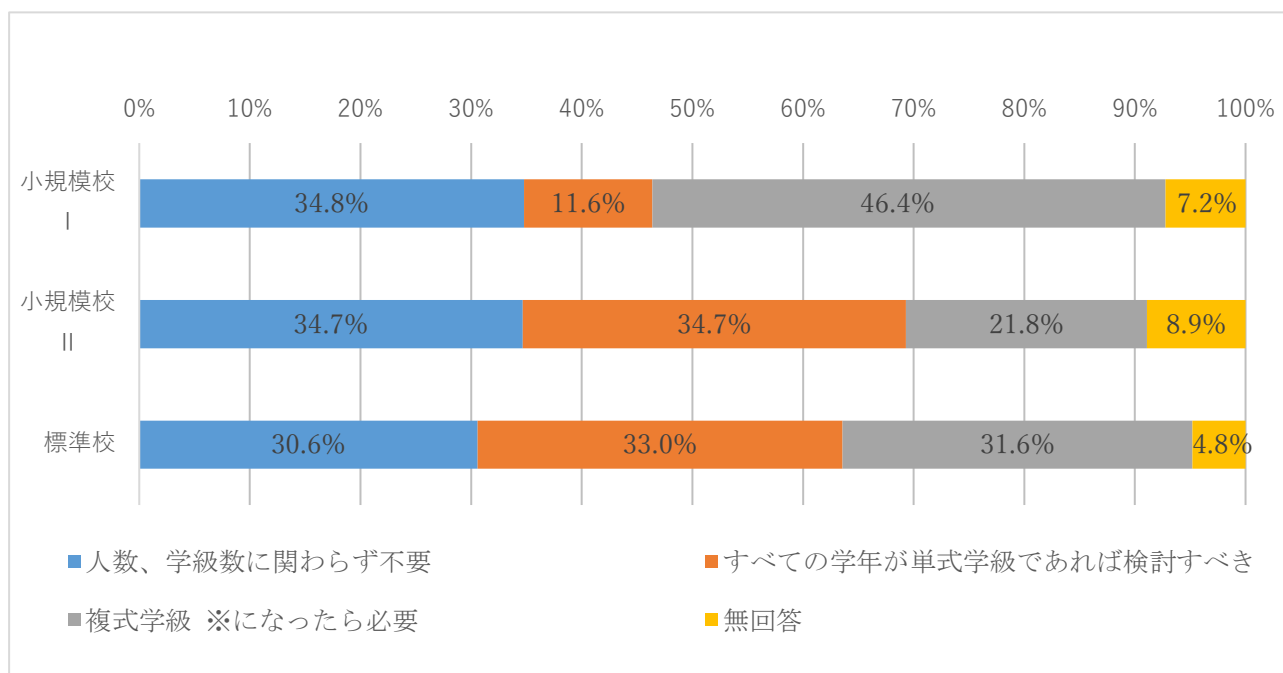
【設問⑩で「3」または「4」を選んだ方のみ回答。(合計回答数：n=461)】

設問⑩ 小規模校対策（例えば学校の統合や通学区域の見直し）について、あなたの考え方に近いほうをお選びください。

- ・小規模校対策は「不要」「どちらかというとな必要」と選択した場合は、「人数・学級に関わらず不要」が最も多いが、「複式学級になったら必要」「すべての学年が単式学級」もほぼ同等の割合となっています。学校規模別では、小規模校Ⅰと小規模校Ⅱの回答傾向が異なります。



《学校規模別》 小規模校Ⅰ：n=69、小規模校Ⅱ：n=101、標準規模校：n=291

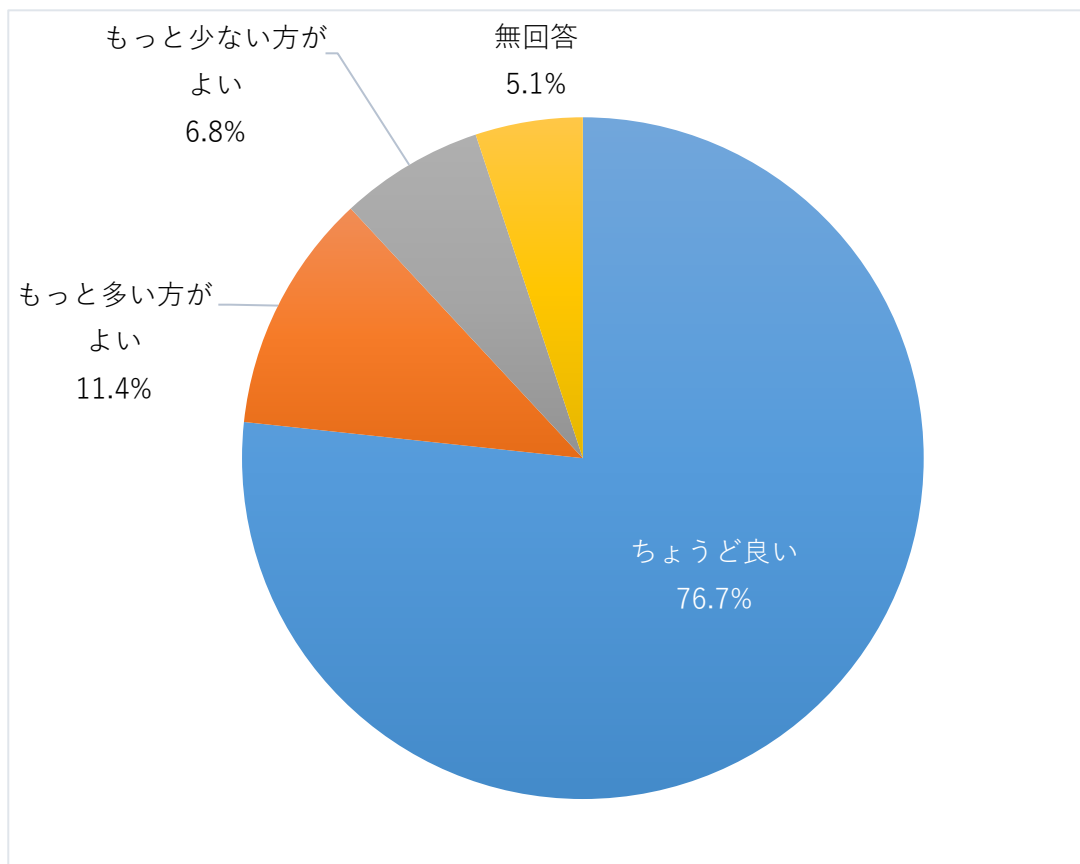


【設問⑱から㉑については、生徒に回答していただいている設問です。】

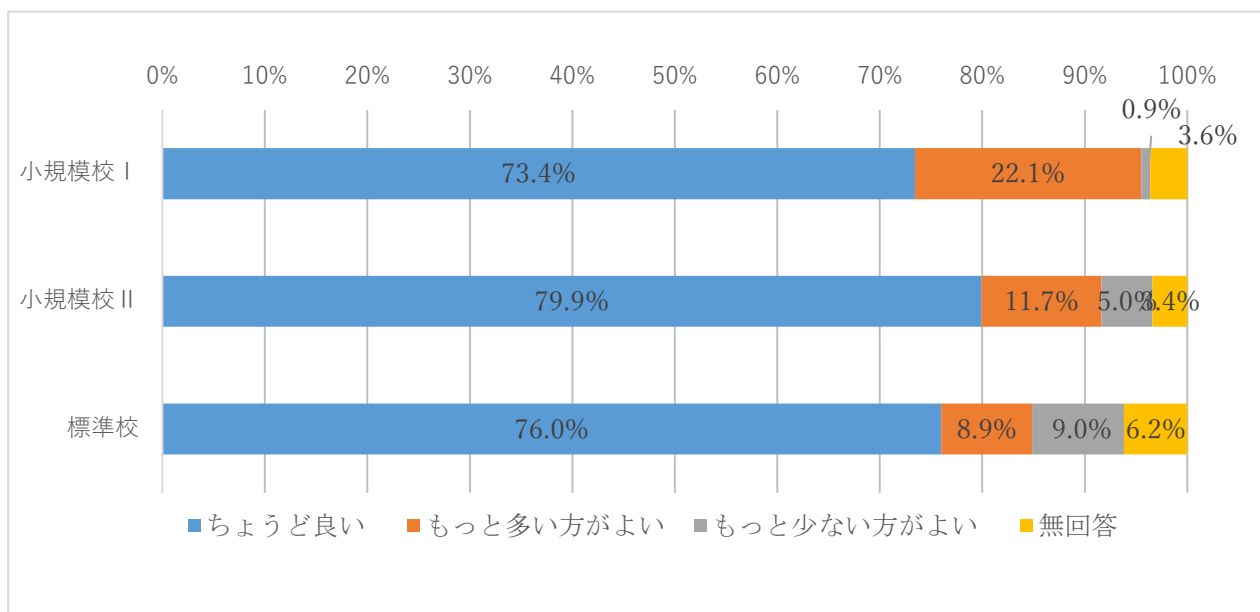
設問⑱ あなたの学年の学級数(クラスの数)についてどのように感じますか。

(合計回答数：n=1,669)

- ・現在学校に通っている児童は、学年の学級数について「ちょうど良い」と76.7%と回答しています。学校規模別でみると、小規模校Ⅰに通う児童は、「もっと多い方が良い」の回答が22%を超えています。



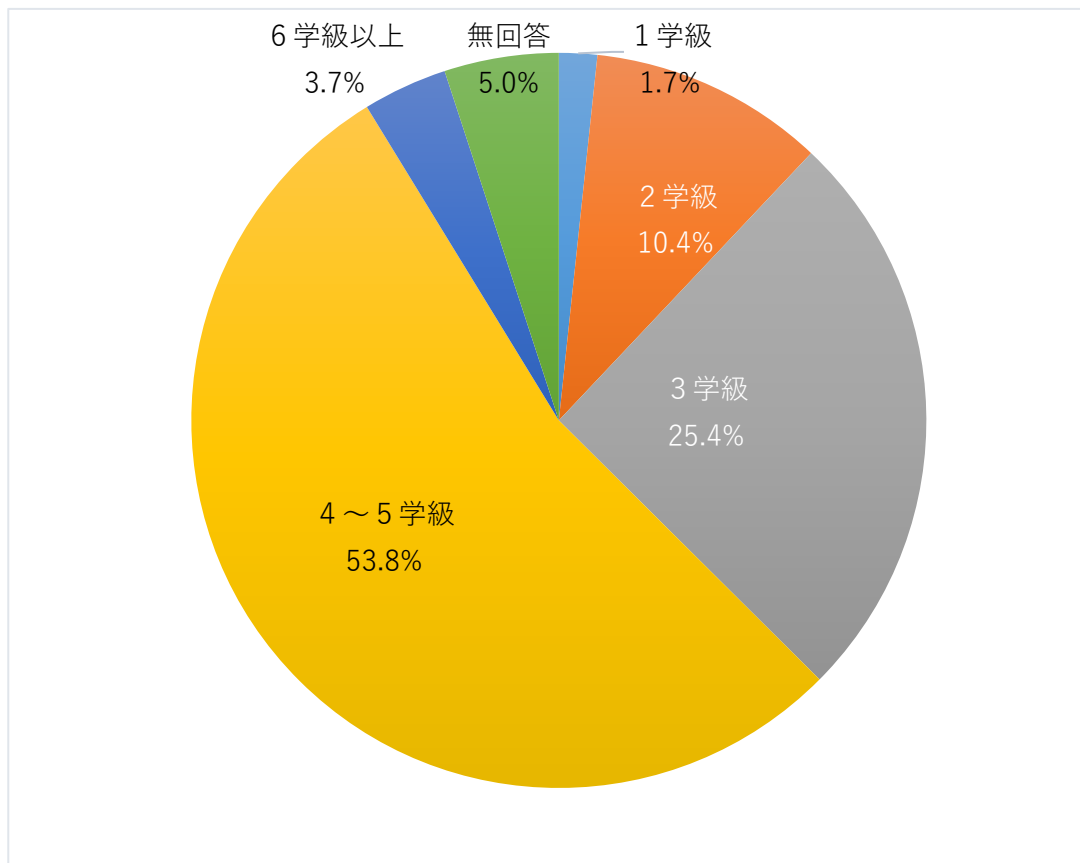
《学校規模別》 小規模校Ⅰ：n=222、小規模校Ⅱ：n=443、標準規模校：n=1,004



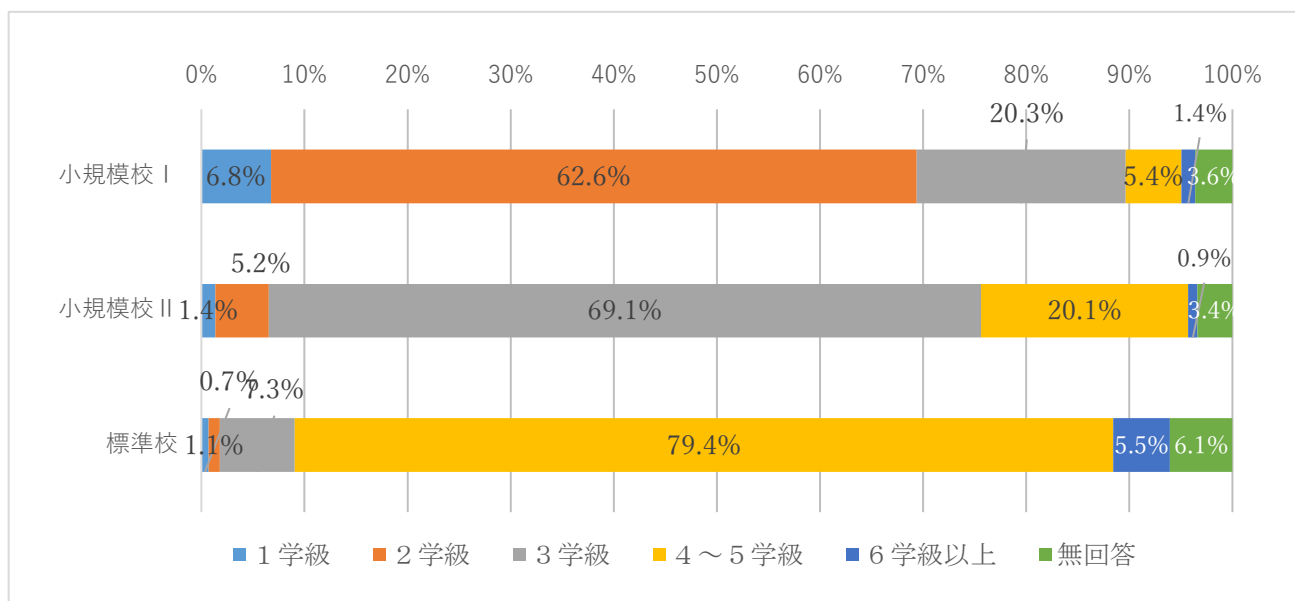
設問⑳ 学年での1学年の学級数（クラスの数）はどのくらいがいいと思いますか。

（合計回答数：n=1,669）

- ・生徒が考える1学年の学級数については、「4～5学級」が53.8%で高い割合を占めて、次いで、「3学級」が25.4%となっています。学校規模別でみると、が通っている学校規模によって、回答が大幅な傾向の違いが出ています。

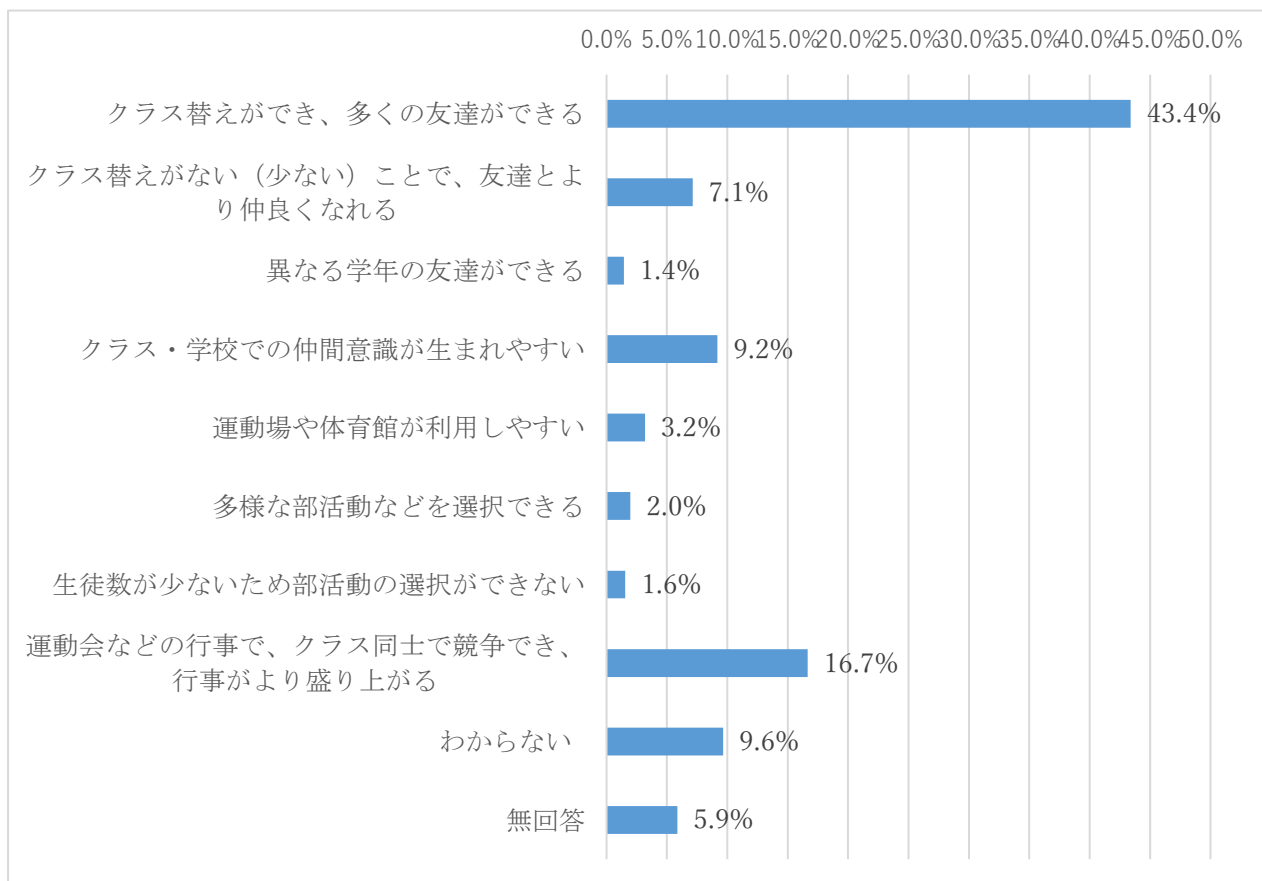


《学校規模別》 小規模校Ⅰ：n=222、小規模校Ⅱ：n=443、標準規模校：n=1,004

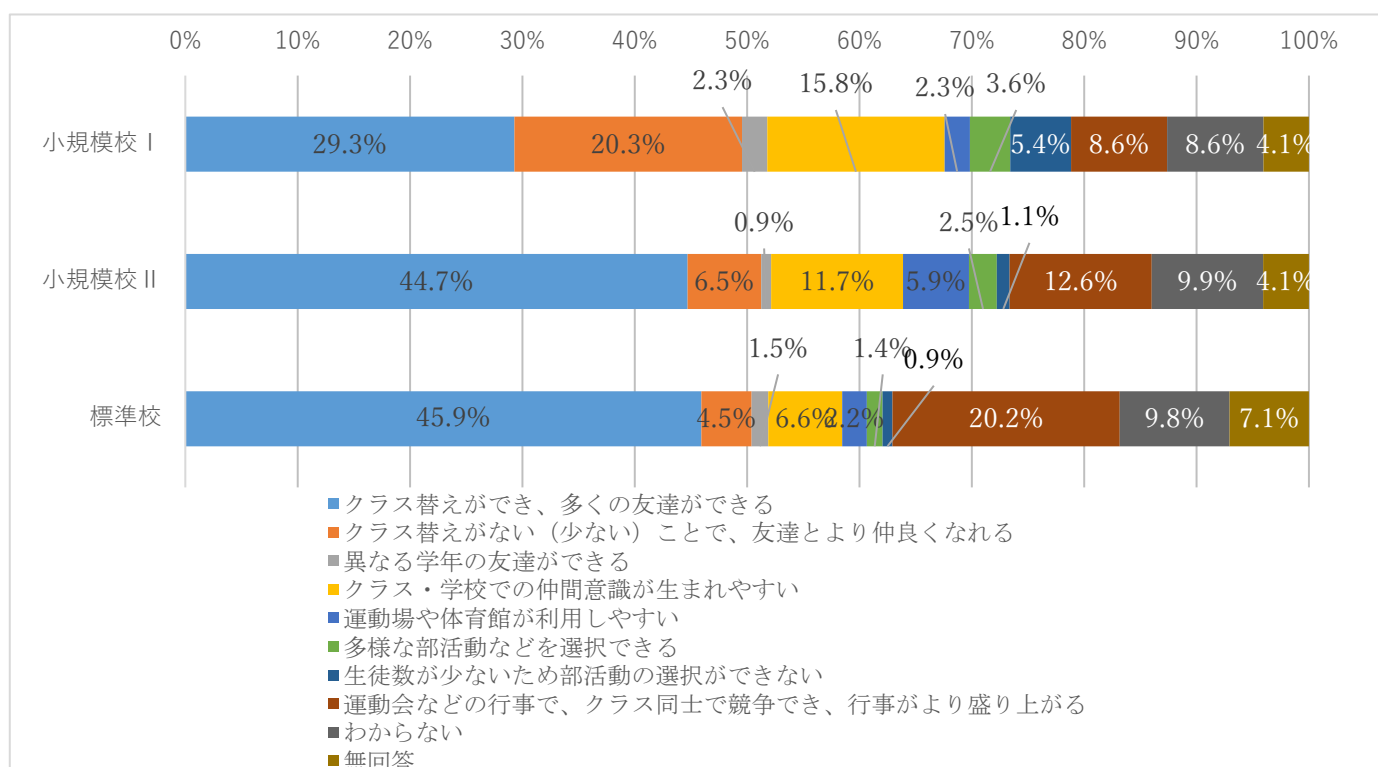


設問⑳ 設問㉑でそう思う理由はなぜですか。(合計回答数：n=1,669)

- ・設問㉑の回答理由では、「クラス替えができ、多くの友達ができる」が43.4%で高い割合を占めています。学校規模別でみると、小規模校Ⅰは「クラス替えがない(少ない)ことで、友達とより仲良くなれる」「クラス・学校の仲間意識が生まれやすい」の回答が増えています。(合計回答数：n=1,669)



《学校規模別》 小規模校Ⅰ：n=222、小規模校Ⅱ：n=443、標準規模校：n=1,004



(3) 教職員アンケート調査結果

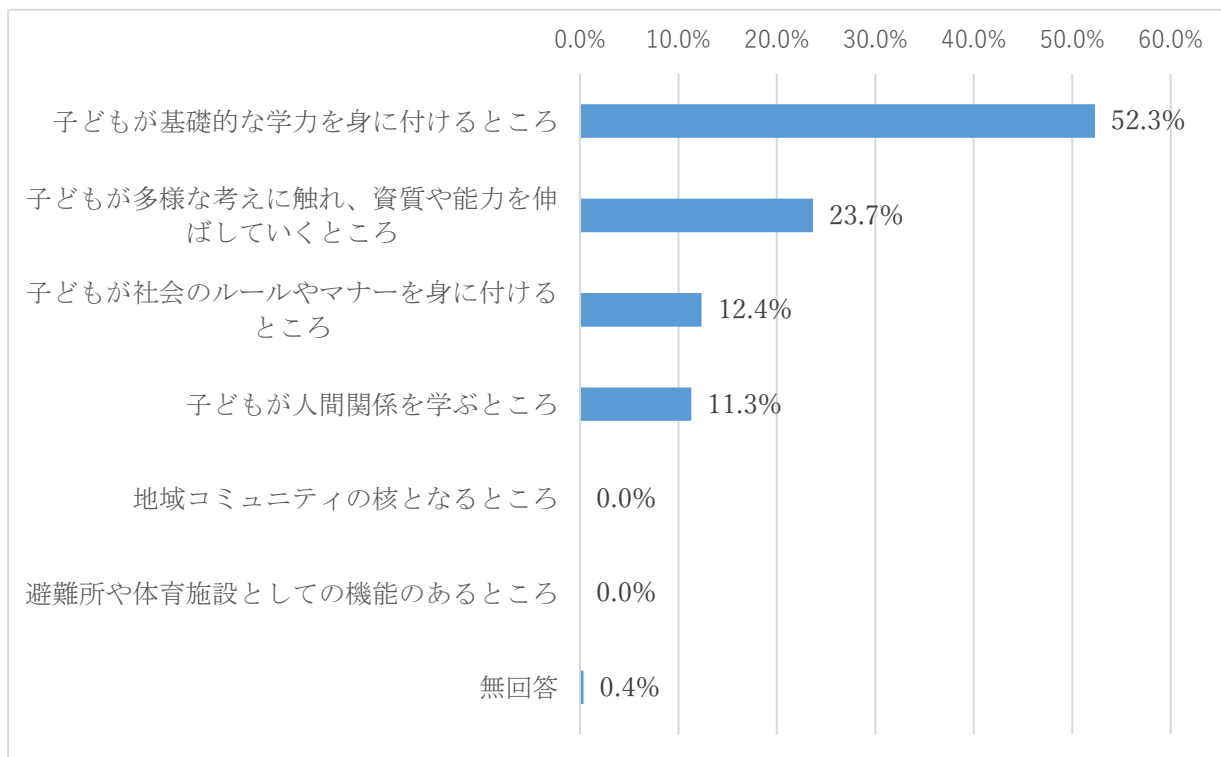
設問① あなたの勤務している学校はどこですか。(合計回答数：n=283)

設問	回答数	構成比
小学校 13校	183	64.7%
中学校 7校	100	35.3%
合計	283	100.0%

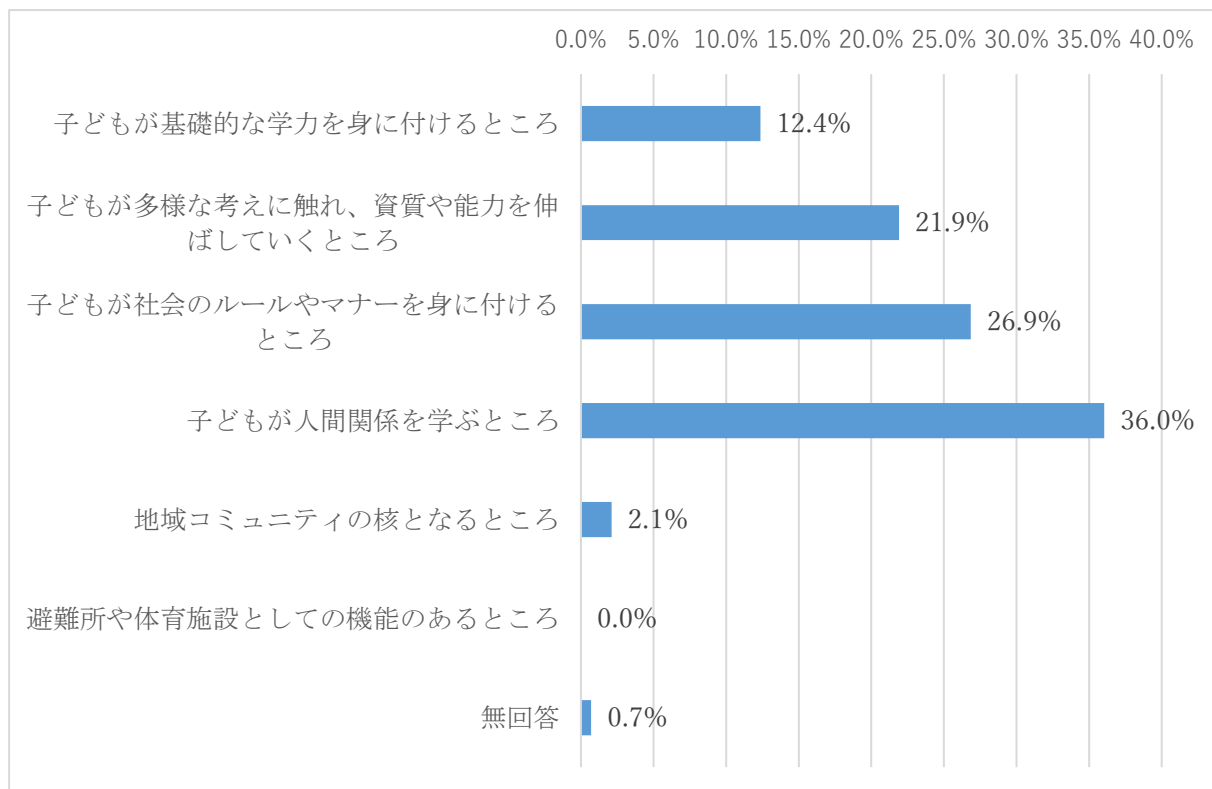
設問②「小学校」はどのようなところであるべきだと思いますか。

- ・最もあてはまるものについては、「子どもが基礎的な学力を身に付けるところ」が52.3%と最も高い割合を占めています。次にあてはまるものについては、「子どもが人間関係を学ぶところ」が36.0%と最も高くなっています。(回答数：n=283)

○最もあてはまるもの



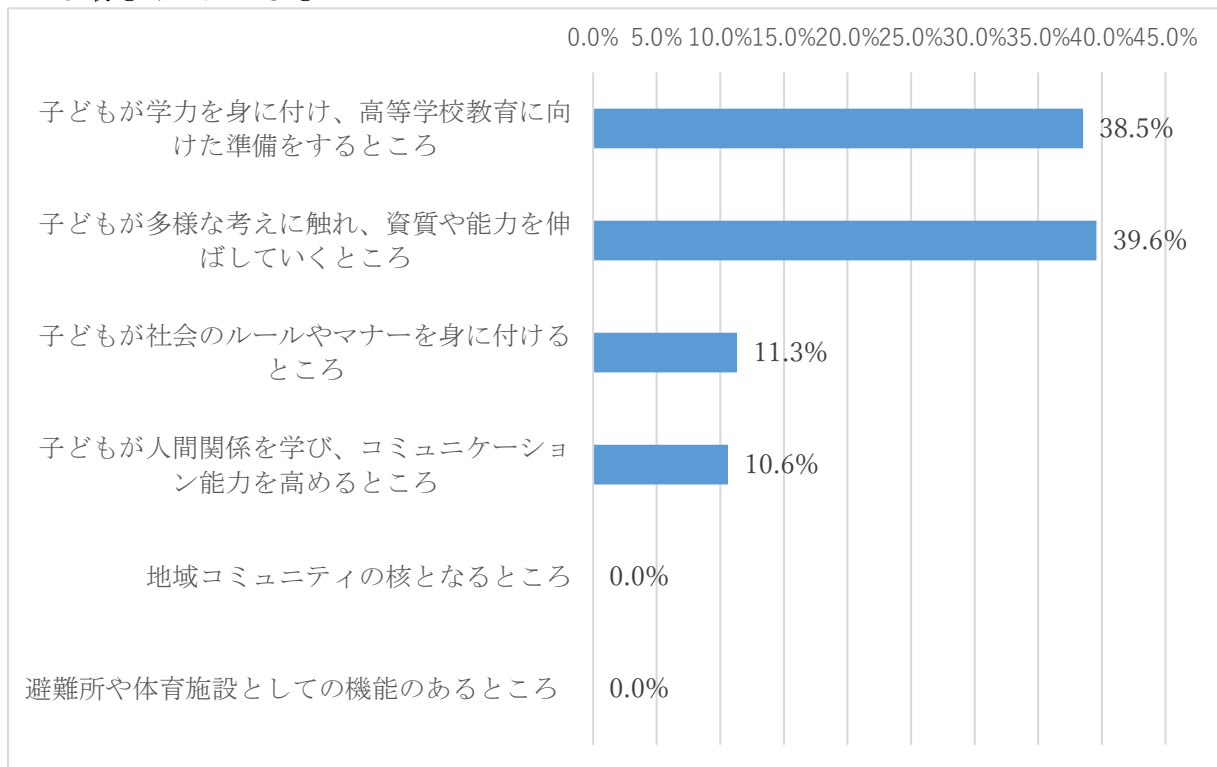
○次にあてはまるもの



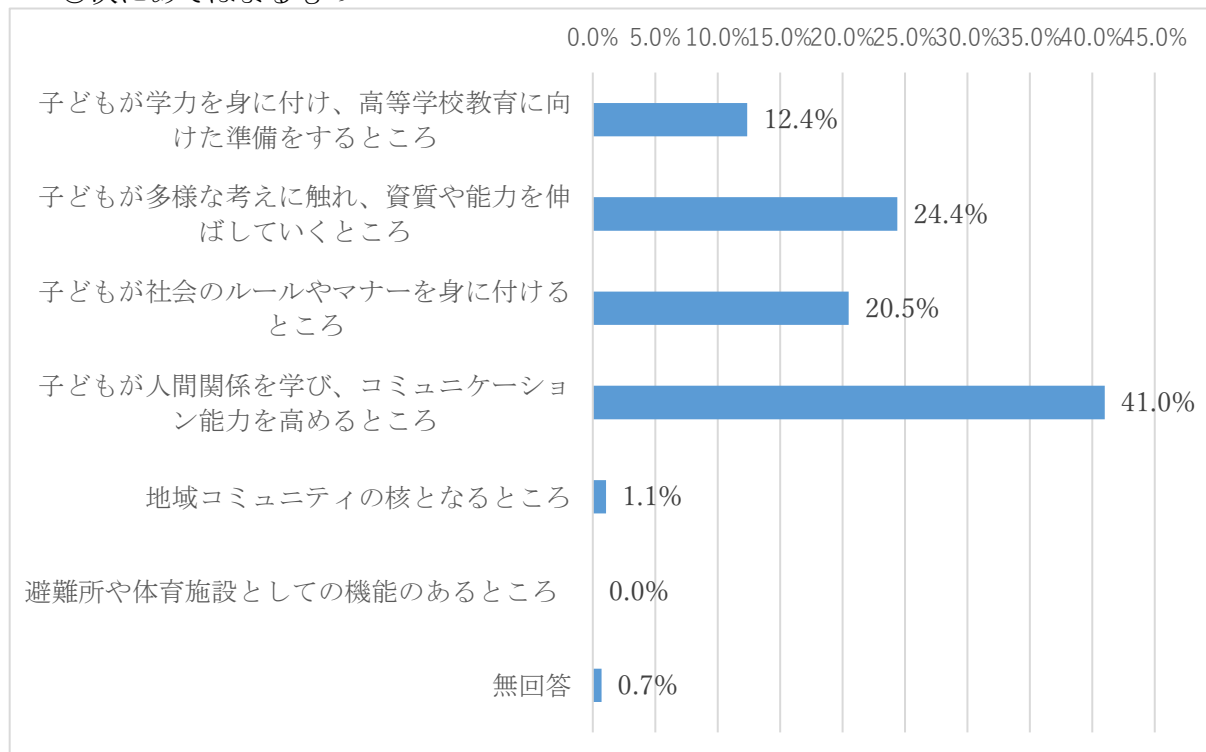
設問③ 「中学校」はどのようなところであるべきだと思いますか。

- ・最もあてはまるものについては、「多様な考えに触れ、資質や能力を伸ばしていくところ」および「基礎的な学力を身に付け、高等学校教育に向けた準備をするところ」がともに4割弱と高い割合を占めています。次にあてはまるものについては、「子どもが人間関係を学び、コミュニケーション能力を高めるところ」が41.0%と最も高くなっています。保護者と比較すると、「子どもが多様な考えに触れ、資質や能力を伸ばしていくところ」の回答率が高い結果となりました。(回答数：n=283)

○最もあてはまるもの

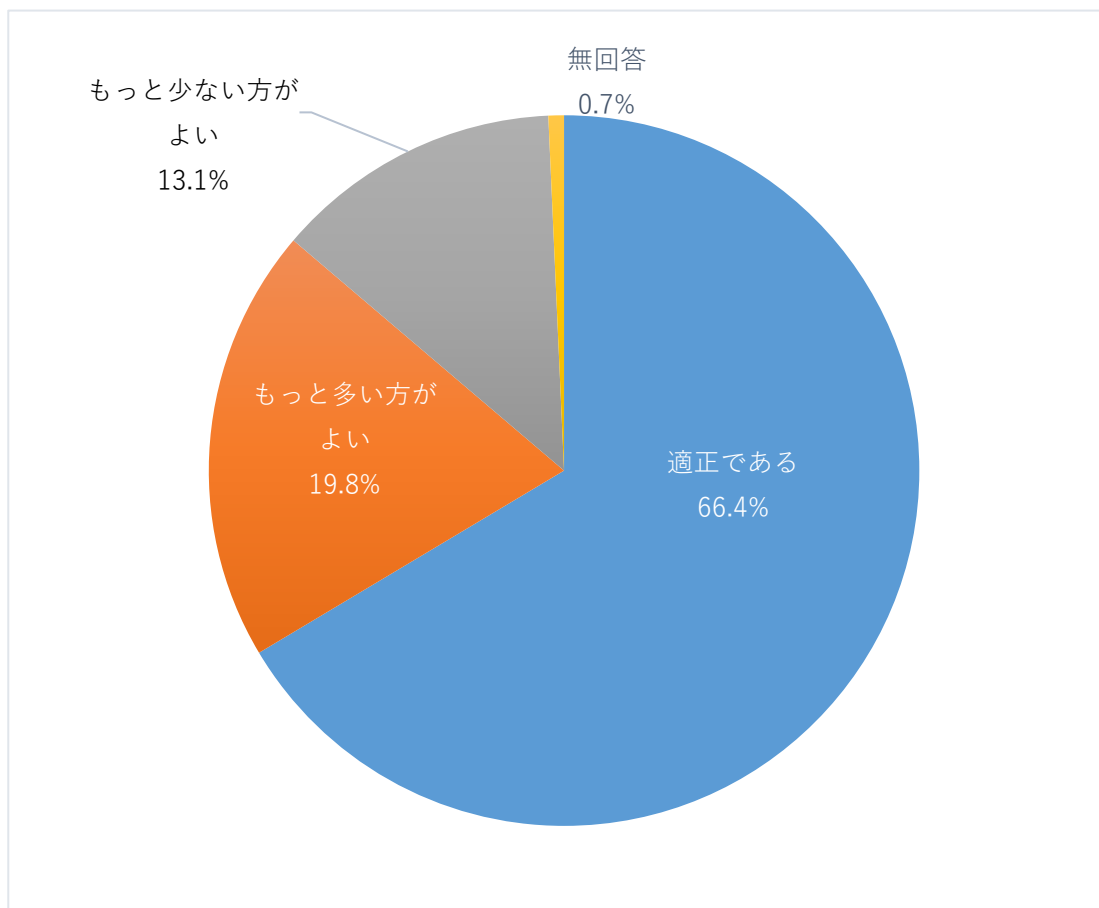


○次にあてはまるもの



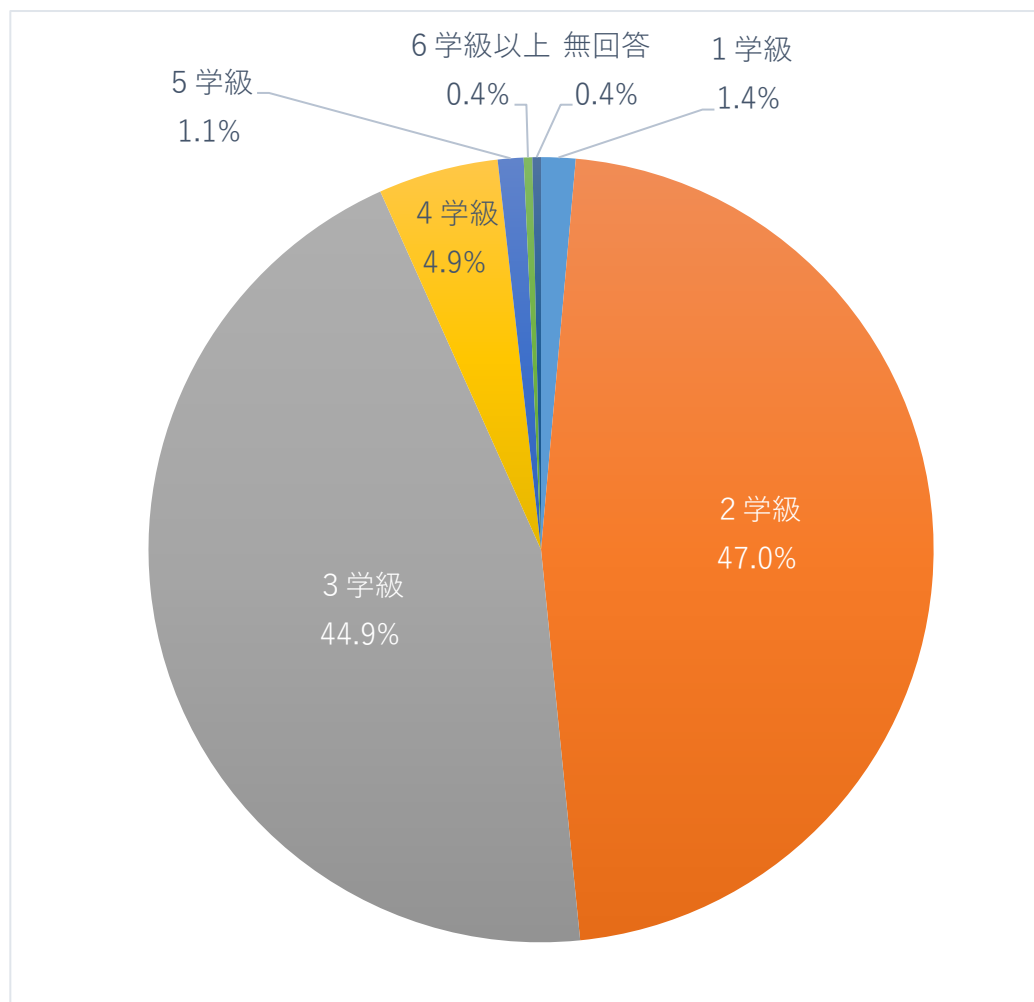
設問④ 現在あなたの勤務する学校規模は、教育現場として適正な規模（※1学年の学級数や児童生徒数）といえますか。（合計回答数：n=283）

- 学校規模に対する回答では、「適正である」が66.4%を占めており、高い割合となっています。
- 保護者との回答と比較すると、「適正である」の回答率が低く、「もっと少ない方がいい」の回答率が高い結果となりました。



設問⑤ 『小学校』の1学年あたりの学級数として、理想的だと思うものをお選びください。(合計回答数：n=283)

- 1学年あたりの理想的な学級数は、「2学級」が47.0%、「3学級」が44.9%で、上記で92%程度の割合を占めています。

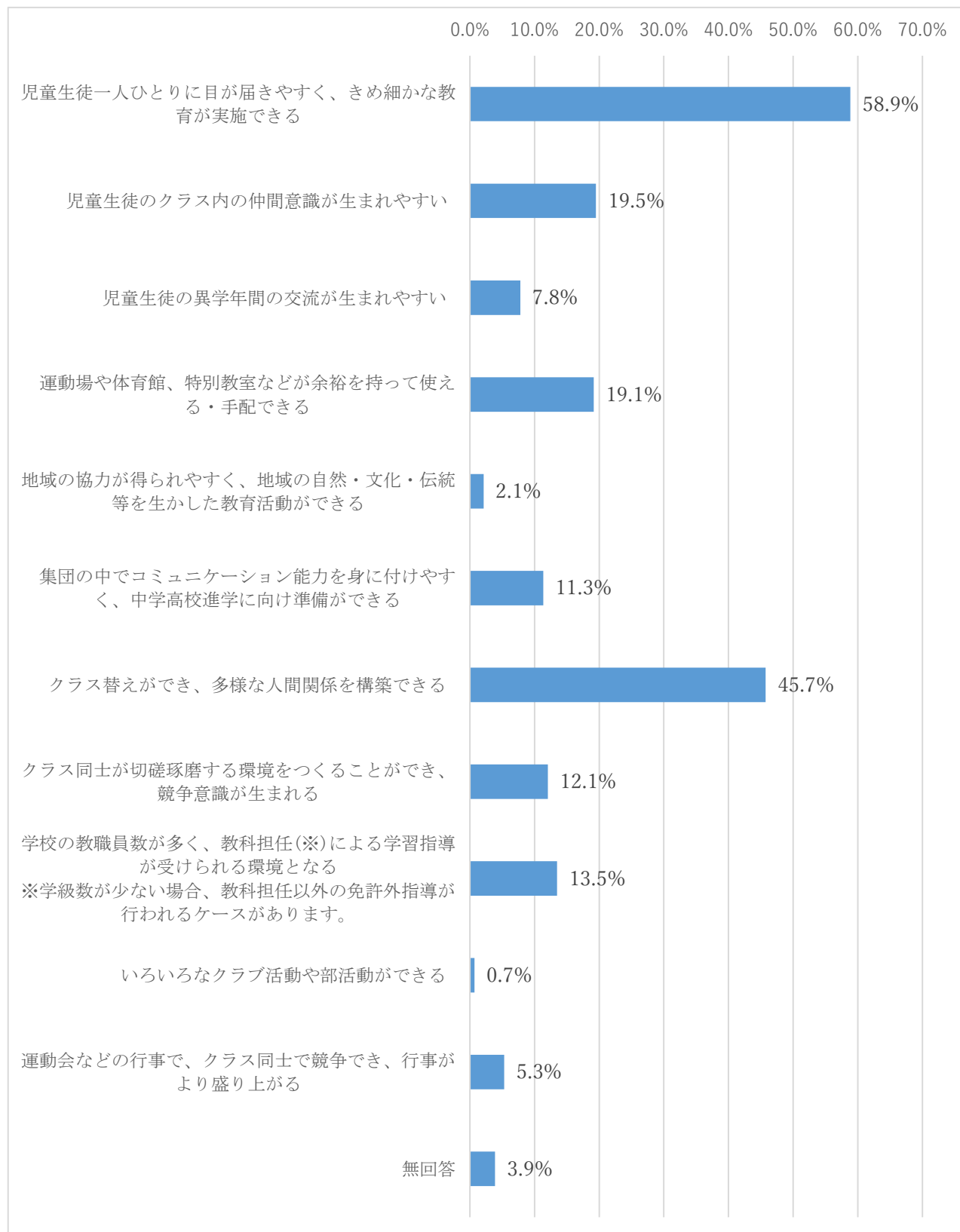


設問⑤-1 設問④の理由として当てはまるものをお選びください。

(当てはまる項目を2つまでお選びください。)

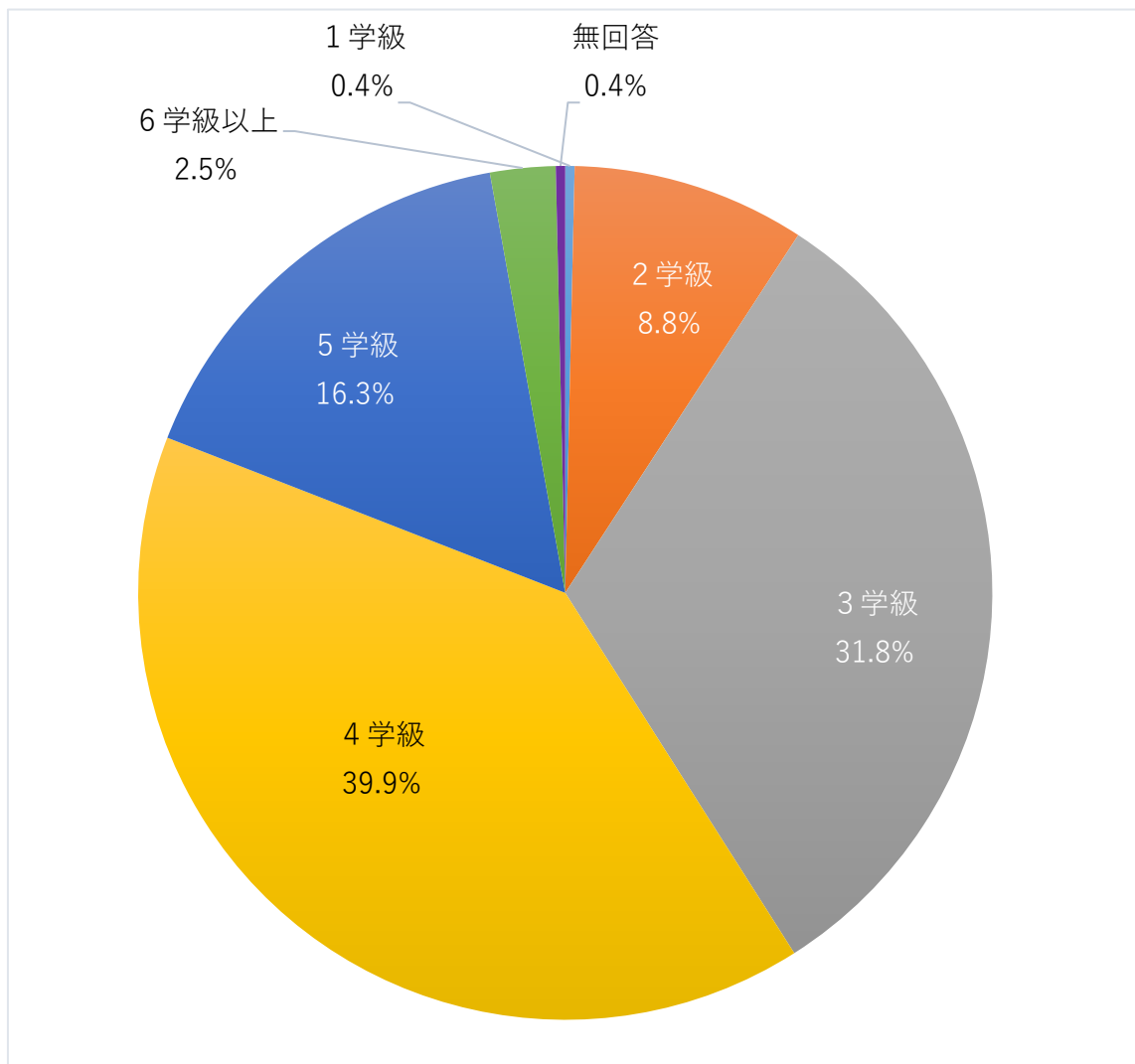
- ・理想的な学級数の理由としては、「生徒一人ひとりに目が届きやすく、きめ細やかな教育が受けられる」を選んだ方が58.9%と半数を超え、次いで、「クラス替えができ、多様な人間関係を構築できる」が45.7%となっています。

(合計回答数：n=564、率合計：200%)



設問⑥ 『中学校』の1学年あたりの学級数として、理想的だと思うものをお選びください。(合計回答数：n=283)

- 1学年あたりの理想的な学級数は、「4学級」が33.9%、「3学級」が31.8%、「5学級」が16.3%で、上記で9割弱の割合を占めています。

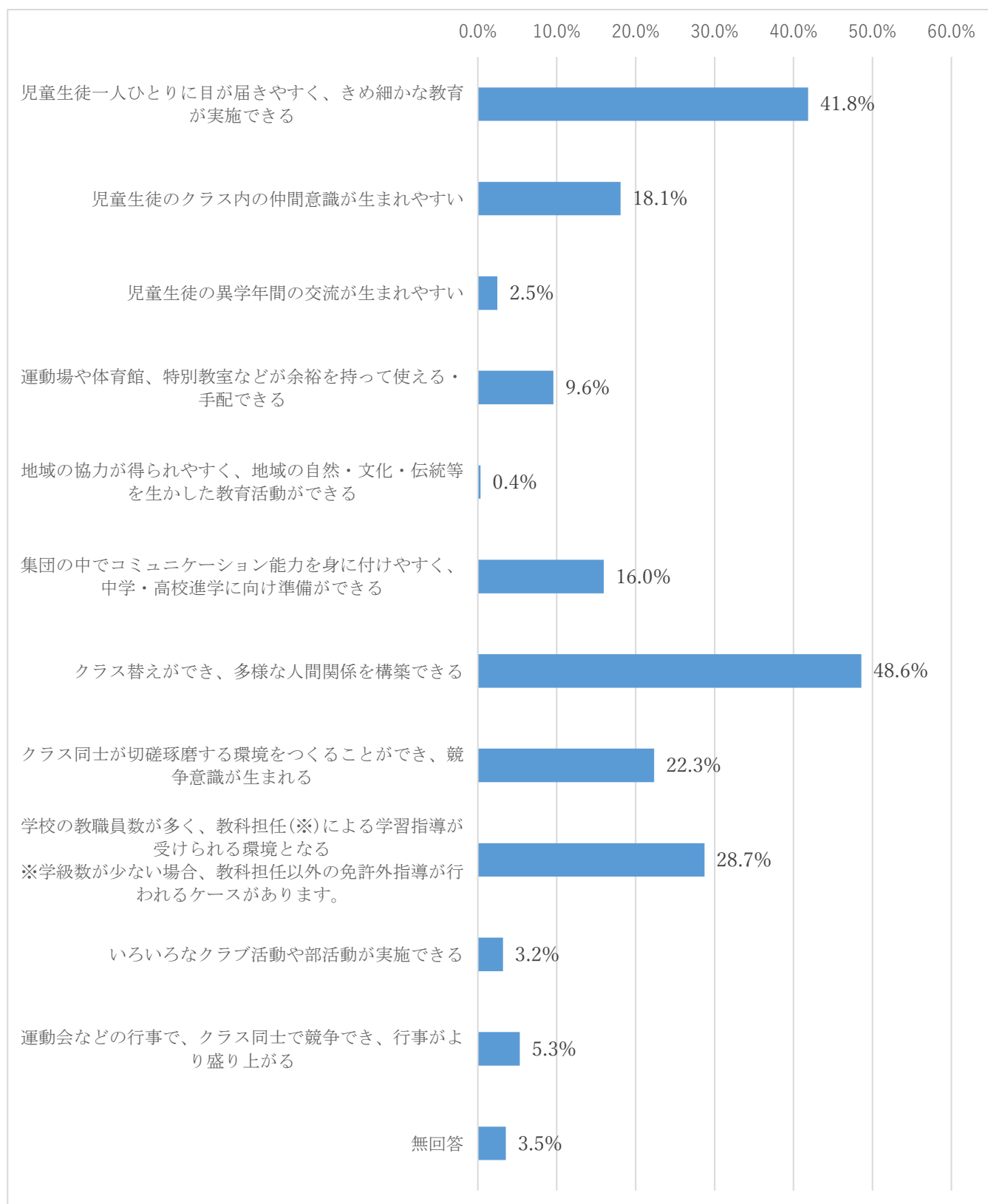


設問⑥-1 設問⑥の理由として当てはまるものをお選びください。

(当てはまる項目を2つまでお選びください。)

- ・理想的な学級数の理由としては、「クラス替えができ、多様な人間関係を構築できる」を選んだ方が48.6%と半数近く、次いで、「生徒一人ひとりに目が届きやすく、きめ細やかな教育が受けられる」が41.8%となっています。

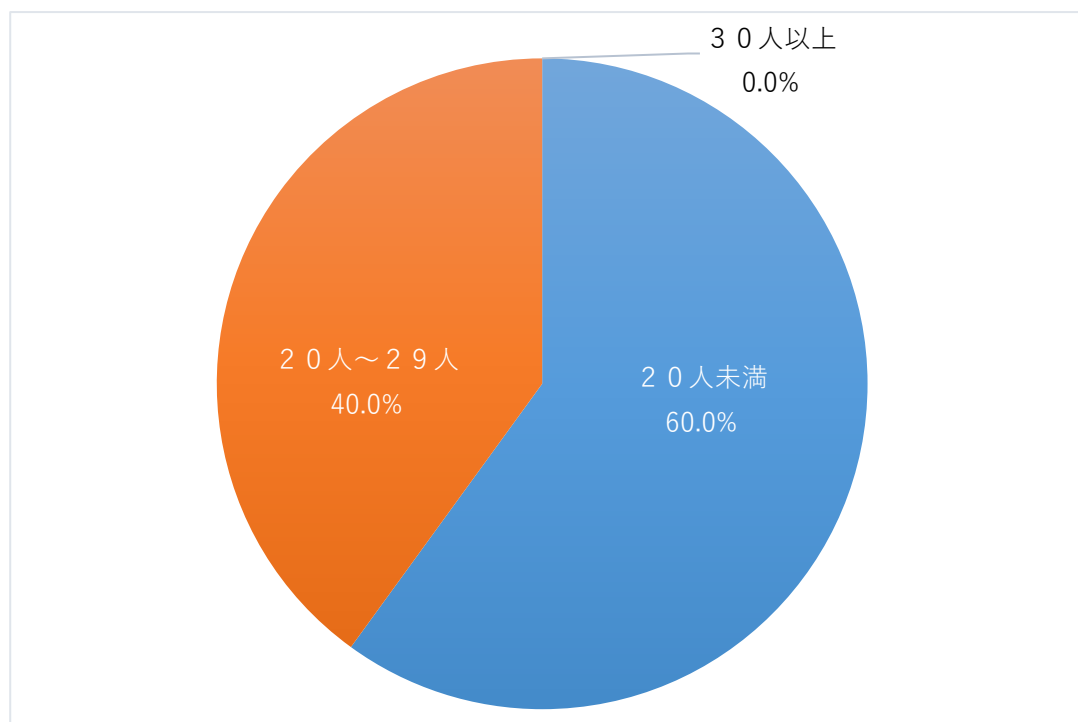
(合計回答数：n=564、率合計：200%)



【設問⑤・⑥で「1」の1学級を選んだ方は、⑦-1、⑦-2をご回答ください。】

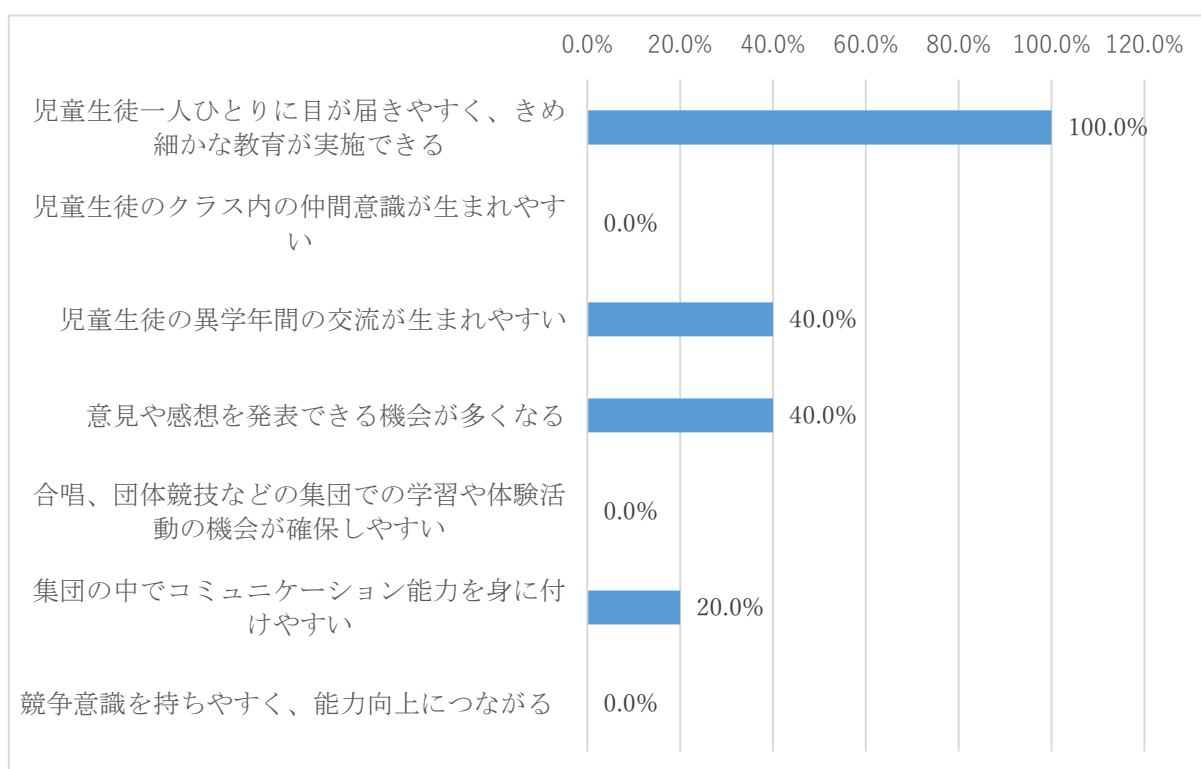
設問⑦-1 1学級の生徒数として、適当だと思うものを一つお選びください。

- ・回答数が少ないこともあり、傾向を読み取るには至っていません。（合計回答数：n=5）



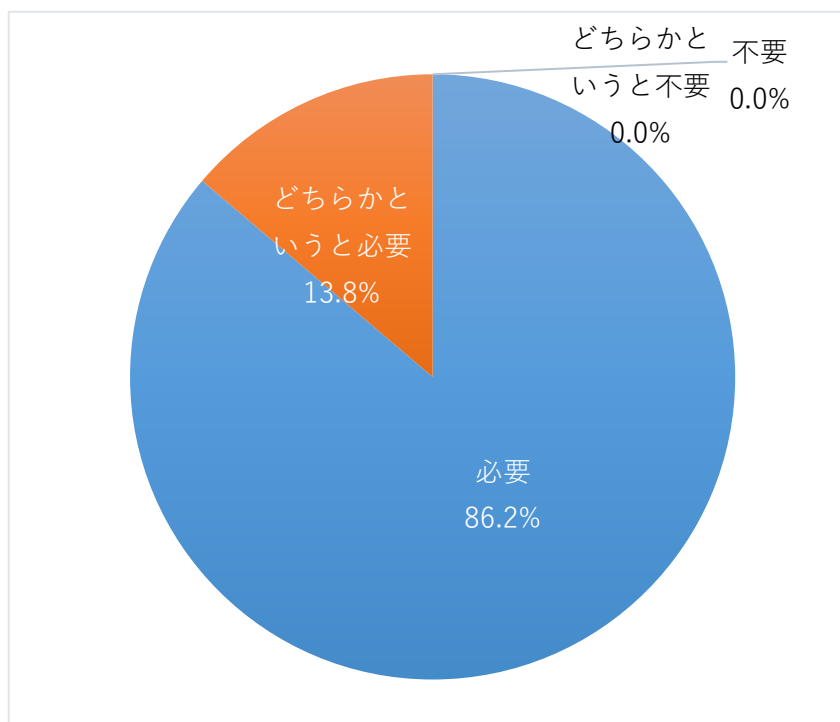
設問⑦-2 ⑦-1の理由として当てはまるものをお選びください。 ※2つ回答
（合計回答数：n=10、率合計：200%）

- ・⑦-1の理由としては、「児童一人ひとりに目が届きやすく、きめ細かな教育が受けられる」はすべての方が選択しています。



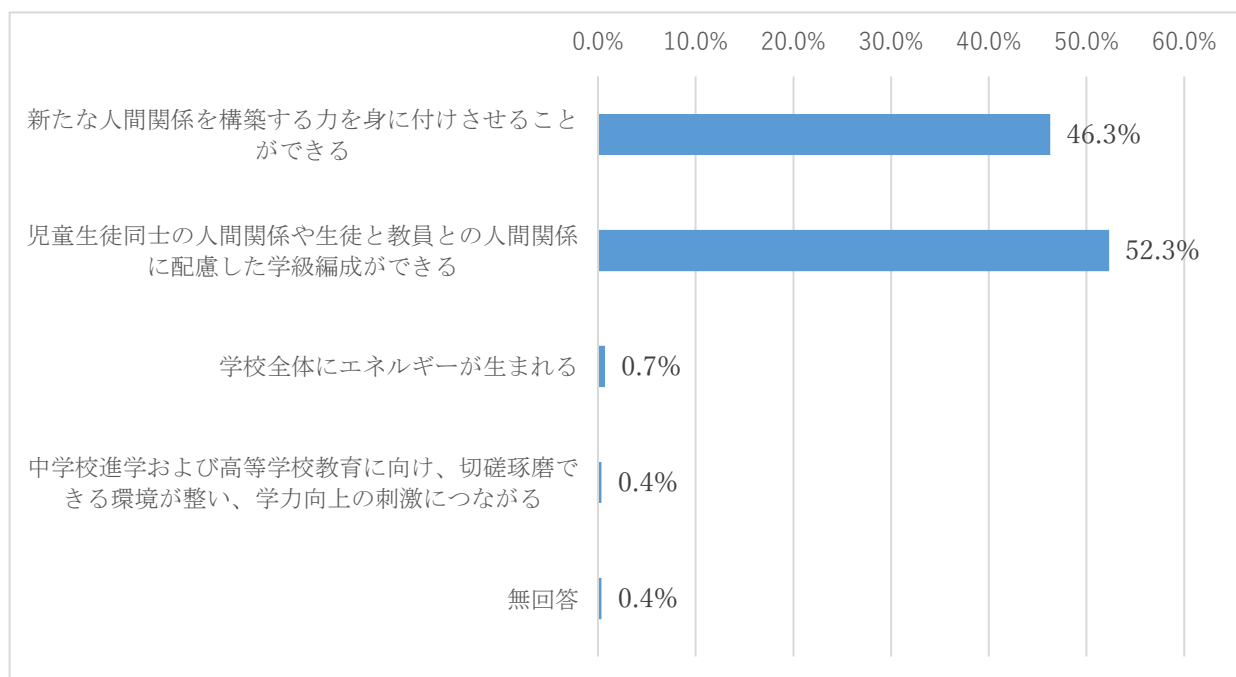
設問⑧ クラス替えの必要性についてどう思いますか。(回答数：n=283)

- ・クラス替えの必要性については、「必要」と「どちらかという必要」を合わせた割合が100%を占め、教職員にとっては、クラス替えは必須と捉えられます。



設問⑨ クラス替えが必要と思われる理由はなぜですか。(回答数：n=283)

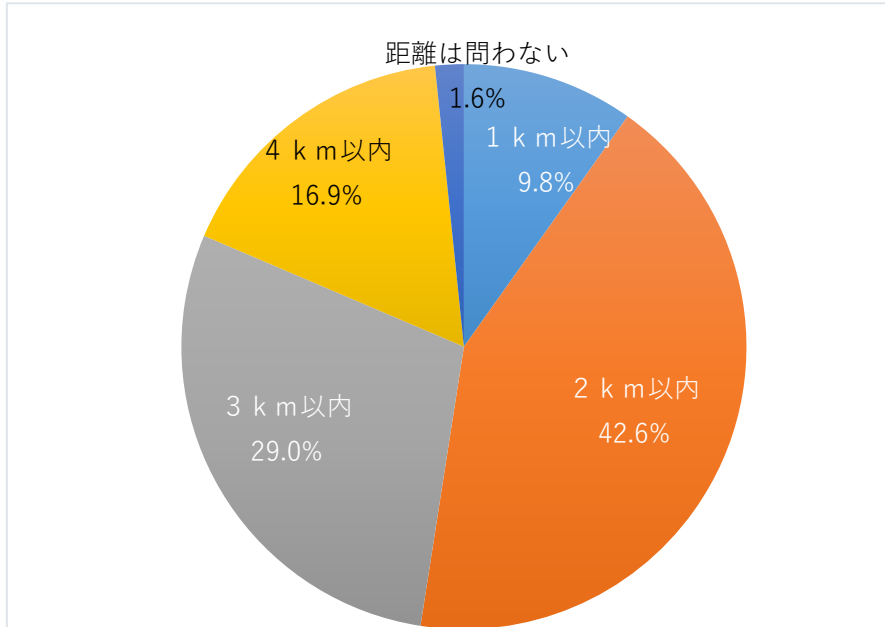
- ・クラス替えが必要な理由として、「生徒同士の人間関係や生徒と教員との人間関係に配慮した学級編成ができる」(※)が52.3%と最も高い割合を占めており、次いで、「新たな人間関係を構築する力を身に付けさせることができる」が46.3%となっています。保護者の回答とは(※)の回答の多さが異なります。



※設問⑩ 設問⑧において、クラス替え「不要」「どちらかという不要」の回答者なしのため、回答なし

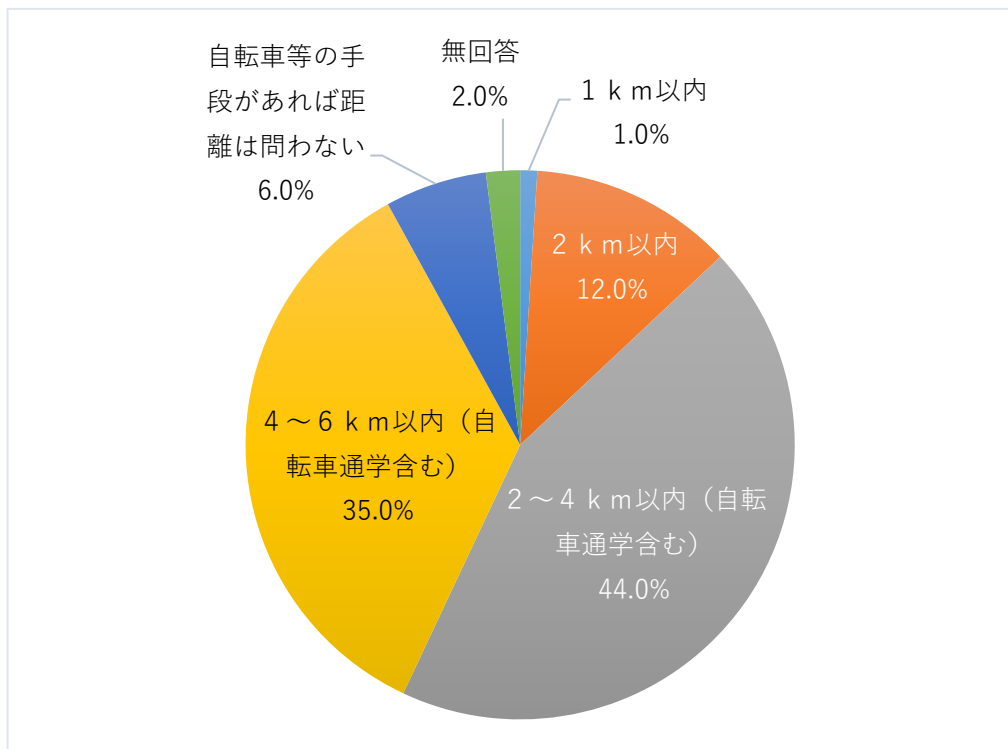
設問⑪-1 小学校の通学距離は、法令によると「おおむね4キロメートル以内であること」となっていますが、どの程度の距離までが通学可能範囲と思われますか。
 (回答数：n=183 ※小学校教員のみ回答)

- ・通学可能範囲の距離についての考え方は、「2」が42.6%と最も高い割合を占めて、次いで「3 km以内」が29.0%の割合となっています。



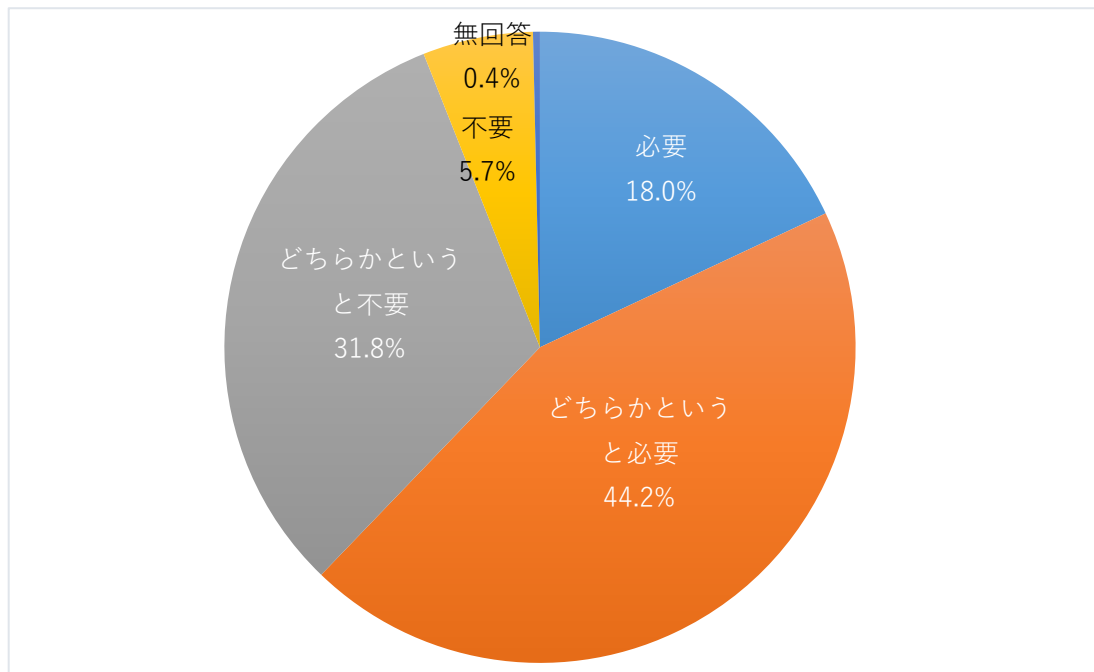
設問⑫-1 中学校の通学距離は、法令によると「おおむね6キロメートル以内であること」となっていますが、どの程度の距離までが通学可能範囲と思われますか。
 (回答数：n=100 ※中学校教員のみ回答)

- ・通学可能範囲の距離についての考え方は、「2～4 km以内(自転車通学含む)」が44.0%と最も高い割合を占めて、次いで「4～6 km以内(自転車通学含む)」が35.0%の割合となっています。



設問⑫ 小規模校対策（例：学校の統合、通学区域の見直し等）は必要だと思いますか。（合計回答数：n=283）

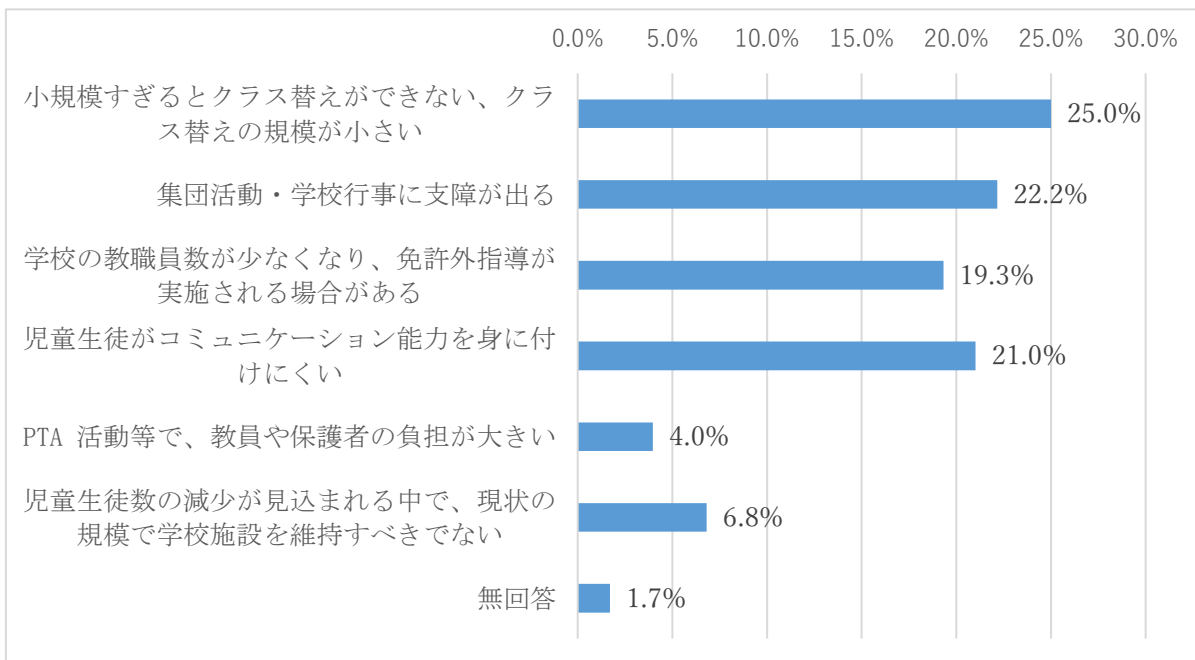
- ・小規模校対策の必要性については、「必要」と「どちらかという必要」を合わせた割合が、62.2%となっています。



【設問⑫で「1」または「2」を選んだ方のみ回答。(合計回答数：n=176)】

設問⑬ 設問⑫で「1」または「2」を選んだ理由をお選びください。

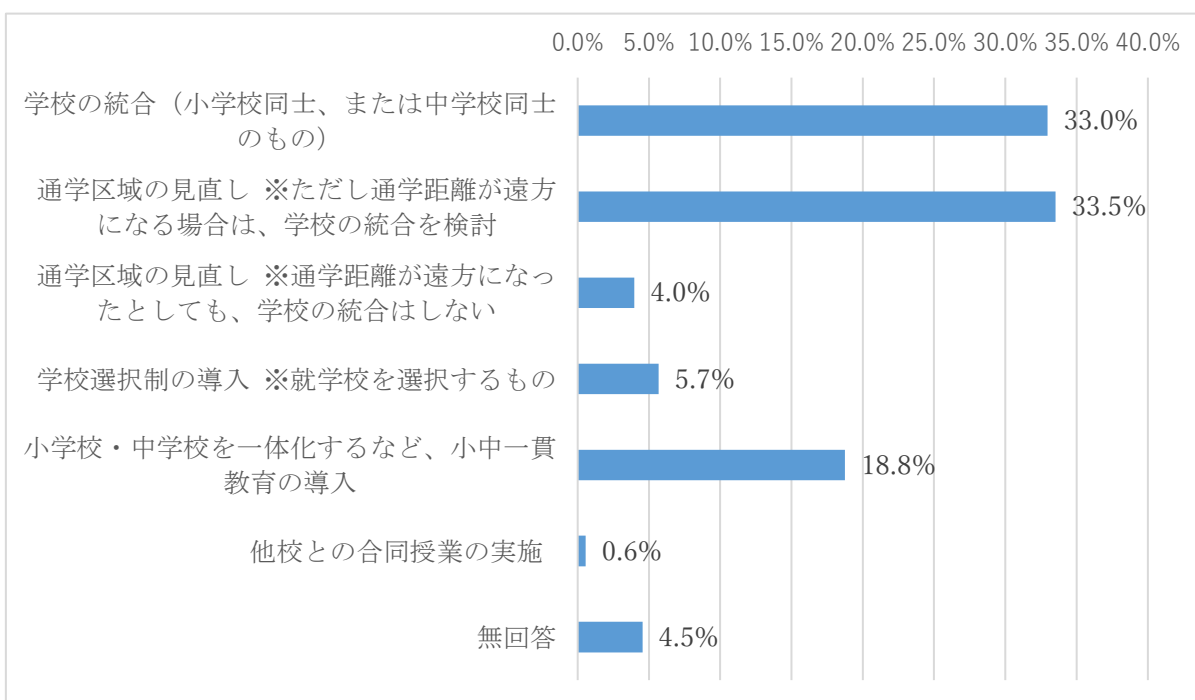
- ・小規模校対策が必要な理由として、「クラス替えができない、クラス替えの規模が小さい」が25.0%、次いで、「集団活動・行事に支障が出る」「コミュニケーション能力を身に付けにくい」が20%台で続きます。また、「免許外指導」への懸念する回答が保護者の回答より10ポイント以上多くなっています。



【設問⑫で「1」または「2」を選んだ方のみ回答。(合計回答数：n=176)】

設問⑭ 小規模校対策で、望ましい対策はどれですか。

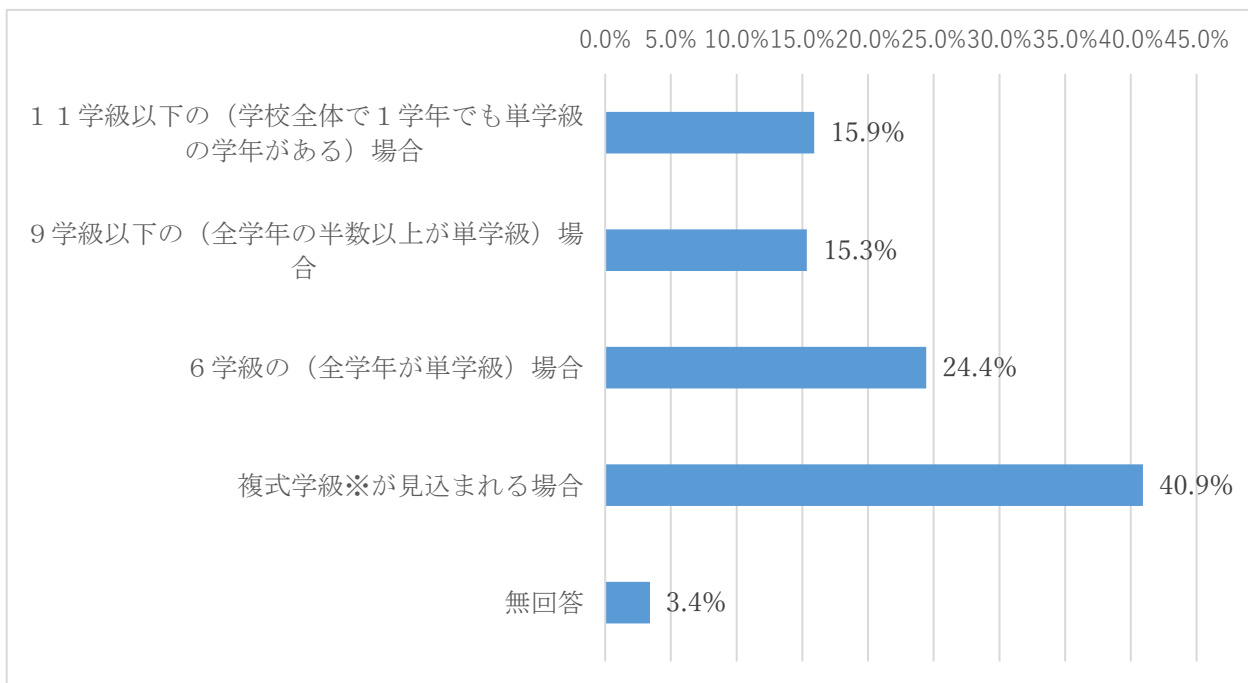
- ・小規模校対策で望ましいのは、「通学区域の見直し※通学距離によっては学校統合を検討」が33.5%・「学校の統合」が33.0%で同等程度であり、2つの回答で3分の2を占めています。次いで「小中一貫教育の導入」18.8%となっています。



【設問⑫で「1」または「2」を選んだ方のみ回答。(合計回答数：n=176)】

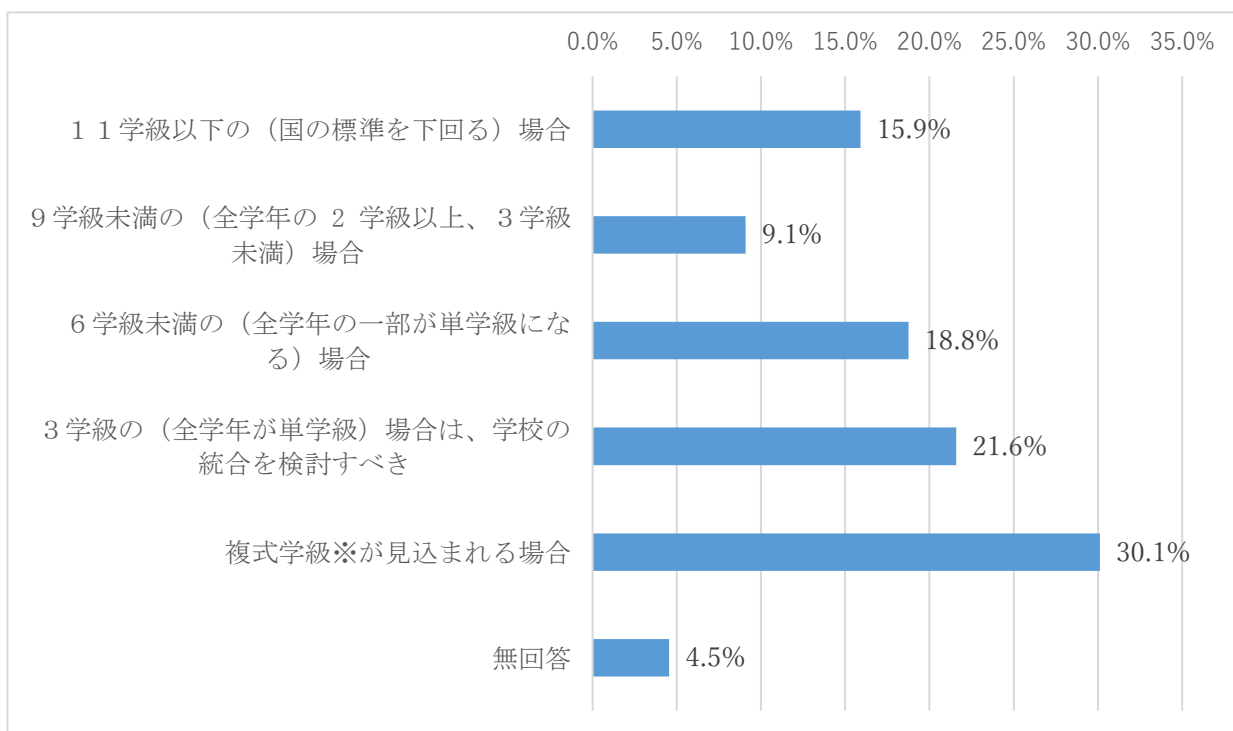
設問⑮ 『小学校』の小規模校対策として、「学校の統合」を検討する場合の状況について、どう思われますか。

- ・小学校の統合を検討する場合の学級数の状況として、「複式学級が見込まれる場合」が40.9%で最も高い割合となり、次いで、「6学級の場合」が24.4%となります。



設問⑯ 『中学校』の小規模校対策として、「学校の統合」を検討する場合の状況について、どう思われますか。

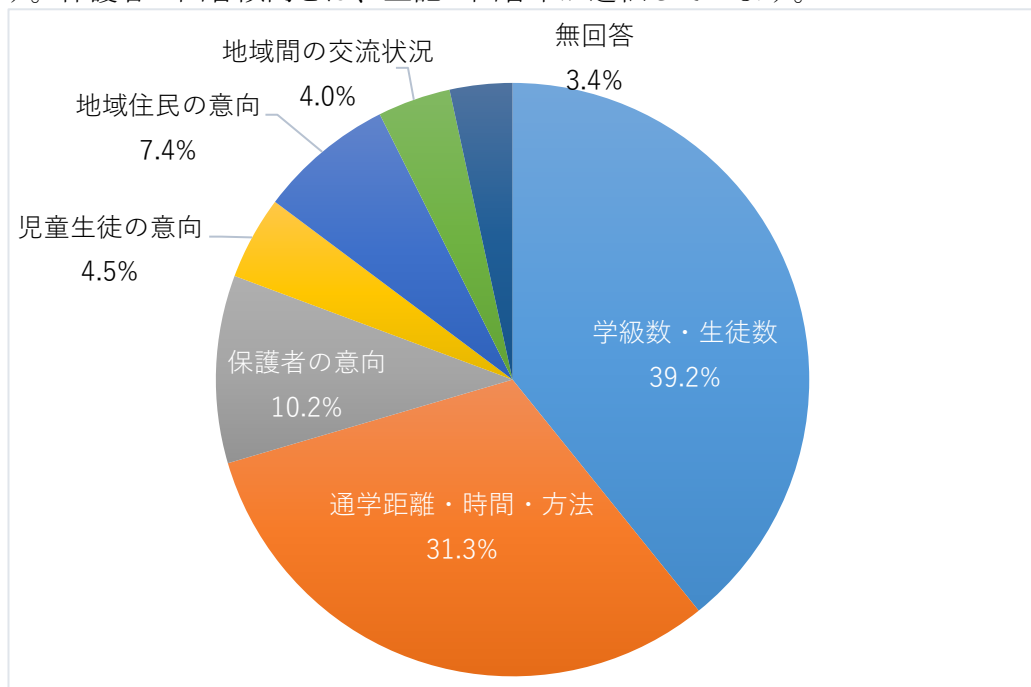
- ・中学校の統合を検討する場合の学級数の状況として、「複式学級が見込まれる場合」が30.1%で最も高い割合となり、次いで、「3学級の場合」が20%台となっています。



【設問⑫で「1」または「2」を選んだ方のみ回答。(合計回答数：n=176)】

設問⑰ 学校統合等の小規模校対策を検討する場合に重視すべきことは何ですか。

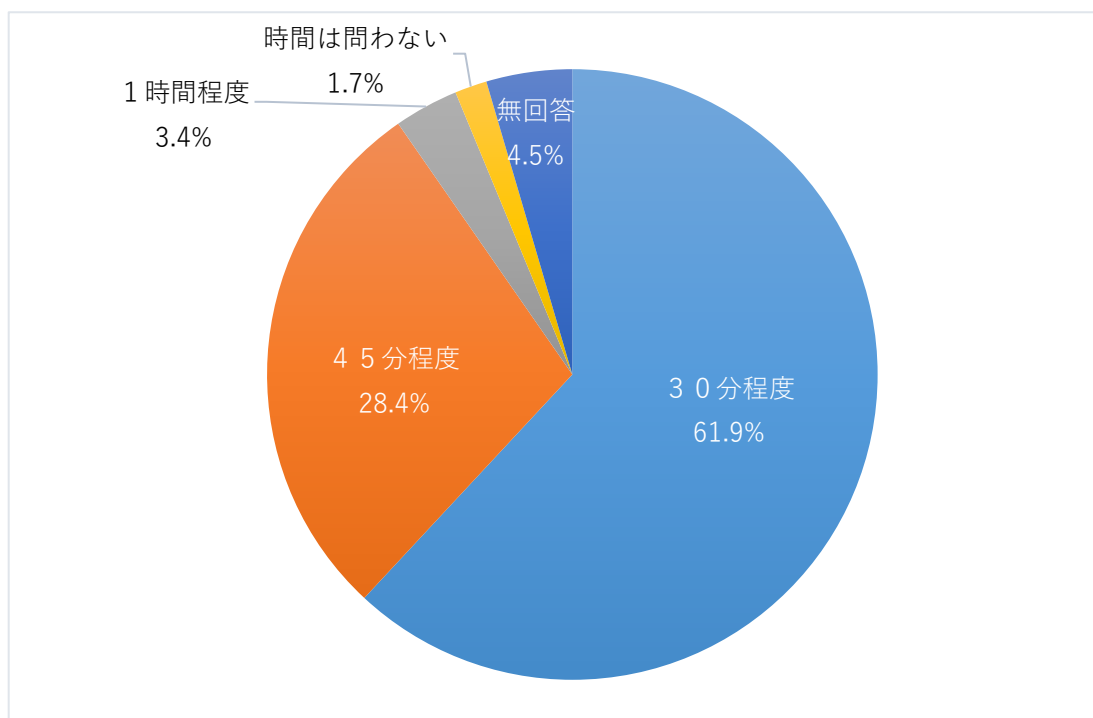
- ・学校の統合を検討する場合に重視すべき点として、「学級数・児童数」が39.2%と最も高い割合で、次いで、「通学距離・時間・方法」が31.3%などとなっています。保護者の回答傾向とは、上記の回答率が逆転しています。



【設問⑫で「1」または「2」を選んだ方のみ回答。(合計回答数：n=176)】

設問⑱ 学校の統合や通学区域の見直し等を検討する場合、通学にかかる時間の限度についてはどのように思いますか。

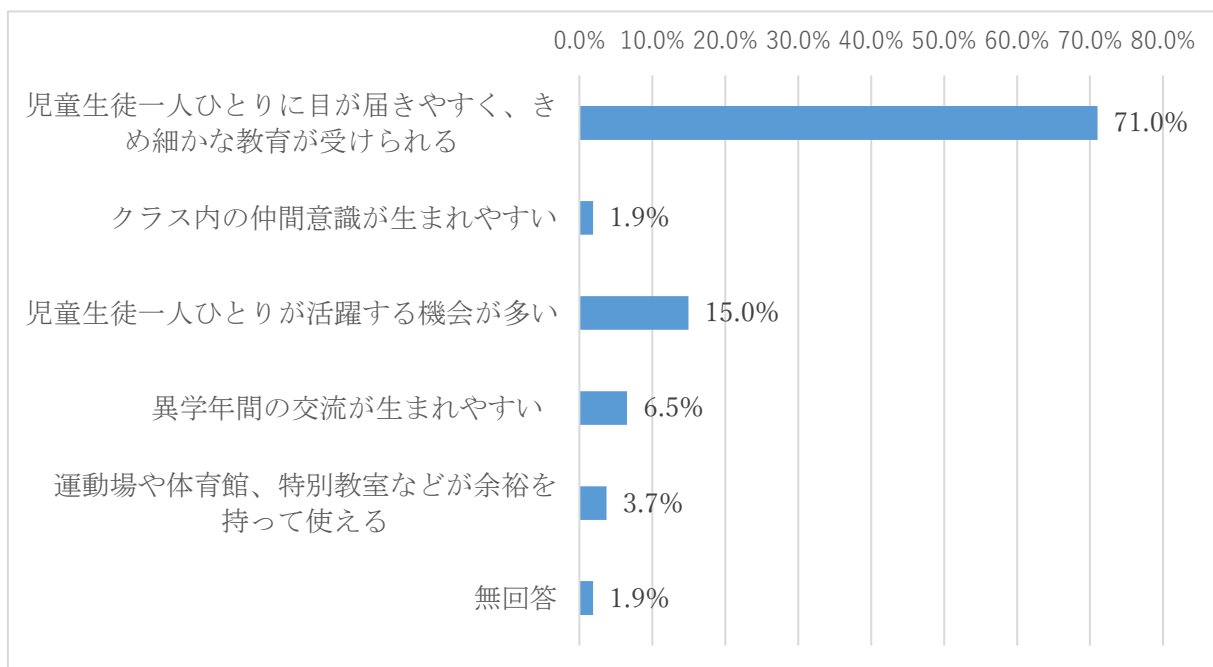
- ・小規模校対策の検討における通学時間についての回答では、「30分程度」61.9%と最も高い割合で、次いで、「45分程度」が28.4%となりました。



【設問⑫で「3」または「4」を選んだ方のみ回答。(合計回答数：n=107)】

設問⑬ 設問⑫で「3」または「4」を選んだ理由をお選びください。

- ・小規模校対策が不要(どちらかといえば不要)と思う理由としては、「児童生徒一人ひとりに目が届きやすく、きめ細かな教育が受けられる」が71.0%と最も高い割合で、次いで、「児童生徒一人ひとりが活躍する機会が多い」が15.0%となっています。



【設問⑫で「3」または「4」を選んだ方のみ回答。(合計回答数：n=107)】

設問⑭ 小規模校対策(例えば学校の統合や通学区域の見直し)について、あなたの考え方に近いほうをお選びください。

- ・小規模校対策は「不要」「どちらかというとな必要」と選択した場合は、「複式学級になったら必要」が52.3%と半数を超え、「人数、学級数に関わらず不要」が26.2%となっています。

